

平成30年度

施設利用ガイドブック



独立行政法人 国立青少年教育振興機構

国立赤城青少年交流の家

〒371-0101 群馬県前橋市富士見町赤城山27

E-mail: akagi@niye.go.jp

Kurobisan
1828

Komagatake
1685

Choshichiroyama
1579

利用・プログラムに関するお問合せ **事務室**

TEL: 027-289-7224 (9:00~17:00)

FAX: 027-289-7226

食事に関するお問合せ

食堂・売店

TEL: 027-288-3333 (7:20~17:00)

FAX: 027-288-7037

<http://akagi.niye.go.jp/>

赤城 交流の家

検索

※必要書類はホームページから
ダウンロードできます。

あかぎアドベンチャー
プログラム
(AAP)コース

あかぎプレイパーク

宿泊棟

(A棟)

(B棟)

(C棟)

谷のキャンプ場

センター棟

屋根付き広場

体育館

食堂

多目的フィールド

特別研修棟

(音楽室)(和室)

管理棟

武道館

(柔道場)(剣道場)

特別研修棟講師棟

特別講師棟(H30.10.1~)

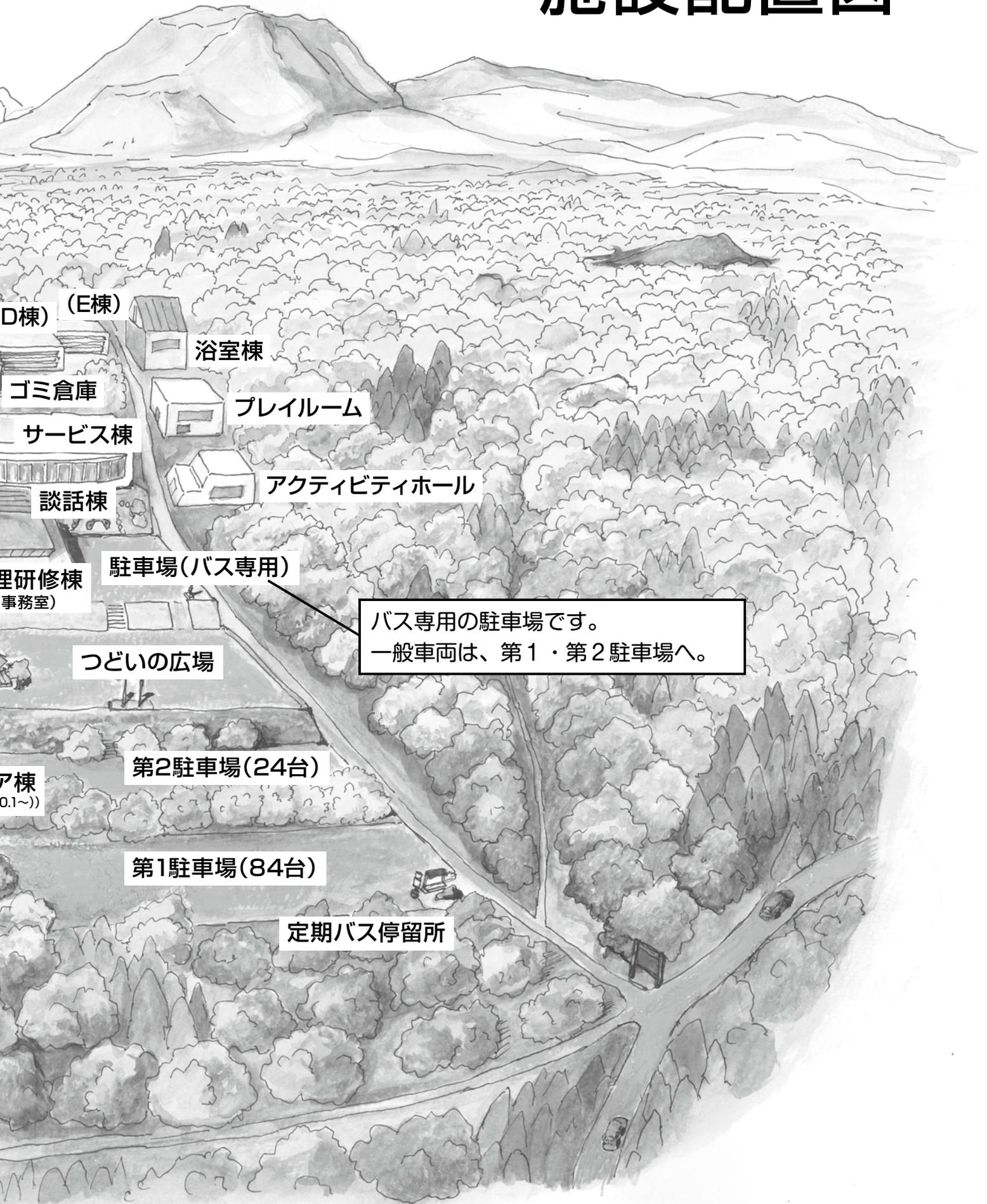
テニスコート

ボランティア

(ゲストハウス(H30.10.1~))

営火場

施設配置図



施設利用ガイドブック 目次

・施設配置図

・目次

1 申し込みの前に	1	⑦飲食物の持ち込み	
(1)はじめにお読みください	2	⑧身体障害者補助犬・ペット	
(2)赤城の周辺情報	3	⑨備品等を壊した場合	
2 利用の申し込み		(4)添乗員やバス運転手の施設利用	15
(1)申し込み期間	4	5 その他の情報	
(2)申し込みから利用当日までの流れ	4	(1)研修支援プログラム	16
(3)利用日までの留意事項	5	(2)各種料金一覧	18
3 入所から退所まで		①宿泊にかかる料金	
(1)入所	6	②食事にかかる料金	
・到着・受付・オリエンテーション		③売店で購入できる活動備品	
・食堂売店・シーツ受取・入室		④料金例	
(2)研修	7	(3)貸出備品一覧	20
・標準生活時間		(4)研修施設の概要	22
・設備や備品		(5)施設マップ	23
(3)宿泊	8	①本館配置マップ	
・代表者会議・タベのつどい・食事・消灯		②キャンプ場配置マップ	
・起床・朝のつどい		③非常時の避難経路	
(4)退所	9	(6)提出書類様式	26
・整理・整頓・清掃・シーツ返却・退所点検		①活動計画書1・2	
・カギの返却・料金の精算・退所手続き		③食事申込書	
(5)料金の精算	10	④食物アレルギー事前確認票	
・支払先・方法		6 プログラム紹介	31
(6)宿泊施設の使い方	11	7 よくある質問	76
・本館での宿泊・キャンプ場での宿泊		8 提出書類一覧	78
・テントサイト以外の設備と使い方			
4 利用に際してのお願い			
(1)健康管理・館内保健設備等	12		
(2)近隣の医療機関・公共機関	12		
(3)利用に際しての注意	13		
①喫煙・飲酒			
②冷暖房			
③ゴミの処理			
④車両駐車場			
⑤利用者への電話・FAXの取り次ぎ			
⑥郵便物・荷物の事前送付			



1 申し込みの前に

国立赤城青少年交流の家は、昭和45年4月（昭和46年4月開所）に全国7番目の国立青年の家、『国立赤城青年の家』として誕生しました。

国の中央省庁等改革により平成18年4月に「独立行政法人国立青少年教育振興機構」に移管され、『国立赤城青少年交流の家』となりました。

当所は、百名山に選ばれた赤城山南麓の森林に囲まれた中にあり、眼下に関東平野が広がり、榛名山や妙義山、秩父連山等の山々、そして富士山も望むことができます。

この豊かな大自然の中、体験と交流の場を提供することにより、共に学びあえる施設づくりに努めています。

このため、ご利用の際には、団体ごとにあらかじめ具体的な体験活動の計画を作成し、標準生活時間に沿って活動していただきます。

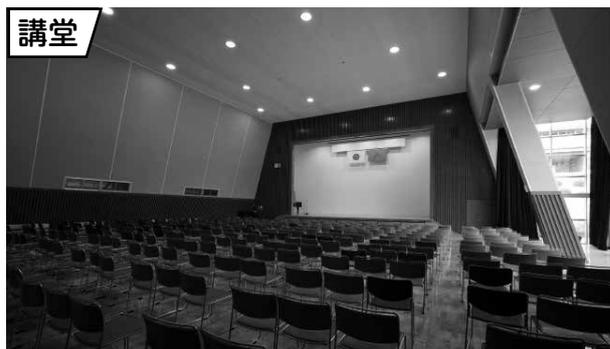
また、食事の配膳や寝具の準備・片づけ、清掃なども自分で行うなど、生活体験もプログラムとして考えている「社会教育施設」であることをご理解願います。

なお、政治的活動、宗教的活動、営利目的の活動、反社会的な活動はできません。

宿泊室



講堂



食堂



体育館



屋根付き広場



研修室



(1) はじめにお読みください

特徴

国立赤城青少年交流の家は、青少年を主対象とした研修施設です。
いくつかのきまりをご理解いただいた上でご利用いただいています。

- ①利用申し込み、入所から退所までの日程及び活動内容や活動場所などについては、当所の職員と相談しながら決定していきます。
→ P4 を参照。
- ②標準生活時間が設定されており、利用上のきまりやお願いがあります。
→ P7 を参照。
- ③準備や片づけ、清掃などは利用者自身が行うセルフサービスとなります。
→ P8 ~ 9 を参照。

利用できる団体

- ①成人の引率者がいて、あらかじめ具体的な体験活動の計画を持った団体であること。
主に学校、教育関係の施設や団体、青少年を対象とした活動を行う団体、地域などの団体やサークル、官公庁、企業などの団体が利用しています。
 - ②1 団体における最少利用人数や最大宿泊定員などは以下の通りです。
<1 団体における最少利用人数> 2 名
<最大宿泊定員>
・本館 : 400 名
・谷のキャンプ場 : 48 名 (常設 8 人テント× 6 サイト)
※あかぎプレイパークにもテント泊 (持ち込み) が可能です。
 - ③以下に当てはまる団体はご利用できません。
・政治的活動、宗教的活動、営利目的の活動、反社会的な活動をする団体
- ※当所のきまりに反する行為や他の利用者に迷惑の及ぶ行為があった場合は、退所をお願いしたりその後の利用をお断りしたりすることもあります。

休館日

当所は以下のとおり、休館日を定めています。

- < 休館日 >
- ・年末・年始 : 12 月 28 日 ~ 1 月 4 日
(※ 12 月 27 日の宿泊および 28 日の日帰りの活動は可能)
 - ・施設・設備の整備日 : 年間で 24 日程度
 - ・天災・その他のやむを得ない事情があるとき
- < キャンプ場閉鎖期間 >
- ・11 月 1 日 ~ 4 月 30 日



利用形態と活動プログラム

利用には『宿泊利用』と『日帰り利用』の2種類の形態があり申し込み開始の期日が異なります。なお、当所は研修施設ですので宿泊のみの利用は受け付けていません。

- 指導型 <指> 直接指導プログラム・・・有料講師を依頼する活動プログラム。
 ↓
 <選> 選択指導プログラム・・・希望に応じて有料講師を依頼できる活動プログラム、有料講師を依頼しない場合は<自>に準じる。
 自主型 <自> 自主型活動プログラム・・・団体が自ら実施する活動プログラム。

※雨天プログラムも設定します

活動については → P16～17 を参照。
 活動できる場所については → P22～24 を参照。

(2) 赤城の周辺情報 年間を通して野外で活動できます。



4月上旬はまだ肌寒いですが、中旬の桜の開花とともに少しずつ暖かさが増してきます。その後は新緑の美しい季節です。
 最高最低気温(℃) 3月 12.9 - 2.6 4月 19 - 8 5月 23.5 - 13.1

おすすめの活動

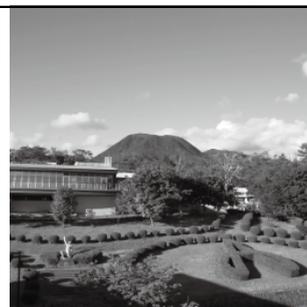
3月でも充分、野外活動が楽しめます。桜の時期は、所内が桜の名所です。5～7月の新緑の頃は野外活動がおすすめです。鍋割山は4月中旬、黒檜山・地蔵岳は5月連休まで雪が残っていることがあるため、事前の下見が必要です。



前橋市街地と比較すると気温は少し下がりますが、暑い日が続きます。この時期は夕立と雷に注意してください。
 最高最低気温(℃) 6月 26.2 - 17.5 7月 29.7 - 21.4 8月 31.3 - 22.6

おすすめの活動

地蔵岳など赤城山への登山が涼しくておすすめです。



9月は残暑が続きます。赤城山山頂は10月頃から、施設のある赤城山中腹では11月中旬頃から紅葉が見頃となります。
 最高最低気温(℃) 9月 26.7 - 18.9 10月 21.2 - 12.5 11月 16 - 6.5

おすすめの活動

11月は寒い日もありますが、虫も少なく動きやすいので野外での活動に最も適しています。予約が取りやすく、天候も安定しているので、大変おすすめです。



赤城おろしの冷たい風(からっ風)が吹き、寒い日が続きます。施設付近で雪が積もることはあまりありませんが、寒さ対策は必要です。
 最高最低気温(℃) 12月 11.4 - 1.7 1月 8.8 - -0.8 2月 9.4 - -0.4

おすすめの活動

星空観察などが特におすすめです。防寒対策を行えば野外での活動も充分可能です。



※最高最低気温は1981年～2010年の前橋市内での観測データです。

2 利用の申し込み

(1) 申し込み期間

利用人数・利用形態	受付開始時期	申込期限
10名以上の団体	次年度利用受付 10月1日 10:00～	原則 利用日の2ヶ月前 ※ただし、施設利用の制限を承諾していただければ、以降も受け付けます。
	今年度利用受付 随時受付中	
9名以下の団体	3ヶ月前より	
日帰りの団体	1ヶ月前より	利用日の2週間前

※当所を利用した学校団体（小・中・高・特別支援学校）については、上記とは別に次年度の「先行予約」を行っています。

(2) 申し込みから利用当日までの流れ

利用の申し込み



書類の提出



書類の受け取り

- 希望日の空き状況を HP 等であらかじめ確認してください。
- 電話または HP で申し込んでください。
※仮予約はございません。
- FAX か郵便で「内定通知書」が届きます。
- 2ヶ月前までに活動計画書（1・2）を FAX 又は郵送で事務室に提出してください。（P79・81）
- クラフト等のプログラムで材料の購入が必要な場合は、
1ヶ月前までに教材申込書を FAX 又は郵送で食堂に提出してください。（P83）
- 1ヶ月前までに食事申込書、食物アレルギー事前確認票（該当者のみ）を FAX 又は郵送で食堂に提出してください。（P85・87）
※提出書類はすべて HP からダウンロードできます。
- FAX または郵便で「利用承諾書」が届きます。
・利用区分により施設使用料（宿泊料）が変わります。
- 宿舍割が届きます。
・部屋数が足りているか確認してください。
・宿舍の定員は、本館配置マップ（P23）で確認してください。
- 日程表が届きます。
・活動の内容、会場が間違いないか確認してください。
・食事や入浴の時間は、予め調整しますが、
利用期間中に行われる代表者会議で、相談させていただくことがあります。
- 指導料金のかかる活動を行う場合は、この他に関係書類が届きます。
・活動によっては担当講師との事前の電話打ち合わせが必要です。
（活動の2週間前までにお願いします。）

※活動内容、会場及び宿泊場所は、希望が重複することがあります。
ご利用3週間前までに調整の上、決定させていただきます。

(3) 利用日までの留意事項

<p>準備について</p>	<p>○予め引率者全体で、活動内容や使用会場の把握をお願いします。 ※必要に応じて、団体内で事前学習を行ってください。 ※下見及び事前の打ち合わせをお勧めしております。 希望される場合は、あらかじめ電話で連絡してください（予約制です）。</p> <p>○施設利用ガイドブックをよくお読みになって、利用される方に施設の使い方やきまりについて周知してください。 ※不明な点がある場合は気軽に相談してください。</p>
<p>相談について</p>	<p>○当所の職員と、プログラムの時間や会場について相談します。 ※他団体と時間や会場が重複した場合は、調整の後決定します。 ゆずりあいの精神を持って、調整に協力してください。</p> <p>○活動の目的に沿って、当所の職員がアドバイスをいたします。 ※こんな時にも気軽に相談してください。 ・自分達の目的を達成するには、どんなプログラムを行えばいいのかわからない。 ・プログラムの所要時間や必要物品について不安だ。 ・プログラムの進行の仕方がわからない。</p>
<p>変更が生じた場合</p>	<p>○利用人数、活動内容に変更が生じた場合は、すでに提出されている活動計画書に変更を書き入れ、変更箇所が分かるようにして再度提出してください。 ※他団体の宿舎や活動場所に影響が出る場合、希望に添えないことがあります。</p> <p>○食数、宿泊人数に変更が生じた場合は、必ず食堂にも変更の連絡をお願いします。 ※食事の変更期限：本館食・お弁当の場合は、利用前日の16時まで 野外炊事食材・特別注文品は、利用3日前の16時まで ※変更期限を過ぎての変更は出来ません。</p>
<p>キャンセル について</p>	<p>○やむを得ず利用を取り消す場合は、当所に電話で連絡の後、以下の内容を記載した文書を、FAXまたは郵送してください。 ※送っていただいた書面をもって、正式なキャンセルの手続きをさせていただきます。</p> <p>・団体名 ・利用期間 ・宿泊場所（本館かキャンプ場の利用か） ・理由（簡単に） ・担当者名 ・電話番号</p> <p>※大幅な人数の変更、正当な理由がない直前のキャンセル等については今後の利用をお断りすることがあります。</p>
<p>身体の不自由な方 ご利用の場合</p>	<p>○身体の不自由な方のご利用の際には、配慮いたします。 予約の際に申し出てください。</p>
<p>アレルギー 対応について</p>	<p>○可能な範囲で対応しています。食堂に直接相談してください。 食堂・売店 TEL 027-288-3333 (7:20～17:00)</p>
<p>傷害保険について</p>	<p>○当所での活動中の事故や施設・設備の破損など万一の時に備えて、あらかじめ国内旅行保険等に加入しておくことをお勧めします。</p>

3 入所から退所まで

(1) 入所

到着・受付

- **研修担当者が事務室にて受付をします。(15分程度)**
 - ・ 9:00～16:00の間に入所できるようにしてください。
 - ・ 担当者の方が先に入所して受付を済ませておくともスムーズです。
- 受付では **3種類の書類**を提出します。
 - ① **利用承諾書**：事前に送付されます。日程や利用区分を確認します。
 - ② **利用団体票**：人数を確認するために使用します。
 - ③ **利用者名簿**：宿泊する全ての方の名前を確認するために使用します。
 - ・ ②、③は当日記入することもできますが、事前に用意していただくとも時間短縮できます。HPからダウンロードすることができます。
 - ・ 急な欠席など、変更や訂正は手書きで結構です。
- 下記の確認をします。
 - ① 日程と活動場所、特定研修活動（有料講師）の有無などを確認します。
 - ② 宿舍割を確認し、鍵を渡します。
 - ③ 支払い方法を確認し、手続きについて説明します。

オリエンテーション (施設の使い方の説明)

- **職員によるオリエンテーション**を受けます。(15分程度)
 - ・ 引率の先生や大人の方、バスの乗務員さんなどを含めた『**宿泊する全ての方**』が対象です。
 - ・ 原則として入所時に受けていただきます。
 - ・ オリエンテーションの会場は事前にご案内します。
 - ・ 開校式など、団体で独自のプログラムを設定する場合はその中にオリエンテーションの時間を設けてください。
 - ・ オリエンテーションと入所の手続きは並行して行うことができます。
 - ・ 団体の責任者が参加者に使い方の説明をしていただければオリエンテーションを省略してもかまいません。

食堂売店 (営業時間 7:20～19:00)

- 受付後、下記の項目について **食堂の売店で確認**を行います。
 - ・ **支払いの方法** …P10「料金の精算」を参照。
 - ・ **食数・宿泊者数**…受付で確認した人数を報告してください。
 - ・ **シーツ使用枚数**…利用期間中に使用するシーツの数を報告してください。

⑨ 受付終了後、すみやかにお願いします。

シーツ受取・入室

- **リネン室**でシーツを受け取り、入室します。
 - ・ シーツの受け取りは19:00までをお願いします。
 - ・ 宿泊棟用のシーツはサービス棟1階、寝袋用シーツはセンター棟のリネン室に用意してあります。
 - ・ 宿泊用の荷物を置くなど、入室がシーツ受け取りよりも先になってもかまいません。

宿泊棟・谷のキャンプ場・・・10:00以降、入室可能

(2) 研修

標準生活時間

当所では標準生活時間を設定しております。
みなさんが気持ちよく生活するために、
時間を守って過ごしてください。

6:00	起床・寝具整理・洗面・清掃
7:00	朝のつどい
7:20～9:00	朝食 ※退所日の朝8:45～退所点検
9:00～12:00	午前の活動時間
12:00～13:30	昼食
13:30～16:30	午後の活動時間
16:30	代表者会議
17:00	夕べのつどい
17:30～19:00	夕食
19:00～22:00	夜の活動時間（屋外は、～21:00）
～23:00	片付け・就寝

注意事項

◆入退所可能時間

9:00～16:00

◆研修可能時間

開始… 9:00～

終了…21:00（屋外）

22:00（屋内）

◆入浴時間

<4～10月>

17:30～23:00

<11～3月>

19:30～23:00

設備や備品

○消耗品

- ・活動に必要な消耗品は各団体で事前に準備してください。

<例> 筆記用具、接着剤、マジック、のり、セロテープなど研修で使用するもの。

ライター、新聞紙、洗剤、トランシーバー用の電池、ライン用石灰など野外炊事や登山、

スポーツ等で使用するもの。

当所で貸し出しているものもあります。P20～21「貸出備品一覧」を参照。

○貴重品の管理

- ・**コインロッカー**（使用后100円硬貨が戻るタイプ）が**管理研修棟1階トイレの前**にあります。

紛失や盗難等については、当所では責任を負いかねます。

研修担当者の方は貴重品の管理を徹底してください。

○洗濯…洗濯機6台（無料）とガス乾燥機2台（15分100円）

- ・場所：**プレイルーム1階**

- ・時間：6:30～21:30

洗剤は持参してください。食堂売店でも購入できます。

次の方のために洗濯、乾燥が終了した方は、速やかに中身を取り出してください。

○パソコン使用

- (1) インターネット環境

研修での利用に限り、管理研修棟でWi-Fiが利用できます（無料）。事務室へ申請してください。

パスワードをお渡しします。LANケーブル使用での有線接続も可能です。

- (2) コピー

食堂売店でコピーできます。（有料：A4・B5サイズ1枚10円、A3・B4サイズ20円）

貸出用のパソコン、プリンターはありません。

(3) 宿泊

代表者会議



夕べのつどい

目的

- ◆規則正しい生活をおくる
 - ◆他団体の様子を知る
(互いに尊重し合い、思いやりの心を)
 - ◆団体間の交流
 - ◆当所からの連絡
 - ◆各団体の健康観察
 - ◆1日の活動のふりかえり など
- ※朝のつどいも同様



食 事

< 食堂の営業時間 >

朝食 7:20 ~ 9:00
昼食 12:00 ~ 13:30
夕食 17:30 ~ 19:00



消灯・起床

消灯時刻 23:00
起床時刻 6:00



朝のつどい

- 16:30 から、**管理研修棟 1 階 講師ロビー**で行います。

内容

- ①顔合わせ (各団体の研修担当者と当所の宿直・警備担当)
- ②団体状況の確認 (宿泊者数・健康状態など)
- ③つどいの役割分担 (司会進行・国旗と所旗の掲揚 / 降納)
- ④当所からの連絡
- ⑤食事・入浴時間の確認
・団体の代表者又は研修担当者、もしくはそれに代わる方が必ず出席してください。

- 17:00 から開始します。**晴天時つどいの広場・雨天時 & 冬期体育館**左記の目的で実施しています。研修の一環として宿泊される方みなさんで参加してください。なお、野外炊事など研修の都合上どうしても参加できない場合は、事前に了承を得てください。

- 各団体の皆様に役割をお願いしています。

<各団体で分担する役割>

- ・司会進行 …全体の中から 1 名
- ・国旗と所旗の降納…全体の中から各 2 名
- ・団体代表挨拶 …各団体 1 名

- ・各団体より代表挨拶をしていただきます。代表を 1 名決めておいてください。
- ・希望があれば団体旗の掲揚・降納ができます。旗の管理は各団体でお願いします。(つどいの広場で行う場合のみ)

- 食堂**で食事する場合

- ・終了時には退席できるよう、時間にゆとりを持って食堂に入ってください。
- ・利用者が多い場合は、小さな子供たち、障がいのある方、退所する団体を優先したり、開始時間を早めたりする場合があります。

< お願い >

- ・**食中毒防止**…食事の前に必ず手洗いをお願いします。また、飲食物の持ち込み・持ち出しは禁止です。
- ・**アレルギー**…アレルギー表については、HP で確認してください。除去食などの個別対応が必要な場合は食堂に相談してください。
- ・**ゆすり合い**…席を詰めて座る・食べ終わったら席をゆする、など多くの人が利用できるように、ご協力をお願いします。
- ・**セルフ方式**…食べきれぬ分だけ取るようにしてください。食後はテーブルを拭くなど、片付けをお願いします。

- 消灯時刻・起床時刻を守ってください。

- ・23:00 ~ 6:00 の間は活動ができません。お部屋で静かに過ごしてください。
- ・多くの方が利用しています。お互いに気持ちよく生活できるよう時間厳守をお願いします。
- ・安全のため、夜間は施錠します。22:00 以降は外出しないでください。
- ・緊急の場合は下記へ連絡してください。
8:00 ~ 17:00 事務室 < 内線 224 >
17:00 ~ 8:00 事務室または宿直室 < 内線 227 >

- 7:00 から開始します。**晴天時つどいの広場・雨天時体育館**

<各団体で分担する役割>

- ・司会進行…全体の中から 1 名
- ・国旗と所旗の掲揚…全体の中から各 2 名
- ・ラジオ体操係…各団体数名

(4) 退所

整理・整頓・清掃



シーツ返却



退所点検



カギの返却



料金の精算



退所手続き

□**寝具の整理整頓**をしてください。

- ・宿泊室の**掲示写真**、またはHPの「ご利用方法」-「施設利用ガイドブック」-しおりに使えるデータバンク(4)寝具の扱い方と片づけ方を参照。

□**宿泊棟(キャンプ場)を清掃**し、出たゴミは退所点検担当の職員に渡してください。

- ・宿泊棟の掃除方法について…HPの「ご利用方法」-「施設利用ガイドブック」-しおりに使えるデータバンク(5)そうじの仕方を参照。
- ・ゴミの分別方法などについて…P13「ゴミの処理」を参照。

□**荷物を指定場所**に移動してください。

- ・退室後の荷物置き場を事前に指定します。

□**使用したシーツをリネン室に返却**します。

- ・部屋でまとめてリネン室の返却ワゴンの中に入れてください。
- ・シーツと枕カバーはそれぞれ別々のワゴンに返却します。
- ・鼻血等で布団やシーツが汚れてしまった場合は職員までお知らせください。
- ・衛生管理のため、4泊以上される団体の方にはシーツの交換をさせていただきます。

□**退所日の8:45から部屋の点検**を受けてください。

- ・各フロア1名の引率者の方と各部屋1名以上の研修生の方の立ち会いをお願いします。
- ・そうじで出たゴミは職員に渡してください。

<点検の内容>

- ①宿泊棟(キャンプ場)の**清掃**がされているか
- ②**寝具**は適切に片付けられているか
- ③**忘れ物**はないか

□**宿泊棟のカギ**を事務室に返却します。

- ・団体でまとめて返却をお願いします。

※**部屋のカギ**は開けておいてください。

※次の団体が利用しますので、**9:30**までに返却をしてください。

□**食事代やシーツ代**などを精算してください。

- ・詳細はP10「料金の精算」を参照。

□**16:00**までに退所の手続きを事務室ですませてください。

受付時にお渡しした以下の3点を提出してください。

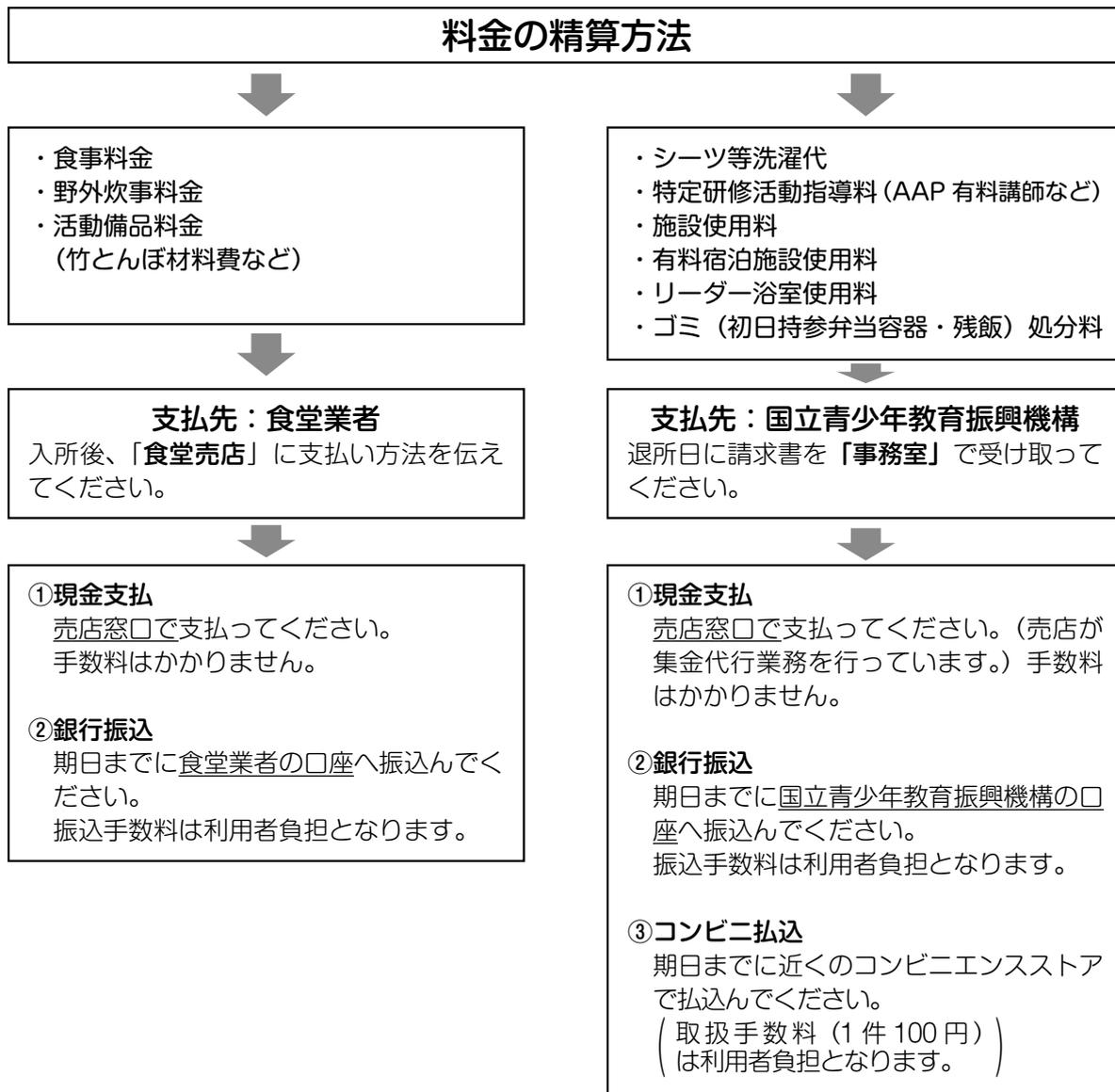
- ①**リーダーファイル**
- ②**利用団体代表者アンケート**
- ③**疾病処置報告書**

- ・②、③は事前に記入してください。③は該当者がいない場合でも「該当者なし」ということがわかるよう、「0名」などと記入してください。

当所では、**退所式**は特に設定しておりません。団体独自の退所式で当所の職員からの挨拶が必要な場合は事前に事務室へ相談してください。

(5) 料金の精算

大変お手数ですが、支払先が異なるため精算方法が下記の2種類になります。
支払方法とあわせて確認してください。



※各種料金について…詳細は P18 「各種料金一覧」を参照。

※請求書の分割について…請求書を分割して発行することができます。

< 対応が可能なもの >

例 1) 児童生徒と職員、添乗員やカメラマンなど、それぞれのシーツ代を別々で処理したい。

2) シーツ代と特定研修活動指導料 (キャンプファイヤーの講師代など) を分けてほしい。

注意：銀行振込やコンビニ払込の場合、請求書 1 枚ごとに「手数料」が発生します。

カメラマン 1 名分のシーツ代など、合計金額の低いものは現金支払をおすすめします。

現金支払の場合、請求書を分割しなくても、領収書の分割が可能です。

< 対応できないもの >

例 1) 食事代とシーツ代を一緒にしてほしい。

2) 8,000 円の指導料を 5,000 円と 3,000 円にするなど、特定研修活動指導料の中身を分割したい。

注意：支払先が違うものをまとめたり、1 つの項目を分割したりすることはできません。

◆お願い◆

団体の会計担当の方は P94 「利用団体票 (裏)」を参考に、来所前に支払方法を検討しておいてください。

(6) 宿泊施設の使い方

本館での宿泊



宿泊棟の使い方について

- ・原則、男女で使用するフロアーが分かります。
(トイレ設備及び安全管理の都合上、男性が2階、女性が3階になります。)
- ・宿泊室での飲食は禁止です。虫が発生する原因になります。体育館前の談話棟と各棟2階東の談話室を利用してください。
- ・館内は全面禁煙です。喫煙される場合は指定の場所をお願いします。
- ・貴重品の管理は団体をお願いします。部屋を離れるときは施錠してください。管理研修棟1階のロッカーも利用できます。
- ・利用している棟やフロアー以外への出入りは遠慮してください。

キャンプ場での宿泊



キャンプ場の生活について (整備状況により変更する場合があります。)

キャンプ場開設期間：5月1日～10月31日

キャンプ場定員：谷のキャンプ場・・・常設8人用テント6張

※あかぎプレイパークに持ち込みテントを張ることも可能です。

寝袋：貸出用あり。

シーツ：貸出用の寝袋を使用する場合のみ利用します。1枚160円。使用後はセンター棟リネン室に返却してください。

時間：夜間の活動は21:00までに終了してください。

注意：地震や雷、台風、暴風など危険と思われる場合は、宿泊場所の変更(センター棟研修室への避難等)をお願いすることがあります。



キャンプ場の安全やマナーについて

- ・消灯時刻の後、起床時刻の前は静かに過ごしてください。
- ・夜間のトイレの使用は複数で行くようにしてください。足もとを照らすライトを準備してください。
- ・夜間は野生動物が近くに来ることもあります。食料や生ゴミなど狙われそうなものはテント内や近くに置かないでください。
- ・センター棟裏に緊急車両の駐車が可能です。1団体1台限定で許可証を発行しますので、事務室へ申し出てください。

テントサイト以外の設備と使い方



炊事場とトイレについて

《しらさぎ炊事場》

- ・定員約60名の野外炊事場(雨天でも実施可能) ・トイレ(冬季は凍結防止のため、閉鎖しています)

《センター棟》

- ・洗い場2カ所(蛇口は各18個) ・車イス対応トイレ ・研修室(約50人収容)

《屋根付き広場》

- ・定員200名の野外炊事場(雨天でも実施可能)

雨天時は、炊事以外の活動でも使用可能です。ただし、地面が削れるような活動は遠慮してください。車両進入禁止です。



シャワーについて ※キャンプ場宿泊の方も、本館の浴場を使うことができます。

- ・場所：センター棟シャワー室 南側7ヶ所 北側7ヶ所(うち車イス対応1ヶ所)
- ・期間：5月1日～10月31日
- ・時間：6:00～23:00
- ・注意事項：宿泊の方が優先です。日帰り利用の方は遠慮していただくこともあります。
利用の際には、事務室でカギを受け取ってください。
タンクのお湯は、一度にたくさん使うと出なくなります。節約して使ってください。
石鹸やシャンプーなどはありません。利用する場合は団体に準備してください。
利用後は必ず清掃を行ってください。

4 利用に際してのお願い

(1) 健康管理・館内保健設備等



① 事前準備と利用中の保健指導

- 法律に則り医薬品の提供は行っておりません。 団体や参加者自身であらかじめ準備してください。
 - 食物アレルギーのある参加者がいる場合は、食堂へ直接相談してください。
 - 体調不良者の発生を防ぐため、健康な状態での参加を促してください。
 - 来所中は、参加者の健康調査や保健指導を行い、ケガや病気の有無を代表者会議にて報告してください。
- ※熱中症が心配される時期には、活動中のこまめな水分補給と休養を徹底してください。
 ※感染症が心配される時期には、定期的な手洗い・うがいを実施してください。



② 負傷事故や疾病が発生した場合の対処

- 応急処置を行うとともに事務室（TEL：027-289-7224）に連絡してください。
- 引率者（研修担当・保健担当）が付き添い、事務室へ来てください。
- 静養室で静養していただくか、必要に応じて医療機関等の情報提供を行います。
- 感染症（インフルエンザやノロウイルスなど）が疑われる場合は、直ちに医療機関を受診してください。



③ 医療機関を受診する場合

- 受診に必要な準備（保険証・金銭・付添い・移送準備など）をしてください。
- 医療機関への移送は、団体の担当者が付添い、団体で用意した車で行ってください。
 ※タクシー手配の連絡先を案内することもできます。事務室へ相談してください。
- 医療機関からの帰所後、受診結果を事務室へ報告してください。
 ※集団生活が困難な場合には、速やかに帰宅の手配をお願いします。
 ※感染症、またはその疑いがある場合は、感染拡大を防ぐために、退所していただきます。



④ 保健設備等

管理研修棟 1階ロビー	AED（自動体外式除細動器）1台・車イス1台
保健室	ベッド1床・担架・松葉杖・副木・体温計・氷のう・氷枕
静養室	ベッド3床・ストレッチャー

※ AED（自動体外式除細動器）は、他に食堂前・浴室棟・センター棟の3ヶ所にもあります。

(2) 近隣の医療機関・公共機関

- ・近隣の病院まで、車で15分、前橋市街地の病院へは30分以上かかります。
- ・市街地の5病院は救急24時間受付可。受診前に電話で問い合わせてください。

病院等	前橋市	相澤医院	呼吸器・胃腸	TEL 027-288-6806	原之郷 734-3
		あべクリニック	内・外・胃腸・整形・肛門	TEL 027-288-9511	原之郷 940-1
		五十嵐医院（女医も）	内・小児・肛門	TEL 027-288-2026	原之郷 295-1
		梅枝内科医院	内	TEL 027-288-7250	原之郷 660-5
		堺堀整形外科医院	整形・リウマチ・リハビリ	TEL 027-260-5125	時沢 2051-4
	富士見町	ささき整形外科	整形	TEL 027-288-2006	小暮 867
		武田クリニック	内・小児・アレルギー	TEL 027-226-1114	時沢 1869-1
		つくも内科医院	内・呼吸器・アレルギー（～20時）	TEL 027-230-5085	原之郷 450-4
		富士見内科小児科	内・小児	TEL 027-288-2210	田島 410-1
		前橋広域消防本部 救急病院等 案内（24時間対応）		TEL 027-221-0099	朝日町 4-22-2
市街地	前橋市夜間急病診療所	内・小児（20～24時）	TEL 027-243-5111	朝日町 4-9-5	
	前橋赤十字病院		TEL 027-224-4585	朝日町 3-21-36	
	群馬大学医学部附属病院		TEL 027-220-7111	昭和町 3-39-15	
	群馬中央病院		TEL 027-221-8165	紅雲町 1-7-13	
	群馬県済生会前橋病院		TEL 027-252-6011	上新田町 564-1	
	老年病研究所附属病院		TEL 027-253-3311	大友町 3-26-8	
その他	富士見市街地	前橋警察署 小暮駐在所	TEL 027-288-2048	富士見町小暮 305-1	
		前橋市消防局 北消防署（白川分署）	TEL 027-288-2719	富士見町小沢 191-1	
		前橋市消防局	TEL 027-220-4500	朝日町 4-22-2	
		前橋市保健所	TEL 027-220-5781	朝日町 3-36-17	

(3) 利用に際しての注意

① 喫煙・飲酒

【喫煙】 指定場所以外は禁煙です。(指定場所は P23 「本館配置マップ」参照)

【飲酒】 懇親会等で飲酒を希望する場合は、必ず事前に相談してください。

(飲酒できる時間・場所は限られております。) ※持ち込み不可。食堂購入のみ。

※時間内・指定場所であっても、他団体のプログラムの関係で飲酒できない場合があります。

※他団体の迷惑となる行為があった場合、その場で退所していただくこともあります。

② 冷暖房

□冷暖房の運転期間は下記のとおりです。

【夏期】 7月第3土曜日 ～ 8月31日 (27℃設定)

【冬期】 11月1日 ～ 4月20日 (20℃設定)

※事務室にて冷暖房の集中管理をしています。天候、気候の状況により柔軟に対応しますので、冷暖房の運転操作については、事務室まで相談してください。

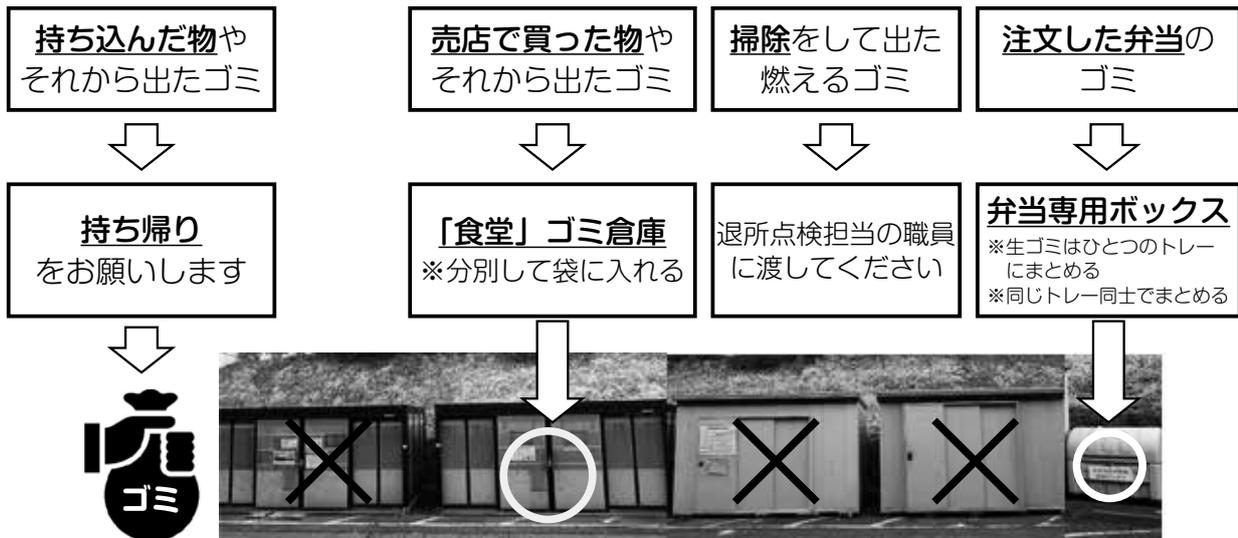
※冬季は大変冷え込みますので、室内で羽織れる服やひざかけなどを用意してください。

※冬季の体育館・武道場・講堂には灯油ストーブを設置しています。

③ ゴミの処理 (H29.4.1より一部変更しました)

□環境への配慮からゴミの分別、減量化に協力してください。

※ゴミ倉庫の場所はリネン室のわきのドアを出て右手です。(P23を参照。)



□初日に持参したお弁当の容器等の処分が有料でできます。

45ℓゴミ袋1枚につき300円(ゴミ処分料)にて処分できます。(要分別)

※①生ゴミ

②燃えるゴミ(ビニール・プラ容器、紙類など)

③ペットボトル(ラベルやキャップを分ける必要はありません)

※請求書の発行可

④ 車両駐車場

□一般車は玄関前のバス駐車場への駐車はできません。第1・第2駐車場への駐車をお願いします。

※本館前には、障がい者専用の駐車場があります。事務室で「駐車許可書」を受け取ってください。

※駐車スペースに限りがありますので、できるだけ乗り合わせて来所してください。

⑤ 利用者への電話・FAXの取り次ぎ

- 緊急時以外の電話・FAXの取り次ぎはしていません。
- 研修担当者は、携帯電話番号などの緊急連絡先を利用者やその家族などに周知してください。

⑥ 郵便物・荷物の事前送付

- 利用団体宛て郵便物（信書）は原則として受け取っていません。
- 当所宛に荷物を送付する際は、**必ず事前に電話連絡をしてください。**
- 荷物の宛名には、「**国立赤城青少年交流の家・利用団体名・団体代表者名・利用日**」を明記してください。
- 団体名の明記がないもの、着払い、料金不足、生もの、貴重品は受け取りができません。
※レンタカーの車のカギのお預かりはしていません。
業者から直接、受け取りができるようにしてください。
- なお、当施設からの発送は、食堂売店にて可能です。（着払いのみ）
- 荷物のお渡しは原則 9：00 - 17：00 です。

⑦ 飲食物の持ち込み

- 食中毒防止のため、飲食物（野外炊事用含む）の持ち込みや、食堂からの持ち出しは**禁止**です。
- 熱中症予防のための飲料持参は可能です。

⑧ 身体障害者補助犬・ペット

- 盲導犬、介助犬及び聴導犬を同伴される方は、事前に連絡してください。
- ペットを伴っての入所はできません。

⑨ 備品等を壊した場合

- 原則として、弁償していただきます。**当所の施設・設備を破損したときは、すぐに事務室に報告してください。

(4) 添乗員やバス運転手の施設利用

- 当所に宿泊する添乗員や運転手も、団体の宿泊者数に加えて申し込んでください。
- 添乗員や運転手の方へも、必ずこのページの内容を知らせてください。

● 利用団体代表の方へ

- 添乗員等の人数を加えて団体の宿泊・食事数の申し込みをしてください。
 - ※添乗員等のアレルギーの有無の確認、**団体が野外炊事の時の添乗員等の食事の確認**をお願いします。
 - ※請求書は、分割して宛名を変えることができます。
 - ※**添乗員等の宿泊室も退所点検を行います**。添乗員本人か、団体の代表者が立ち会ってください。
 - ※緊急避難時は、添乗員等も一緒に行動し、避難場所で利用者名簿により点呼をしてください。

● 当所に宿泊する添乗員や運転手の方へ

- ※国立赤城青少年交流の家は、青少年を主対象とした研修施設です。
食事の配膳や寝具の準備・片づけ、清掃なども自分で行うなど、生活体験もプログラムとして考えている「**社会教育施設**」であることを理解してください。
- 添乗員や運転手も、同行した団体として登録させていただきます。
- 食事・宿泊については、団体を通して申し込んでください。
 - ※料金の請求書及び領収書は分割することが可能です。利用団体の代表の方へ相談してください。
- 入所時に、同行団体と一緒に、入所オリエンテーションを受けてください。
- 宿泊室のカギは、団体の代表の方から受け取り、最終日の9：30までに団体の代表の方へ返してください。
- シーツは、リネン室の利用団体名の表示がある棚から、一人シーツ2枚・枕カバー1枚をお持ちください。お帰りの際は、たたんでリネン室の返却カゴへ戻してください。
- 施設で特に必要な持ち物…タオル、洗面用具等
- 宿泊室や研修室、野外では禁煙**です。喫煙は指定の場所をお願いします。
- ゴミは持ち帰ってください。売店で買った物については売店に相談してください。
- 食事・入浴は、団体と同じ時間をお願いします。
- 宿泊室内では飲食できません。談話室を使ってください。
- 退所日の朝8：45から、宿泊室の点検があります。時間までに清掃と整理をお願いします。
 - ※**点検は宿泊者本人か、団体の代表者が必ず立ち会ってください**。

5 その他の情報

(1) 研修支援プログラム (2017年4月1日改定)

指導型 <指> 直接指導プログラム・・・有料講師を依頼する活動プログラム
 ↑ ↓
 <選> 選択指導プログラム・・・希望に応じて有料講師を依頼できる活動プログラム、有料講師を依頼しない場合は<自>に準じる
 自主型 <自> 自主型活動プログラム・・・団体が自ら実施する活動プログラム。

↓
 ↙ 有料講師の依頼が必要なプログラムは雨天時のみの対応ができません。

指導	雨天時	活動名	指導料金 / 単位時間 (有料講師1名あたりの料金)	備考
< 野外活動 >				
		あかぎやま登山 以下の5コース		
選		┌ 鍋割山コース (約5～6時間)	15,400円 / 6時間	
		└ 鍋割山・荒山縦走コース (約8時間)	17,600円 / 8時間	
		┌ 地藏岳・覚満淵コース (約4時間)	15,400円 / 4時間	
		└ 黒檜山・駒ヶ岳コース (約6時間)	19,800円 / 6時間	
自		┌ 鶉山(うずらやま)コース(約90分～120分)		
自		オリエンテーリング		
自		アドベンチャーラリー		
選		キャンプファイヤー	6,600円 / 2時間	別途、薪代等が必要です。
自	○	たき火		薪代が必要です。
選	○	キャンドルファイヤー	6,600円 / 2時間	
自		ウォークラリー		
指	○	ネイチャーゲーム	8,000円 / 3時間 6,600円 / 2時間	昼間に実施する場合 夜間に実施する場合
自		グリーンアドベンチャー		
選	○	星空観察	6,000円 / 2時間	講師を依頼した場合は、雨天時はお話を聞く形になります。
指		あかぎ植物観察	6,000円 / 2時間	
自		ナイトウォーク		
自		木の実ハンティング		
< 仲間づくり >				
指	○	あかぎアドベンチャープログラム (AAP)	8,000円 / 3時間	H31年度 10,000円の予定
選	○	レクリエーション	6,600円 / 2時間 8,000円 / 3時間	
自	○	館内ラリー		
自	○	館内フォトラリー		
自		グラウンドゴルフ (ニュースポーツ)		
自	○	クップ (ニュースポーツ)		
自	○	キンボール (ニュースポーツ)		
自		ディスクゴルフ (ニュースポーツ)		
< 食事づくり >				
自	○	野外炊事		自・指共に別途、食材費・薪代等が必要です。 食堂に食事申込書を提出してください。
指	○	野外炊事 (特別プログラム:火おこし、おつきりこみ、防災食)	8,000円 / 3時間	
指	○	野外炊事 (ドラム缶ピザ & ポトフ)	8,000円 / 3時間	
指	○	うどん打ち	8,000円 / 3時間	

指導	雨天時	活動名	指導料金 / 単位時間	備考
<ものづくり>			(有料講師1名あたりの料金)	
指	○	凧づくり	8,000 円 /3 時間	別途、材料費が必要です。 直接有料講師に問い合わせてください。
指	○	土笛・オカリナ	8,000 円 /3 時間	
指	○	陶芸	8,000 円 /3 時間	
指	○	七宝焼	8,000 円 /3 時間	
指	○	てん刻	8,000 円 /3 時間	
指	○	切り絵	8,000 円 /3 時間	
指	○	新聞紙であそぶ	8,000 円 /3 時間	
指	○	厚紙ブーメラン	8,000 円 /3 時間	
指	○	ドリームキャッチャー	8,000 円 /3 時間	
指	○	アロマキャンドル	8,000 円 /3 時間	
選	○自	スーパー竹とんぼ	8,000 円 /3 時間	
自		くるくるタネ		
選	○自	かな箸づくり	8,000 円 /3 時間	
選	○自	ネイチャークラフト	8,000 円 /3 時間	
自	○	勾玉		別途、材料費が必要です。 食堂に教材申込書を提出してください。
自	○	ミニサークルステンド		
自	○	プラホルダー		
自	○	森のこびん		
自	○	押し花		
<環境>				
指	○	あかぎ森林守り隊	8,000 円 /3 時間	材料費は応相談です。
<その他>				
自		テニス・ソフトボール サッカー・ラグビー (ゴールポスト有)		野外スポーツ
自	○	バレーボール・バスケットボール・卓球 バドミントン・ソフトバレーボール フットサル・綱引き・長縄跳び 柔道・剣道・空手などの武道 インディアカ・ドッジビー・キンボール		屋内スポーツ
自	○	ボランティア活動 (屋内外の清掃・整備・下草刈りなど)		
自	○	講演会・研究集会 (講堂などを利用)		
自	○	学習活動・研修会 (研修室などを利用)		

- ・対応可能人数や概要などは、「プログラム紹介」のページ参照。
- ・施設を使つての自主活動(上記以外の活動)は、職員に相談してください。

(2) 各種料金一覧

① 宿泊にかかる料金

□ シーツ等洗濯代

- ・本館 200円 (300円：H30.10月～)
- ・キャンプ場 160円 (寝袋を借りた場合のみ)

※長期宿泊の場合、3泊ごとに4日目からシーツを交換します。(交換ごとにシーツ洗濯代がかかります)

□ 施設使用料 (宿泊料)

- ・青少年区分の団体 無料
- ・一般区分の団体 お一人1泊につき800円

※団体区分がわからない場合は問い合わせてください。

※活動場所に使用料は発生しません。(研修室や体育館など屋内施設、キャンプ場や屋根付き広場など屋外施設)

□ ゲストルーム (現講師室 1～4) 使用料 原則として1団体1室

- ・1泊 1,200円 (別途、シーツ等洗濯代200円(300円：H30.10月～)がかかります)

□ リーダー浴室 (1・2) 使用料

- ・1室1時間 1,000円 (利用時間8:30～21:30)

◎ 10月より貸し出し開始

□ ゲストハウス (現ボランティア棟) 使用料 原則として1団体1室

- ・1泊 800円 (別途、シーツ等洗濯代300円がかかります)

□ 特別講師棟 (現特別研修棟講師棟) 使用料 原則として1団体1室

- ・1泊 1,600円 (別途、シーツ等洗濯代300円がかかります)

※事前予約が必要です。

② 食事にかかる料金 (※消費税含む)

□ 本館食

	朝食	昼食	夕食	合計
中学生以上	440円	540円	660円	1,640円
小学生	430円	530円	640円	1,600円
幼児 (3歳以上)	350円	430円	550円	1,330円

□ お弁当

- ・赤城弁当 (鮭照焼)・榛名弁当 (唐揚)・妙義弁当 (ハンバーグ) 3種類全て 540円

※それぞれ幕の内弁当・おにぎり弁当をお選びいただけます。HPにお弁当の写真とアレルギー表を掲載しています。

※飲み物も別途注文できます。

□ 野外炊事：既存メニュー

メニュー	内容 基本は8人分 4人分だと1/2量	金額
朝食用 ご飯セット <和食> 440円/1人当り	米(1,400g) インスタントみそ汁(8) コースハム(8) 卵(8)、味付けのり(8) 切り干し椎茸(100g) しょうゆ、サラダ油	8人セット 3,520円
		4人セット 1,760円
朝食用 パンセット <洋食> 440円/1人当り	ロールパン(24) わかめスープ(8袋) ウインナー(24) ミニトマト(24)、きゅうり(2) オレンジジュース(2本) ケチャップ・マヨネーズ各8本	8人セット 3,520円
		4人セット 1,760円
カレー ライス 555円/1人当り	米(1,400g)、豚肉(300g) ジャガイモ(600g位) 人参(300g位)、玉ねぎ(800g位) カレールー(230g) 福神漬(2袋)、サラダ油	8人セット 4,440円
		4人セット 2,220円
ドラム缶 ピザ & ポトフ 555円/1人当り	強力粉(500g)、薄力粉(250g) ドライイースト(2袋) スティックシュガー(2本) 塩(10g)、オリーブオイル (30ml)、打ち粉(70g)、 ピザソース(2本)、ミニマト (12個)、黄ピーマン(1個)、 玉ねぎ(1)、スイートコーン (120g)、ウインナー(8本)、 ミックステーズ(320g)、キャ ベツ(1/2)、ジャガイモ(4)、 人参(1)、ベーコン(2枚)、 食塩(20g)、チキンコンソメ (4個)、胡椒(2g) など	8人セット 4,440円
		4人セット 2,220円

メニュー	内容 基本は8人分 4人分だと1/2量	金額
豚汁 & ご飯 420円/1人当り	米(1,400g)、豚肉(250g) 長ねぎ(1)、人参(1) 玉ねぎ(2)、ごぼう(1) 大根(1/2本) みそ(400g) ごま油	8人セット 3,360円
		4人セット 1,680円
焼きそば & ゆかりご飯 680円/1人当り	米(1,400g)、ゆかり(8袋) 焼きそば(8袋)、豚肉(300g)、 キャベツ(1)、玉ねぎ(2)、 人参(1)、ピーマン(2)、 もやし(1kg) 紅生姜(1袋)、 サラダ油	8人セット 5,440円
		4人セット 2,720円
バーベキュー 840円/1人当り	牛カルピ肉(640g) 豚ロース肉(640g) キャベツ(1)、玉ねぎ(2) ピーマン(4)、しいたけ(8) もやし(800g)、焼きそば(8袋) 焼肉のたれ、サラダ油	8人セット 6,720円
		4人セット 3,360円
うどん打ち	うどん粉(150g)、打ち粉(75g) 海老かきあげ(1) 野菜天ぷら(2) ※1人分の材料です。	1人分 620円

※内容は時価により多少変更になることがあります。

※かまどを利用する場合は、別途薪代などがかります。

→ P19「③売店で購入できる活動備品」を参照。

※ご飯炊き上げは1人分80円(8人セットで640円)のプラスとなります。

□野外炊事：自主メニュー

自主的なメニュー構成で野外炊事を行う場合は、食材は食堂までお申し付けください。

注文方法は、食事申込書へ記入してください。→記入については、P29「食事申込書記入例」を参照。

食材の持込は、食中毒防止のため原則お断りしています。→詳細は P14「⑦飲食物の持ち込み」を参照。

③売店で購入できる活動備品（※消費税含む）

活動	備品	料金	活動	備品	料金	活動	備品	料金	
野外炊事	薪（1束）	420円	キャンプファイヤー	ファイヤー薪（1束） （3～4束で約1時間）	1,050円	創作活動	押し花用色紙	110円	
	木炭（3kg）	630円		トーチ棒セット （角材1、針金3、布1）	210円		スーパー竹とんぼキット	110円	
	固形燃料（20g位）	20円			灯油（1ℓ）		110円	ミニサークルスタンド	320円
	ぞうきん	110円			焚き火用薪（1束）		420円	勾玉（まがたま）	350円
	ふきん	160円		アルミホイル（1本）	180円		くるくるタネ	410円	
	軍手	50円			ローソク大（1本）		420円	ブラホルダーキット	250円
	洗剤（200ml）	210円	ローソク小（1本）		30円		森のこびん	210円	
	クリームクレンザー（400g）	110円	FAX送信	B4サイズ（1枚）	200円		かな箸	150円	
	スポンジたわし	150円		A4サイズ（1枚）	100円		接着剤（木工ボンド）	160円	
	金たわし	150円	コピー1枚	A4・B5サイズ	10円		瞬間接着剤（2g30人分）	320円	
	電池（単1）	270円		A3・B4サイズ	20円	セロテープ	130円		
	電池（単2）	210円	日用品	スリッパ	250円	のり	130円		
	電池（単3）	160円		ノート	110円	その他	その他、氷（ロック・板）、ジュース、菓子、土産、タオル・歯ブラシ等の生活用品、アルコール類など。詳細は食堂売店へ。		
	電池（単4）	160円							
野外活動	オリエンテーリング コースマップ	110円							
	熊鈴	1,500円							
	コンパス	2,200円							

④料金例

ア 大人1名・小学生10名＋本館宿泊1泊2日＋野外炊事（バーベキュー）・本館食（夕食＋朝食）＋AAP有料講師1人

①施設使用料	0円				青少年団体
②シーツ洗濯代	2,200円	… 内訳	200円 × 11名 = 2,200円		
			(3,300円…内訳300円 × 11名 = 3,300円 (H30.10月～))		
③食費	22,720円	… 内訳	(大人夕食 660円 + 大人朝食 440円) × 1名 = 1,100円		
			(小学生夕食 640円 + 小学生朝食 430円) × 10名 = 10,700円		
④AAP指導料	8,000円		BBQ8人前 4人前		
	(10,000円 (H31～))		(1セット 6,720円) + (1セット 3,360円) = 10,080円		
合計	32,920円		薪代 420円 × 2束 = 840円		
	(34,020円 (H30.10月～))				
	(36,020円 (H31～))				

イ 大人10名＋本館宿泊4泊5日＋本館食（夕4回・朝4回・昼3回）

①施設使用料	32,000円	… 内訳	800円 × 10名 × 4泊 = 32,000円	一般団体
②シーツ洗濯代	4,000円	… 内訳	200円 × 10名 × 2回 = 4,000円	
			(6,000円…内訳300 × 10名 × 2回 = 6,000円 (H30.10月～))	
③食費	60,200円	… 内訳	大人夕食 660円 × 10名 × 4回 = 26,400円	
			大人朝食 440円 × 10名 × 4回 = 17,600円	
			大人昼食 540円 × 10名 × 3回 = 16,200円	
合計	96,200円			
	(98,200円 (H30.10月～))			

(3) 貸出備品一覧

物品倉庫			
湯沸かしポット		8	
保温ポット		4	
ジャグ 9ℓサイズ		9	
湯呑セット (内急須なし 1 セット)		5	
やかん		1	
カセットコンロ	カセットボンベが必要	11	
メジャー 100m		5	
マーカーコーン		29	
ゼッケン 黄色		28	
ゼッケン 青色		49	
ゼッケン 緑色		49	
ゼッケン 水色		50	
コンパス		59	
熊鈴		59	
懐中電灯 (大)	1ヶにつき単1電池×4本必要	8	
懐中電灯	1ヶにつき単1電池×2本必要	6	
星座早見盤		83	
双眼鏡		16	
カップセット		4	
フライングディスク		41	
ドッチビー		10	
Xロープ		5	
インディアカ		5	
ロケットボール		8	
キンボールセット		2	
バドミントンラケット		30	
シャトル		179	
テニスラケット		12	
テニスボール		270	
卓球ラケット		24	
卓球ボール		112	
卓球ネット		16	
野球グローブ		22	
野球ボール		15	
水性マーカーセット		31	
基準時計 (電波受信式)		1	
ブルー倉庫			
ラグビー用ゴール (組)		1	
野球バット		10	
ベースセット		2	
ディスクゴルフターゲット		9	
グラウンドゴルフクラブ		50	
グラウンドゴルフボール		50	
グラウンドゴルフスタートマット		9	
グラウンドゴルフホールポスト		8	
カラーコーン		30	
コーンバー		5	
ハードル		9	
リレーバトン		9	
ラインカー	石灰が必要	4	
綱引きロープ		1	
ホワイト倉庫			
カップセット		2	
薪倉庫			
たき火台		10	
事務室周辺			
ホワイトボード		5	
スクリーン		4	
台車 (館内用)		4	

体育館倉庫		
バレーボール		10
ソフトバレーボール		3
ミニバレーボール		5
バレーボール支柱		4
バレーボールネット	クランクは事務室にあります	5
バレーボールアンテナ		9
バスケットボール		15
ミニバスケットボール		15
ミニバスケットボール用ゴール (組)		2
フットサルボール		10
フットサル用ゴール (組)		1
バドミントン支柱		6
バドミントンネット		10
ドッジボール		5
長縄 25m		3
長縄 10m		5
長縄 7m		2
綱引きロープ		2
卓球台		4
キャンドルファイヤー用燭台		1
カラーコーン		7
ミニカラーコーン		5
事務室		
延長ドラム		7
延長コード		5
ポータブルアンブ		5
有線マイク		4
DVD プレイヤー		4
CD カセットデッキ		4
PC スピーカー		3
トランシーバー	1ヶにつき単3電池×3本必要	8
雷探知機	1ヶにつき単4電池×2本必要	4
プロジェクター		8
スクリーン (3研・6研・7研・アクティビティホールは常設)		2
LAN ケーブル		7
拡声器		6
ホワイトボード用マーカーセット		8
チョークセット		3
テニス用クランク		2
バレーボール用クランク		2
クラフト用ロッカー (管理棟 2F)		
ハサミ (右利き)		84
ハサミ (左利き)		7
カッター		50
カッター板		50
プラホルダー用オープン		2
プラホルダー作成セット		1
押し花作成セット		1
竹ひきのこぎり		10
小刀		50
ニッパー		30
きり		50
棒やすり		30
スーパー竹とんぼ作成セット		80

※キャンドルファイヤー用燭台は、体育館倉庫 (ローソク立ての数: 27 本)、アクティビティホール (ローソク立ての数: 17 本)、剣道場 (ローソク立ての数: 11 本)、講堂 (ローソク立ての数: 11 本) に 1 台ずつあります。どの燭台もローソクは 7 ~ 8 本程度あれば楽しめます。
※備品の予約はできません。

(4) 研修施設の概要

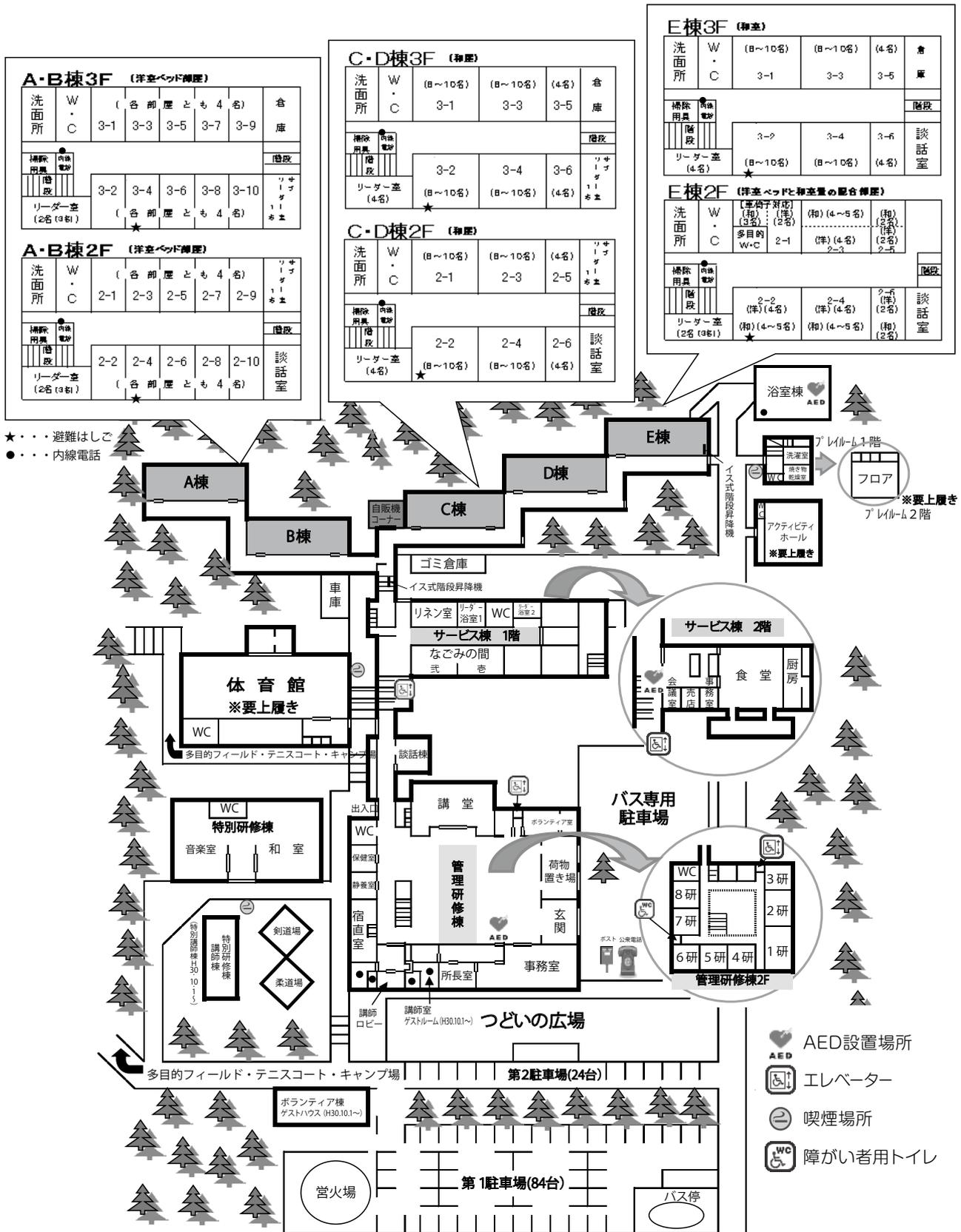
※使用後は、必ず、清掃と備品の整理整頓をお願いします。

名称	収容人員	主にできる活動	設備・備品等	
管理研修棟1階	講堂	オリエンテーション 講演会、レク キャンドルファイヤー など	フローリング (16m × 16m)、イス、折りたたみ式長机、グランドピアノ、暗幕、燭台	
	講師室 ゲストルーム (H30.10.1~)	4 室	宿泊	
	講師ロビー	代表者会議	テーブル、ソファー	
	保健室	—	ベッド1床、製氷機、担架、松葉杖、副木、体温計、氷枕、他保健用品	
	静養室	—	ベッド3床、ストレッチャー	
	荷物置き場	約200人分	荷物の一時保管	自動販売機
管理研修棟2階	第1研修室	学習活動創作活動 など	長机27台、イス81脚、インターネット回線 ※第1研修室には暗幕あり。	
	第2研修室		机や椅子の数は最大数です。 通常時は2~6セットが 折りたたんであります。	
	第3研修室			長机12台、イス36脚、インターネット回線、スクリーン
	第4研修室 第5研修室 第6研修室			長机14台、イス42脚、インターネット回線
	第7研修室 第8研修室			黒板、長机12台、イス36脚、インターネット回線
特研棟	音楽室	創作活動、学習活動 うどん打ち など	長机40台、イス120脚、アップライトピアノ、暗幕、ホワイトボード1台、黒板、自動販売機	
	和室	宿泊、茶道など	畳敷 (15畳 × 2室)、畳敷 (じゅうたん敷) (30畳)、座卓13台、給排水設備、寝具20組	
アクティビティホール	200人	レク キャンドルファイヤー など	じゅうたん敷き (17m × 17m)、電子ピアノ、長机38台、イス105脚、ホワイトボード2台	
プレイルーム	乾燥室	—	陶芸・オカリナ・土笛などの作品専用の乾燥棚です。	
	洗濯室	—	洗濯機6台、ガス乾燥機2台 (有料)、給排水設備	
	2Fプレイルーム	50人	創作活動 など	フローリング、座卓12台、座布団、DVD・ビデオデッキ、テレビ、給排水設備、冷蔵庫、イス10脚ホワイトボード1台
体育館	31m × 29m	各種スポーツ キャンドルファイヤー など	各種コート (バレー2面、バスケット2面、バドミントン6面、フットサル1面、卓球台4台) 各種ゴール (ミニバスケット、フットサルなど)、燭台	
武道館	剣道場	50人	剣道 キャンドルファイヤー など	試合場1面、長机9台、イス18脚、卓球台6台、燭台
	柔道場	50人	柔道・空手 など	畳 (72畳)、イス10脚
談話室	自動販売機 コーナー	—	自動販売機、テーブル、イス、給排水設備	
浴室棟	浴室棟	100人	—	あかぎ (50人)、とね (50人)、かくまんぶち (車イス対応・2人)、自動販売機、AED
サービス棟1F	なごみの間	42人	宿泊 など	壺、式 各21畳 (パーティー有)、寝具24組
	リーダー浴室	—	—	リーダー浴室① (定員3人)、リーダー浴室② (定員1人) (有料 P18 参照)
	リネン室	—	—	—
サービス棟2F	食堂ホール	250席	—	角テーブル25台、丸テーブル13台
	売店・ラウンジ	—	—	活動備品・日用品・菓子類の販売、コピー機、FAX (送信のみ)、宅配 (着払いのみ)、自動販売機、AED
宿泊棟	400人	宿泊	宿泊室、リーダー室、サブリーダー室、談話室 (冷蔵庫あり)	
営火場	100人	キャンプファイヤー	営火台	
テニスコート	—	テニス	テニスコート2面 (オムニコート仕様)	
多目的フィールド	—	各種スポーツ キャンプファイヤー (1カ所)	小学生用サッカーゴール2組、大人用サッカーゴール1組、ラグビーゴールポスト1組、移動式営火台1	
AAPコース	—	AAP	※ AAP 指導者がいる時のみ使用可能です。	
谷のキャンプ場	48人	テント泊、野外炊事	常設8人用テント6張、空中回廊	
しらさぎ炊事場	60人	野外炊事	常設かまど (20基)、机、イス	
屋根付き広場	約200人	野外炊事、AAP など	移動式かまど (大32基、小10基)、木製イス (長40脚・短40脚) 木製テーブル40 (内20はイス付)	
センター棟	—	創作活動 キャンプ場避難場所 など	研修室A・B (パーティー有)、車イス対応トイレ、食器保管庫、食材保管庫、リネン室、シャワー室、製氷機、AED	

…飲食のできる部屋。懇親会などの会場としても利用可能。

(5) 施設マップ

① 本館配置マップ



5 その他の情報
施設マップ

② キャンプ場配置マップ

あかぎプレイパーク

※テントを張ることも可能です。

AAPコース (あかぎアドベンチャー プログラムコース)

谷のキャンプ場 (常設テント)

管理棟

道具倉庫

ゴミ庫

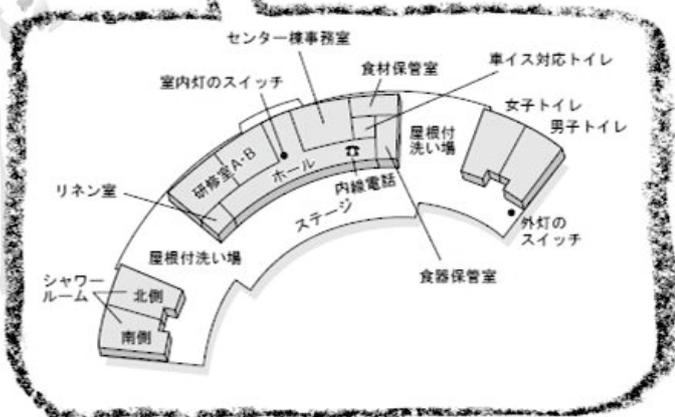
屋根付き広場

センター棟

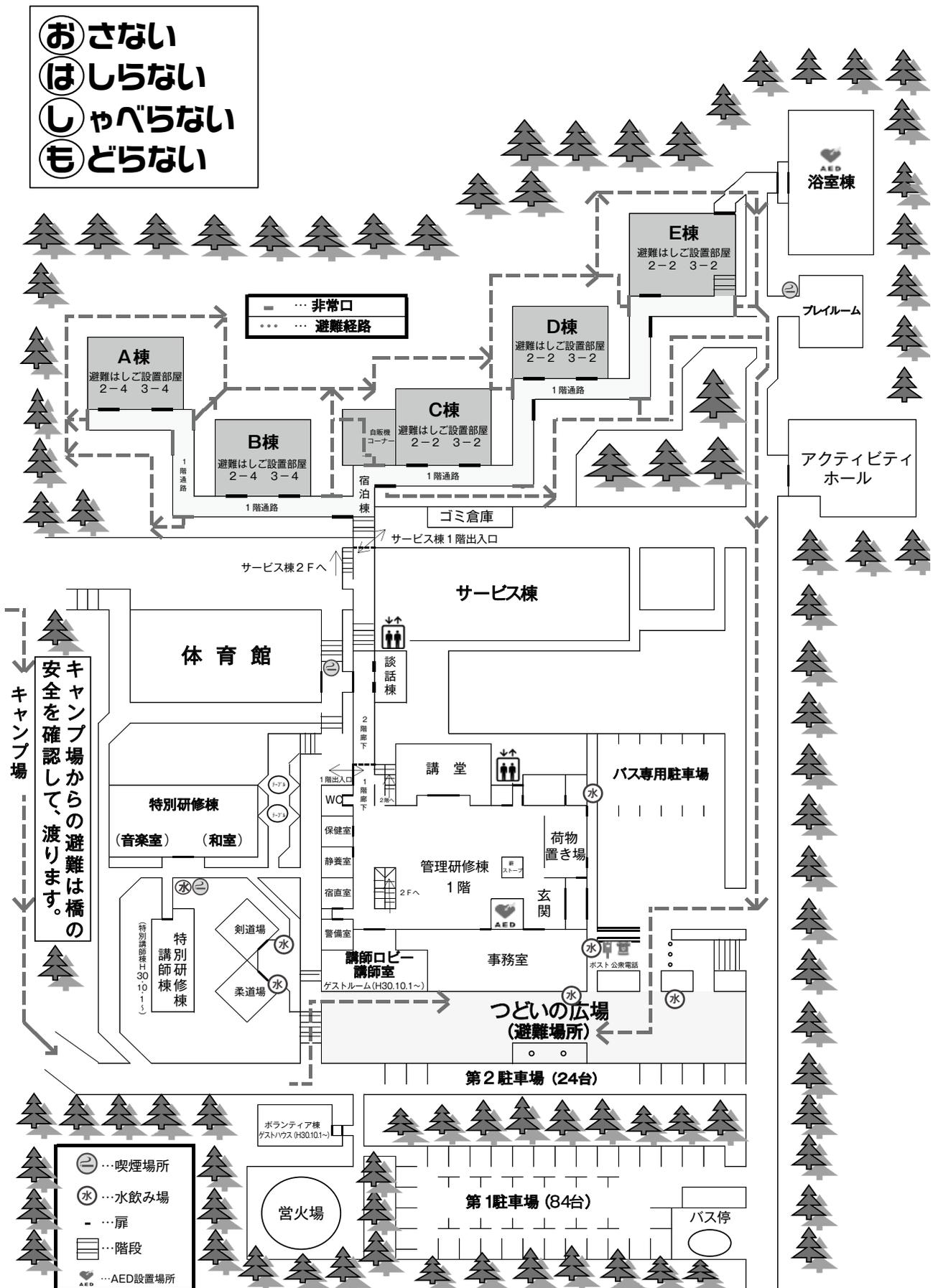
(事務室・研修室・キャンプ場避難場所)

薪小屋

★印: テント、テーブルなし。
デッキのみです。



③非常時の避難経路（避難場所は「つどいの広場」）



(5) 5 その他の情報
 施設マップ

(6) 提出書類様式

①活動計画書1記入例

ご利用の2か月前までに提出をお願いします。

活動計画書1 

記入日
年 月 日

国立赤城青少年交流の家
FAX:027-289-7226
利用日の2ヶ月前までに提出してください。

変更時
初回の提出時は『新規』に、変更による再度提出時は『変更』
にチェックをして下さい。
変更時は、どこを変更したか分かるように書いて下さい。

新規 変更(月 日)

※新規か変更を印をつけてください。
※変更の場合は変更点が
分かるように記入してください。

アカギコウリュウショウガッコウ										
(フリガナ) 団体名	前橋市立赤城交流小学校									
(フリガナ) 代表者	アカギ タロウ	TEL	027	-	000	-	0000	<input type="checkbox"/> 自宅 <input checked="" type="checkbox"/> 勤務先		
	赤城 太郎	FAX	027		000	-	0000	<input type="checkbox"/> 自宅 <input checked="" type="checkbox"/> 勤務先		
		携帯TEL	090	-	0000	-	0000			
団体住所 (代表者住所)	〒 371 - 0000 群馬県前橋市富士見町赤城△△△									
(フリガナ) 研修担当者	マエバシ ハナコ	TEL	027	-	000	-	0000	<input type="checkbox"/> 自宅 <input checked="" type="checkbox"/> 勤務先		
	前橋 花子	FAX	027	-	000	-	0000	<input type="checkbox"/> 自宅 <input checked="" type="checkbox"/> 勤務先		
		携帯TEL	080	-	0000	-	0000			
		E-Mail	akagi○○○@niye.go.jp						携帯メール不可	
書類送付先 (研修担当者住所)	〒 - 団体住所と同じ									
利用期間	入所: 20×× 年 8 月 8 日 (○) (11 時 00 分)						2 泊 3 日			
	退所: 20×× 年 8 月 10 日 (△) (9 時 45 分)						※入退所は9時~16時まで			
利用形態	<input checked="" type="checkbox"/> 本館泊 <input type="checkbox"/> 谷のキャンプ場 (張) <input type="checkbox"/> あかぎプレイパーク (張) <input type="checkbox"/> 日帰り									
交通手段	<input checked="" type="checkbox"/> 貸切バス (3 台) <input type="checkbox"/> 自家用車 (台) <input type="checkbox"/> その他 (台)									
宿泊利用人数	社会人		大学生等	高校生	中学生	小学生	未就学児	添乗員・カメラマン等	合計	うち引率
	30才以上	29才以下						30才以上 29才以下		
	男性	5	1					2	58	6
女性	3						2	55	3	
日帰利用人数	社会人		大学生等	高校生	中学生	小学生	未就学児	添乗員・カメラマン等	合計	うち引率
	30才以上	29才以下						30才以上 29才以下		
	男性	5				1			6	5
女性		3						3	3	
ねらい	*この研修を通してのスローガンや参加者にこうなってほしいなど、研修をする上での目標があれば書いてください。 ・自然の中で仲間と協力し合い、絆を深めよう									
利用目的	<input type="checkbox"/> 事前打ち合わせ <input type="checkbox"/> 修学旅行 <input type="checkbox"/> 部活動 <input type="checkbox"/> 新入生オリエンテーション <input checked="" type="checkbox"/> 集団宿泊的行事 <input type="checkbox"/> 青少年教育指導者・関係者研修 <input type="checkbox"/> 自然体験 <input type="checkbox"/> スポーツ <input type="checkbox"/> 学習活動 <input type="checkbox"/> その他 ()									
利用経験	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 利用のきっかけ: <input type="checkbox"/> 知人 <input type="checkbox"/> Web <input type="checkbox"/> 他施設の紹介 <input type="checkbox"/> その他 ()									
参加者のアレルギーの有無	該当者なし <input type="checkbox"/> 該当者あり <input checked="" type="checkbox"/> (卵アレルギーがあるので相談をしたいです。)									
エビ持参の有無	該当者なし <input checked="" type="checkbox"/> 該当者あり <input type="checkbox"/>									
◎要望等ありましたらお書きください。 ※他団体との調整がありますので、要望には添えないこともあります。										
・車いすの男子児童がいるので配慮をお願いします。(E棟2F希望)										

※上記の団体にかかわる個人情報については、今回の利用手続き、次年度以降の案内及び当所からの情報提供にのみ使用させていただきます。
情報は個人情報保護法の趣旨にのっとり厳重に管理し、法令等に定めがある場合を除き、代表者の同意を得ることなく第三者に開示することはありません。

◆記入要項

- 団体名**：学校、グループ、企業等の団体の名称を記入してください。
家族利用の場合は代表の方の姓に「ファミリー」をつけてください。
- 代表者・連絡先**：団体の代表者の氏名、連絡先を記入してください。
- 団体住所**：団体の住所を記入してください。
- 研修担当者・連絡先**：研修計画及び連絡を担当される方の氏名、連絡先を記入してください。
E-Mail アドレスは添付ファイルが受け取れるものでお願いします。
- 書類送付先住所**：団体住所と異なる場合のみ、記入してください。
- 利用期間**：入所・退所する年（西暦）月日とおおよその時刻を記入してください。
- 利用形態**：申込みをした宿泊場所に印をつけてください。
- 交通手段**：当所までの交通手段に印をつけてください。
- 宿泊人数・日帰り人数**：宿泊利用と日帰り利用に分けて、内訳がわかるように記入してください。
男女別・分類別に記入してください。引率者（指導者）は右端にも記入してください。
バスの運転手やカメラマン等、同行するすべての方について記入してください。
- ねらい**：研修を通してのスローガンや目標があれば記入してください。
- 利用目的**：研修の目的に最も近いもの1つに印をつけてください。
- 利用経験**：過去に当所を利用した経験の有無について印をつけてください。
「無」の場合は当所を知ったきっかけを記入してください。
- 参加者のアレルギーの有無**：団体での参加者の健康調査を必ず行って印をつけてください。
- エピペン持参の有無**：アレルギー該当者の中にエピペン持参者がいないか確認して印をつけてください。

その他、特別な配慮事項や質問などは最後の空欄に記入してください。

◆留意事項

- ・同一団体で本館泊（宿泊棟）とキャンプ場泊を同時に利用する場合は、それぞれ別に計画書を提出してください。
- ・同一団体で同じ宿泊施設を利用している場合、団体内で別々の活動を計画している場合は、それぞれ別に計画書を提出してください。
- ・入所式・退所式は各団体の必要に応じて行ってください。ただし、入所時には職員が使い方の説明（入所オリエンテーション）を行います。時間は15分程度です。
- ・活動計画については調整後の決定内容を通知します。
* その他、不明な点については気軽に問い合わせてください。

①活動計画書2記入例
活動計画書1と合わせて提出をお願いします。

①活動計画書2 (団体名: 赤城交流小学校) 担当氏名 (前橋 花子) 新規 □ 変更 (○月△日)

8月	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	宿泊人数
時間	晴天	晴天	朝食	11:00入所	有・無	有・無	朝食	13:30 創作活動 切り絵・篆刻・七宝焼	有・無	有・無	代表者会議	夕食	夕食	19:00 キャンプファイヤー	有・無	有・無	就業準備	消灯	男 58 名 女 55 名 計 113 名
活動内容	晴天	晴天	朝食	11:00入所	有・無	有・無	朝食	13:30 創作活動 切り絵・篆刻・七宝焼	有・無	有・無	代表者会議	夕食	夕食	19:00 キャンプファイヤー	有・無	有・無	就業準備	消灯	
	晴天	晴天	朝食	11:00入所	有・無	有・無	朝食	13:30 創作活動 切り絵・篆刻・七宝焼	有・無	有・無	代表者会議	夕食	夕食	19:00 キャンプファイヤー	有・無	有・無	就業準備	消灯	

食事
食事の欄には、< 食堂・野外炊事・弁当 > のいずれかにマル(○)をつけてください。
※こちらの記入だけでは食堂申し込みになりません。
『食事申込書』で別途、食堂に申し込んでください。

有料講師

有料講師を依頼したい場合は『有料講師』欄の有にマル(○)を、自主活動の場合は無にマル(○)をつけてください。

プログラム記入

会場を調整する際に必要となるので、活動で「何をやるのか」具体的に記入してください。
また、雨天時のプログラムも忘れずに記入してください。
<例>
集団活動→レクリエーション
動き回れることを想定し、会場調整ができます。

8月	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	宿泊人数
時間	晴天	晴天	朝食	9:30 野外炊事 (カレー作り)	有・無	有・無	朝食	14:30 オリエンテーリング	有・無	有・無	代表者会議	夕食	夕食	19:00 ナイトウォーク	有・無	有・無	就業準備	消灯	男 58 名 女 55 名 計 113 名
活動内容	晴天	晴天	朝食	9:30 野外炊事 (カレー作り)	有・無	有・無	朝食	14:30 オリエンテーリング	有・無	有・無	代表者会議	夕食	夕食	19:00 ナイトウォーク	有・無	有・無	就業準備	消灯	
	晴天	晴天	朝食	9:30 野外炊事 (カレー作り)	有・無	有・無	朝食	14:30 オリエンテーリング	有・無	有・無	代表者会議	夕食	夕食	19:00 ナイトウォーク	有・無	有・無	就業準備	消灯	

8月	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	宿泊人数
時間	晴天	晴天	朝食	9:45 退所	有・無	有・無	朝食		有・無	有・無	代表者会議	夕食	夕食		有・無	有・無	就業準備	消灯	男 名 女 名 計 名
活動内容	晴天	晴天	朝食	9:45 退所	有・無	有・無	朝食		有・無	有・無	代表者会議	夕食	夕食		有・無	有・無	就業準備	消灯	
	晴天	晴天	朝食	9:45 退所	有・無	有・無	朝食		有・無	有・無	代表者会議	夕食	夕食		有・無	有・無	就業準備	消灯	

◆記入要領
①活動内容：予約時の内容をふまえて記入してください。※活動場所は予約時に調整しています。
②有料講師：有料講師を依頼したい場合は「有」に○をつけてください。有料講師の午後活動は13:30からです。

◆留意事項
・食事と入浴の時間は、各団体の活動を考慮して調整します。
・有料講師の料金や適正人数など、活動についての詳細はプログラム紹介 (P31～) を参照。

③ 食事申込書記入例

ご利用の1ヶ月前までに提出をお願いします。

食事申込書

食堂 FAX: 027-288-7037
利用の1ヶ月前までに提出してください。

新規 変更 (月 日)

団体名 **前橋市立赤城交流小学校** 記入日 **20XX** 年 **5** 月 **1** 日 NO. **1**

団体住所 **群馬県前橋市富士見町△△**

記入者 **前橋 花子** 連絡先電話番号 **027-000-0000**
 連絡先FAX番号 **027-000-0000**

※団体担当者様へ 参加者の食物アレルギー該当者・対応の有無をチェックして下さい。
 該当者なし□ 該当者あり・対応なし□ 該当者あり・対応あり○ (別途、食物アレルギー事前確認票を提出して下さい。)

食事	月 日	8 月 8 日 (月)			8 月 9 日 (火)			8 月 10 日				
		朝食	昼食	夕食	朝食	昼食	夕食	朝食	昼食	夕食		
食 堂	中学生以上			13	13		13		13			
	小学生			100	100		100		100			
	幼児 (3歳以上)											
弁 当	赤城 <small>黒・阿田子</small>	幕の内										
		おむすび										
	榛名 <small>コロッケ・唐揚げ</small>	幕の内										
		おむすび		113								
	妙義 <small>ハンバーグ・エビフライ</small>	幕の内										
		おむすび										
	受取時間 *1	9:00										
	受取場所 *2	食・玄・セ	食(玄)・セ	食・玄・セ	食・玄・セ	食・玄・セ	食・玄・セ	食・玄・セ	食・玄・セ	食・玄・セ		
野 外 炊 事	メニュー	カレーライス										
	8人セット	×	×	×	×	×	14	×	×	×		
	4人セット	×	×	×	×	×	1	×	×	×		
	自主メニュー											
特別注文品	スポーツドリンク 500mlペットボトル 130本 お茶 500mlペットボトル 130本											
宿 泊 人 数	男 女 (講師・引率者等を含む)	男	女	計	男	女	計	男	女	計		
		58	55	113	58	55	113					
シートの借受組数	本館		キャンプ場	(どちらかに○をつけてください)						計	113	組

右上の新規・継続の部分には✓を、表下段の本館・キャンプ場の部分にはどちらかに○をつけてください。

*1 弁当の受取時間については、希望の時間を記入してください。

*2 弁当の受取場所は、<食堂売店・管理研修棟玄関前・センター棟>から選び、食堂売店は「食」、管理研修棟玄関前は「玄」、センター棟は「セ」に○をつけてください。

アレルギー 団体で参加者の健康調査を必ず行って下さい。

食堂 食数を年齢ごとに書いてください。

弁当 注文数を書いてください。弁当は6種類あります。選んで、食数、希望する受取時間と場所も書いてください。

野外炊事 メニューは施設利用ガイドブックP18を参考にしてください。8人セットか4人セットが必要な分を書いてください。

自主メニュー 食堂に相談してください。カレーライスなどで追加料金を払うとご飯を炊きあげてもらってもできます。

特別注文品 大量購入したいものをお書きください。(売店にあるもの) 野外炊事や登山時等の飲料もご記入ください。※「うどん打ち」はこの欄に人数をお書きください。

シートの必要枚数 小さなお子さんがいる場合、宿泊者数と一致しないこともあります。

◆ 記入要領

上記の表で着色部分が記入欄になります。必要な箇所のみ記入してください。

※特別注文品：野外炊事や登山時の飲料、懇親会時の飲食(軽食)類等です。食堂にお問い合わせください。

※野外炊事：メニューについては「②食事にかかる料金」(P18)を参考に記入してください。

※8人セット又は4人セットでの注文になります。必要人数に応じて注文してください。

※特別注文品と野外炊事自主メニューについては、食材によって調達に時間がかかる品目もありますので、お早めに電話にてご相談・ご確認ください。

※食中毒防止のため、食材などの持ち込みはご遠慮ください。

※アレルギーなどの特別な配慮を必要とする場合は、お電話でご相談ください。(2週間以上前にお問い合わせいたします。)

◆ 食数・野外炊事用食材等の<変更>について

食堂・弁当：利用前日の16時まで

野外炊事用食材・特別注文品：利用する3日前の16時まで

※変更期限を過ぎますと、お申し込みいただいている食数分をお支払いいただくことになります。

5 その他の情報
提出書類様式

< 29 >

**食物アレルギー
事前確認票 記入例**

食堂 FAX:027-288-7037
利用の1ヶ月前までに提出してください。

記入日 _____ 月 _____ 日

④ **食物アレルギー 事前確認票**

利用日	2017年 ○月 ×日 ~ △日 まで
団体名	○ ○ ○ ○ ○ 学校
団体担当者名	○ ○ ○ ○
担当者連絡先	TEL ○○○ - △△△ - ○○○○
	FAX ××× - ××× - ××××

No.	該当者氏名	ふりがな	アレルゲン	代替食希望	連絡事項
1	○ ○ ○ ○	△△ △△	卵・乳	○	
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
16					
17					
18					
19					
20					

※ ただし、重篤なアレルギー症状を起こす可能性のある方や、多数のアレルゲンがある方への対応は難しい場合がございます。
詳しくは、当食堂に直接連絡し、相談してください。

国立赤城青少年交流の家 食堂 TEL 027-288-3333
FAX 027-288-7037

(6) 提出書類様式
5 その他の情報

6 プログラム紹介



目次

1 『プログラム紹介』の使い方 ……………	32	6 安全基準 ……………	64
2 プログラムを実施するまでの手続き ……	33	7 服装・持ち物について ……………	65～66
3 全体日程を企画するには ……………	34	8 プログラム指導のしかた (野外炊事編) ……………	67
4 プログラム一覧表 ……………	35	9 プログラム指導のしかた (キャンプファイヤー編) ……………	68～69
5 各プログラム紹介 ……………	36	10 教科等に関連付けた 体験活動プログラム(例) ……	70～75
・野外活動 ……………	36～43		
・仲間づくり ……………	43～45		
・食事づくり ……………	45～46		
・ものづくり ……………	46～49		
・環境活動 ……………	49		
・周辺地域での活動 ……………	49～63		

1 『プログラム紹介』の使い方

このプログラム紹介は、国立赤城青少年交流の家、もしくはその周辺で行えるプログラムを収録したものです。この内容を参考に各団体での全体日程を企画してください。

各団体のねらいが達成できるよう、交流の家の職員が支援をさせていただきます。不明な点は遠慮なくご相談ください。参加者がこの赤城の自然のもと、すばらしい体験ができるようお手伝いいたします。

■プログラムの凡例

記号の説明

(指導)

指 直接指導：講師がつくもの

自 自主活動：各団体が自主的に行うもの
(希望に応じて職員からの助言・説明も可能)

選 選択指導：講師ありと自主活動の選択ができるもの

(天候)

 晴天でも雨天でも実施できるプログラム

 晴天の場合のみ実施できるプログラム

項目の説明

【キーワード】…プログラムの特徴をキーワードで表記しています。

【適正人数】…プログラムに適した人数です。

【対象】…プログラムに適した対象者です。

【所要時間】…準備～片付けまでを含めた時間です。

【費用】…プログラム実施に必要な費用です。

【おもな会場】…基本的な会場です。プログラム相談で最終的に決定します。

2. オリエンテーリング



キーワード：地図読み、判断力、スポーツ



地図とコンパスを頼りに、周辺の森に点在するポストを探します。コースどりや地図の読みとりなど、グループで力をあわせて進みます。

- 適正人数：1グループ5人程度で実施、200人まで
- 費用：マップ代1枚110円
- おもな会場：オリエンテーリングコース(1グループで1枚)

西コース

- 対象：小学校高学年以上
- 所要時間：2時間

全面コース

- 対象：高校生以上
- 所要時間：2～3時間

※マップは、食堂で購入してください。

■国立赤城青少年交流の家での活動プログラムについて

こちらで実施する活動プログラムは、3つの区分に分かれています。

活動プログラム

自主活動

直接指導

利用者の方が実施するプログラムの総称です。すべての利用団体の方が事前に計画を提出していただきます。(活動計画書への記入)

国立赤城青少年交流の家で提供しているプログラム

この『プログラム紹介』に記載しているプログラムのことです。

講師を国立赤城青少年交流の家へ依頼するプログラム(直接指導)

講師料(正式名称：特定研修活動指導料)がかかります。

2 プログラムを実施するまでの手続き

～事前～

プログラムの相談「どんな活動をしようかな…?」

活動の計画段階での相談に応じます。電話でも見学時でも構いませんので、気軽に相談してください。

「活動計画書 1・2」(P79・81)の提出(2ヶ月前まで)

- ・「活動計画書 2」(P81)内の『活動内容』の欄へ希望プログラムを記入してください。
- ・プログラムの直接指導を依頼する場合は、【有料講師】の欄の『有』に○をつけてください。
- ・雨天時の計画も記入してください。

プログラム相談(2ヶ月前～1ヶ月前)

活動計画書をもとに、担当職員がプログラムを含め日程全体の調整・確認を行います(こちらから連絡いたします)。

【内容確定FAX】(3週間前)

最終的に決定した内容をFAXまたは郵送で送ります。
もっと早いタイミングで確定内容が必要な場合は遠慮なく問いあわせてください。

事前準備(3週間前～前日)

活動に必要な服装・持ち物(P 65～66 参照)は **必ず確認**し、準備してください。
ホームページより打ち合わせシートやプログラムマニュアルをダウンロードし、事前に内容を確認してください。
打ち合わせシートは必要箇所を記入し、当日持参してください。

《直接指導のプログラムを行う場合》

電話での打ち合わせ

担当講師と連絡をとり、実施2週間前までには打ち合わせをお願いします。
(連絡先は、【内容確定FAX】時にお伝えします)

～当日(到着後)～

事前打ち合わせ

(直接指導・自主活動に関わらず)必ず担当者との事前打ち合わせをしてください。(集合場所・時間・参加者の状況など)

プログラム実施

備品の借用・返却、会場の準備・清掃など、協力をお願いします。

費用の支払い

宿泊費、食費など他経費と一緒に支払ってください。(事後振込みも可能)

活動の留意点!

- ・当施設のフィールドは大変広く、玄関から活動場所まで移動に時間がかかります。あらかじめ余裕を持ったタイムスケジュールを設定してください。

3 全体日程を企画するには

●国立赤城青少年交流の家がおすすめするプログラム作成の基本的な考え方

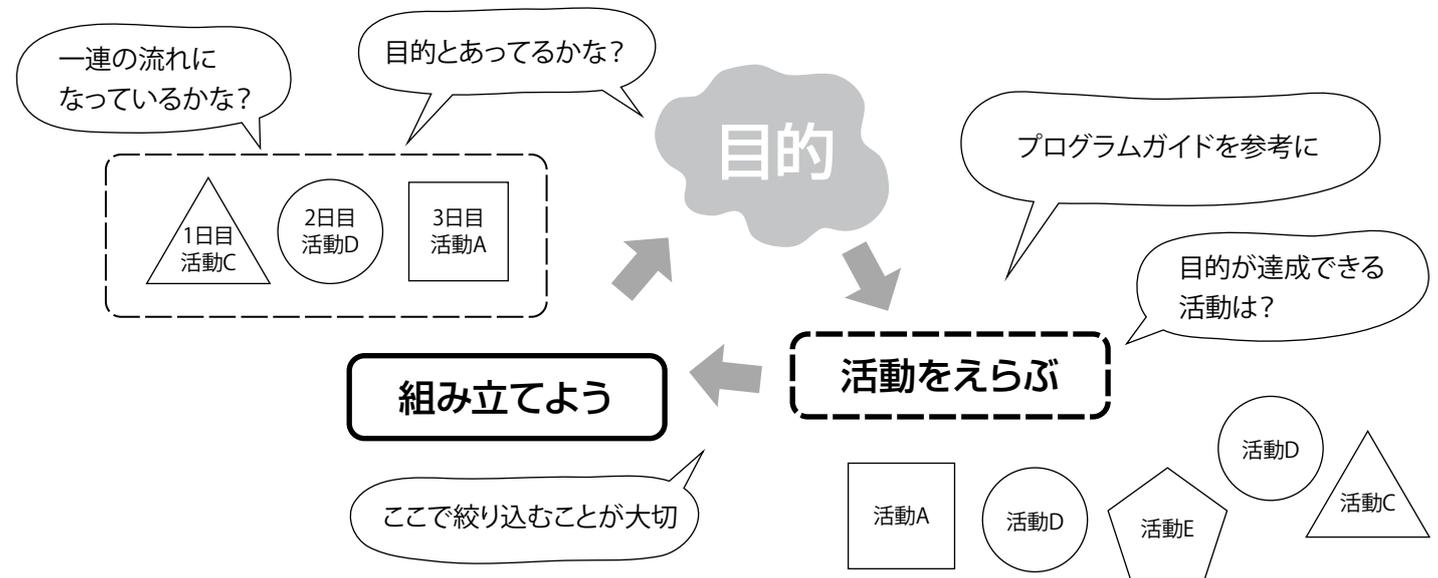
自然環境に配慮し、かつ、自然に親しむ活動であること

国立赤城青少年交流の家は、利用される方がよりよい成果を上げられるように、職員が支援をさせていただきます。また一方で、赤城山南麓地域の「環境保全」に努め、人と自然が共存する持続可能な体験活動を提案していくという役割も持っています。人と自然のよりよい関係づくりのためにも、ご配慮をお願いします。

●目的

宿泊活動などの「目的」を明確にし、目的に適した「活動」と「方法」を組み合わせます。宿泊活動の効果を高めるために、「目的」を明確にするとともに、「絞り込む」ことも大切です。

また、目的に応じた「活動」と「方法」を選択し、「一連の流れ」になるよう組み立てます。必要に応じてアドバイスいたしますので、遠慮なくご相談ください。



●それぞれの活動では…

ねらいの確認

それぞれの活動の「ねらい」(例:協力、親睦、責任、自然とふれあう等)をはっきりさせましょう。

ねらいをいくつも入れ込まないことがおすすめです。

活動の実施

ふりかえり

活動の中で「どんなことがあったのか」、「それはなぜか」など、活動の目的に沿って、気づきや学びを確認したり、仲間と分かち合ったりします。

※当所が行う「あかぎアドベンチャープログラム」では、「ふりかえり」を必ず行います。どのような活動を行っても、参加者の感情の変化や気づきに寄り添う指導を行うことで、効果を上げることが可能だと考えています。

●安全

気象条件の考慮や活動場所の安全確認を行う

朝晩の気温の低下や炎天下での熱中症、春季や夏季の落雷、冬季の強風、日没時刻等の気象条件及び活動場所の危険箇所の確認や危険行動の予測など、安全面への配慮が必要です。

●ゆとり

日程にゆとりがあり、休憩や移動のための時間などが配慮されている

団体で行動する際には、移動に時間がかかったり、人数確認、連絡事項などに思いのほか時間をとられます。参加者が時間に追われて活動をするところがあるとあせりにもなり事故にもつながります。時間に余裕を持たせたプログラムを組み立てましょう。

4 プログラム一覧表

すべてのプログラムを、活動の持つ性質をもとに、目的別に分類しています。
又、教育課程上の位置付けとして各プログラムと特に関連の深い教科をのせてあります。

●…関連性大
△…関連性小

■目的別一覧

	タイトル	関連の深い教科	身体をはぐくむ	人間関係づくり	自然について学ぶ	ものづくり	暮らし・郷土	環境教育
野外活動	1 あかぎやま登山	体	●	●	△		△	△
	2 オリエンテーリング	体	●	●	△			
	3 アドベンチャーラリー	体	△	●				△
	4 キャンプファイヤー	音		●				△
	5 たき火	音		●	△			△
	6 キャンドルファイヤー	音		●				
	7 ウォークラリー	体		●	△			
	8 ネイチャーゲーム	理		△	●			●
	9 グリーンアドベンチャー	理			●			●
	10 星空観察	理			●			
	11 あかぎ植物観察	理			●			●
仲間づくり	12 あかぎアドベンチャープログラム(AAP)	特別活動		●				
	13 レクリエーション	体	△	●				
	14 館内ラリー			●				
	15 館内フォトラリー			●				
活野外	16 ナイトウォーク	理		△	●			
	17 木の実ハンティング	理		△	●			●
仲間づくり	18 グラウンドゴルフ	体	●	△				
	19 クップ		△	●				
	20 キンボール		●	●				
	21 ディスクゴルフ		●	△				
づくり 食事	22 ドラム缶ピザ&ポトフづくり	家		●			●	
	23 野外炊事			●			●	
	24 うどん打ち			●			●	
ものづくり	25 凧づくり	図画工作				●	△	
	26 土笛・オカリナ					●		
	27 陶芸					●	△	
	28 七宝焼					●		
	29 てん刻					●		
	30 切り絵					●		
	31 新聞紙であそぶ					●		
	32 厚紙ブーメラン					●		
	33 ドリームキャッチャー					●	△	
	34 アロマキャンドル					●		
	35 スーパー竹とんぼ					●	△	
	36 くるくるタネ					●		△
	37 かな箸づくり					●	△	△
	38 ネイチャークラフト					△	●	
	39 勾玉(まがたま)					●	△	
	40 ミニサークルステンド					●		
41 プラホルダー				●				
42 森のこびん				△	●			
43 押し花				△	●			
環境	44 あかぎ森林守り隊	理			△		△	●

5 各プログラムの紹介

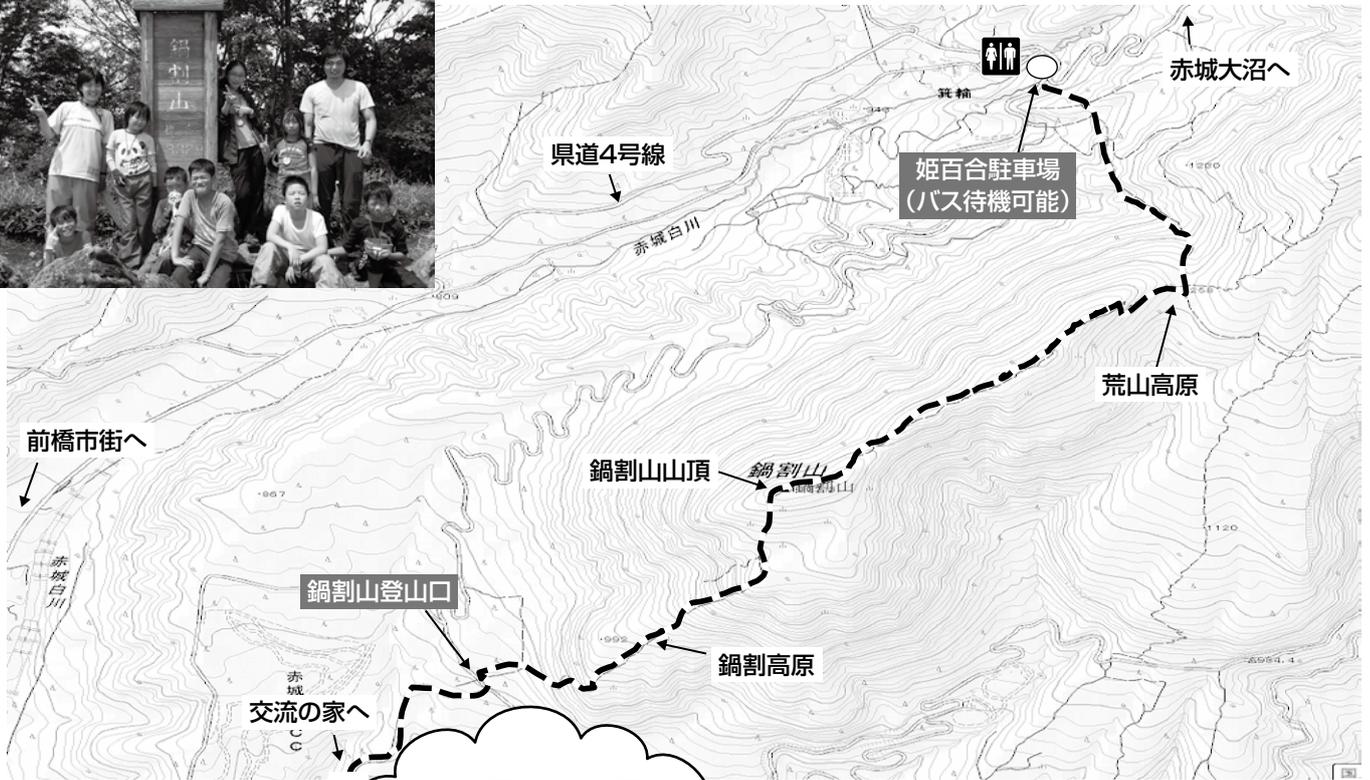
●プログラムの紹介／野外活動

1. あかぎやま登山

選  キーワード：チャレンジ、達成感、仲間



① 関東平野を望む! 鍋割山コース



青少年交流の家

プログラムの流れ

事前説明 15分

関東平野を望む! 鍋割山コース

交流の家～鍋割山登山口～鍋割山高原～鍋割山山頂～
荒山高原～姫百合駐車場～交流の家

交流の家～鍋割山登山口	60分
鍋割山登山口～鍋割山高原	35分
鍋割山高原～鍋割山山頂	75分
鍋割山山頂～荒山高原	40分
荒山高原～姫百合駐車場	40分
姫百合駐車場～交流の家(バス)	25分

活動後

- ① 交流の家への届け
- ② 人数・健康状態の確認
- ③ 借用物品の返却

約5～6時間

- ①安全面 ②健康面
- ③マナー面について

事前説明をしましょう。

トイレ:交流の家、姫百合
駐車場

鍋割山コースの概要

関東平野を見渡せる鍋割山山頂(標高1332m)からの景色は見ごたえ充分。天気がよければ富士山も見ることができる。交流の家から登山口まではアスファルトの道路を歩き、登山口からは急な岩場をいくつかのり越え山頂を目指す。山頂から荒山高原に抜ける尾根づたいの山道は、赤城の山々を見渡すことができる。荒山高原は5月上旬からレンゲツツジが咲き誇る。荒山高原から姫百合駐車場へは途中岩場があり、後半は整備された木の階段が続く。

登山口まで大型バスの通行はできません。また、交流の家からの送迎も行っておりません。

※講師料は講師1名につき15,400円です。
事前にお申し出ください。

②長距離チャレンジ！ 鍋割山・荒山縦走コース



青少年交流の家

プログラムの流れ

事前説明 15分

①安全面 ②健康面
③マナー面について
事前説明をしましょう。

トイレ:交流の家、
森林公園

鍋割山・荒山縦走コースの概要

赤城山の南に面する二つの山頂を極めるロングトレイル。鍋割山山頂(標高1332m)から一望できる関東平野の眺めは最高。天気がよければ富士山も見ることができる。鍋割山から荒山への尾根づたいの山道は、赤城の山々を見渡すことができる。荒山山頂(1572m)を目指す最後の登りは登り応え十分。帰り道は約3時間の下り道が続き、標高によって見られる植物が異なる。登山道途中には松枯れ地帯がある。

登山口まで大型バスの通行はできません。また、交流の家からの送迎も行っておりません。

長距離チャレンジ!鍋割山・荒山縦走コース

交流の家～鍋割山登山口～鍋割高原～鍋割山頂～
荒山高原～荒山山頂～棚上十字路～
森林公園～交流の家

交流の家～鍋割山登山口	60分
鍋割山登山口～鍋割山山頂	120分
鍋割山山頂～荒山高原	40分
荒山高原～荒山山頂	60分
荒山山頂～赤城森林公園駐車場	90分
赤城森林公園駐車場～交流の家	100分

活動後

- ①交流の家への届け
- ②人数・健康状態の確認
- ③借用物品の返却

約8時間

※講師料は講師1名につき17,600円です。
事前にお申し出ください。

③山頂は大パノラマ!地蔵岳・覚満淵コース



青少年交流の家

プログラムの流れ

事前説明 15分

長距離チャレンジ!鍋割山・荒山縦走コース

交流の家～新坂平～地蔵岳山頂～八丁峠～小沼～鳥居峠～覚満淵～ビジターセンター～交流の家

交流の家～新坂平(バス)	30分
新坂平～地蔵岳山頂	55分
地蔵岳山頂～小沼	30分
小沼～鳥居峠	20分
鳥居峠～ビジターセンター	20分
ビジターセンター～交流の家(バス)	35分

活動後

- ①交流の家への届け
- ②人数・健康状態の確認
- ③借用物品の返却

約4時間

- ①安全面 ②健康面
 - ③マナー面について
- 事前説明をしましょう。

トイレ:観光案内所、ビジターセンター、小沼駐車場

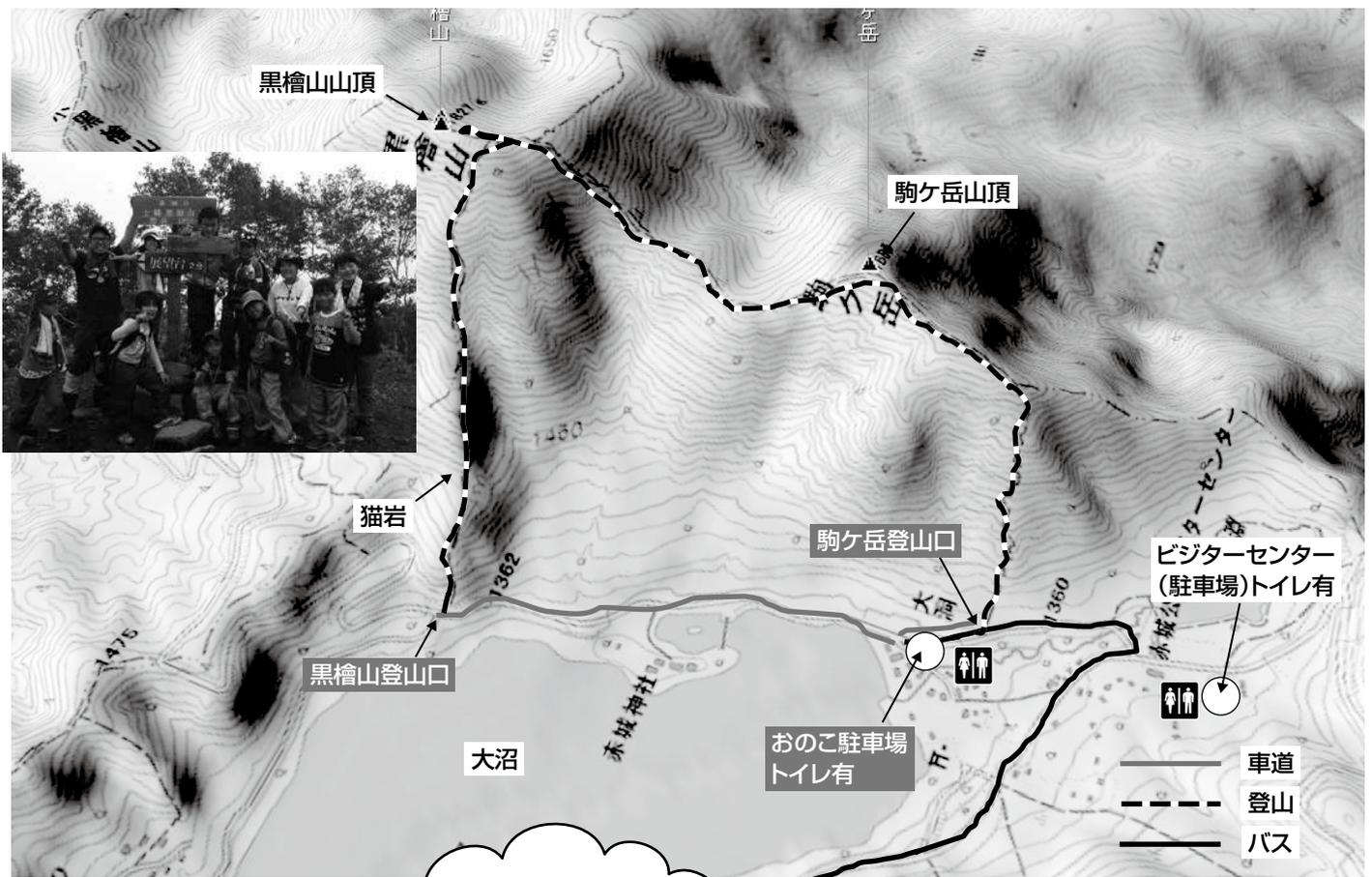
地蔵岳・覚満淵コースの概要

比較的容易に登れ、幼児から高齢者まで人気の登山コース。地蔵岳山頂からは、北側には黒檜山、駒ヶ岳、南側は関東平野一望という赤城随一の広大な展望が期待できる。覚満淵は湿生植物と高山植物の宝庫で、小尾瀬といわれる。周囲800mほどで平坦な道と木道が整備されていて、年齢を問わず散策することができる。ニッコウキスゲやモウセンゴケといった湿原特有の様々な植物が見られる。鳥居峠は、覚満淵の向こうに大沼を見渡す絶景を見ることができるビューポイント。

※小沼駐車場のトイレは、冬季(11月下旬～5月上旬)閉鎖します。

※講師料は講師1名につき15,400円です。事前にお申し出ください。

④最高峰チャレンジ! 黒檜山・駒ヶ岳コース



青少年交流の家

プログラムの流れ

事前説明 15分

長距離チャレンジ! 鍋割山・荒山縦走コース

交流の家～おのこ駐車場～黒檜山登山口～
黒檜山山頂～駒ヶ岳山頂～駒ヶ岳登山口～
おのこ駐車場～交流の家

交流の家～おのこ駐車場(バス)	30分
おのこ駐車場～黒檜山登山口	20分
黒檜山登山口～黒檜山山頂	120分
黒檜山山頂～駒ヶ岳山頂	55分
駒ヶ岳山頂～駒ヶ岳登山口	60分
駒ヶ岳登山口～おのこ駐車場	5分
おのこ駐車場～交流の家(バス)	30分

活動後

- ①交流の家への届け
- ②人数・健康状態の確認
- ③借用物品の返却

約6時間

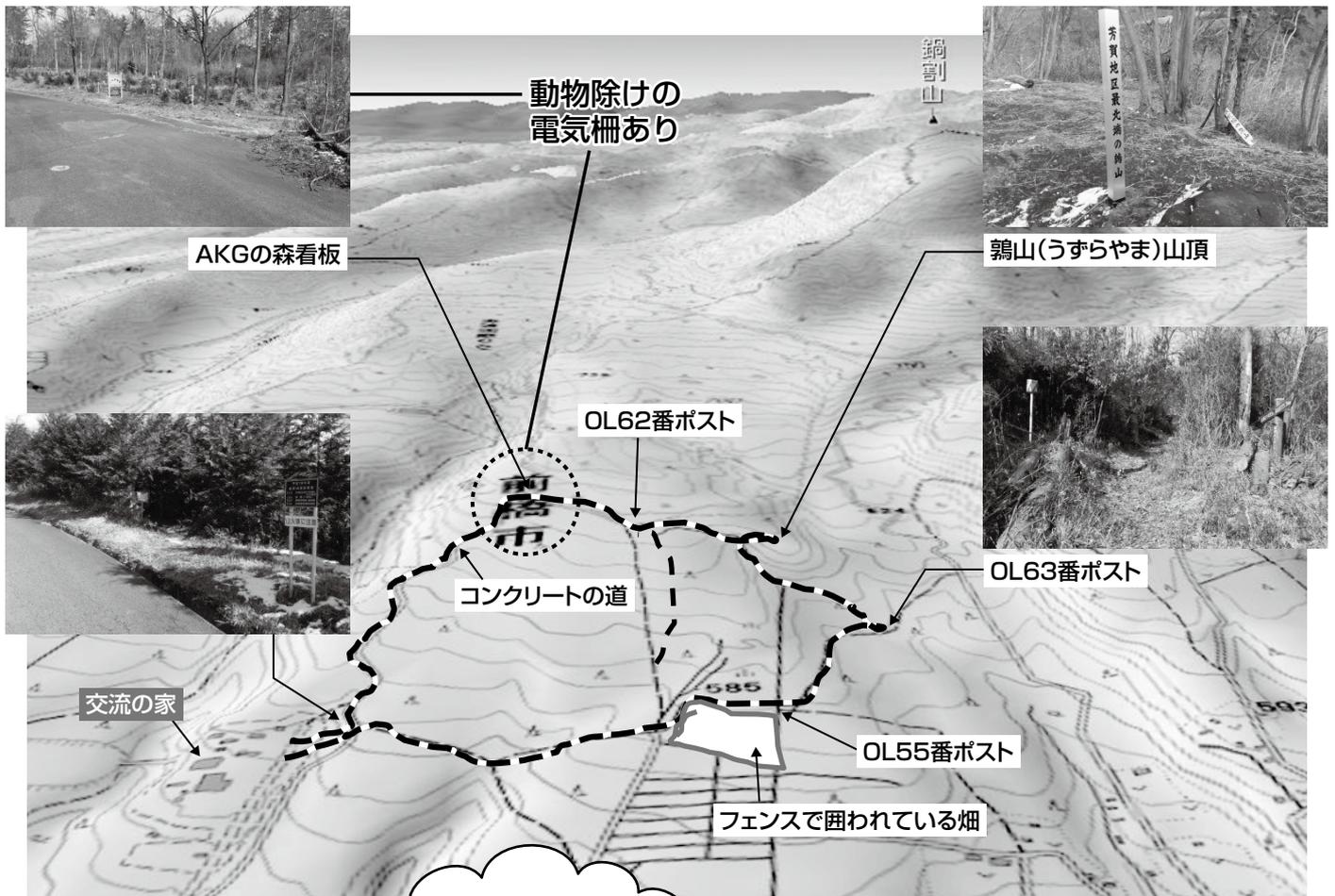
①安全面 ②健康面
③マナー面について
事前説明をしましょう。
トイレ:おのこ駐車場、
ビジターセンター

黒檜山・駒ヶ岳コースの概要

赤城山の最高峰である黒檜山をめざすコース。登山口から山頂付近までは岩場の急勾配が続く。途中の猫岩は眺望が開け、大沼や地蔵岳を望める。山頂からは谷川岳をはじめ、皇海山や奥日光連山、武尊山などを一堂に望む大パノラマが広がる。駒ヶ岳の頂上に出るには稜線をつたって、ツツジが点在する大ダルミという草原をぬける。駒ヶ岳山頂からは駒ヶ岳山頂東南の関東平野の眺望が見られる。下山は稜線を歩き、大沼の眺望を見ながらの下山となり、鉄と木の階段が整備され歩きやすい。

※講師料は講師1名につき19,800円です。
事前にお申し出ください。

⑤気軽にハイキング！ 鶉山(うずらやま)コース



青少年交流の家

プログラムの流れ

事前説明 15分

気軽にハイキング！鶉山(うずらやま)コース

交流の家～OL(オリエンテーリングポスト)55番～
OL63番～鶉山～OL62番～AKGの森～交流の家

交流の家～OLポスト55番	20分
OLポスト55番～63番	10分
OLポスト63番～鶉山山頂	20分
鶉山山頂～OLポスト62番	10分
OLポスト62番～AKGの森	5分
AKGの森～交流の家	15分

活動後

- ①交流の家への届け
- ②人数・健康状態の確認
- ③借用物品の返却

約90分～
120分

①安全面 ②健康面
③マナー面について
事前説明をしましょう。
トイレ:交流の家のみ

鶉山コースの概要

旧前橋市最北端であった鶉山(標高639m)を目指し、交流の家周辺の森を歩くコース。急な登り坂は山頂手前の30m程度で、あとは緩やかなアップダウンのハイキングコース。コースのほとんどはオリエンテーリング(OL)コースで、赤城の森の松枯れの様子を見ながら、OLポストを目印に進む。AKGの森と交流の家の間はコンクリートの車道となる。山頂には、20～30人程度集まれるスペースあり。幼児や小学校低学年のハイキングにおすすめ。

※このコースは自主活動のみのコースです。
(詳細地図は事務室にあります)

●プログラムの紹介／野外活動

※適正人数は指導者1人あたりの人数です。

2. オリエンテーリング



キーワード：地図読み、判断力、スポーツ



地図とコンパスを頼りに、周辺の森に点在するポストを探します。コースどりや地図の読みとりなど、グループで力をあわせて進みます。

- 適正人数:1グループ5人程度で実施、200人まで
- 費用:マップ代1枚110円
- おもな会場:オリエンテーリングコース(1グループで1枚)

西コース

- 対象:小学校高学年以上 ●所要時間:2時間

全面コース

- 対象:高校生以上 ●所要時間:2～3時間

※マップは、食堂で購入してください。

3. アドベンチャーラリー



キーワード：地図読み、チームワーク、課題解決



交流の家のフィールドを、地図を見ながらまわるポイントラリーです。無人ポイントでは文字や記号を探し、有人ポイントでは課題に挑戦します。グループで課題をクリアし、ポイントを貯めながら進みます。

グループでコースどりを決めたり、課題に挑戦していくことを通じて、コミュニケーション、意思疎通、友人への思いやりなど、グループの力を高めることを目的とした活動です。

- 適正人数:1グループ8人程度、200人まで
- 対象:小学生以上
- 所要時間:2～3時間
- おもな会場:オリエンテーリングコース、多目的フィールド

4. キャンプファイヤー



キーワード：火、親睦、ふりかえり



自然の中で過ごす夜、火のぬくもりとともに、仲間と親睦を深めたり、活動をふりかえったりする時間を過ごしましょう。

●キャンプファイヤーを行う上でのお願い

赤城の森は、野生生物が暮らす豊かな森です。夜は動物の活動時間帯でもあります。自然との共存の観点から、大きな火をたくこと、大音量で大騒ぎをすることは少なくしたいと考えています。夜の過ごし方についてご配慮くださいますよう、お願いいたします。

- 適正人数:50人～200人(会場によって異なる)
- 対象:幼児以上
- 所要時間:1～2時間
- 費用:キャンプファイヤー用薪1束1,050円(3～4束で約1時間)、トーチ棒1本210円、灯油110円、講師料(直接指導の場合)6,600円(講師1人あたり)、講師1人あたりの適正人数100人
- おもな会場:営火場、センター棟広場、つどいの広場

5. たき火



キーワード：火、静けさ、語り



火は見ているだけでも飽きません。ただ火を囲むだけで、気持ちが落ち着いたり、時間を忘れて、心が開いたり…シンプルに火の力を感じてみませんか？

- 適正人数:1グループ5～8人程度。100人くらいまで可能。
- 対象:幼児以上
- 所要時間:1～1.5時間
- 費用:備品代/薪1束420円
- おもな会場:屋根付き広場、しらさぎ炊事場

6. キャンドルファイヤー



キーワード：灯り、親睦、ふりかえり



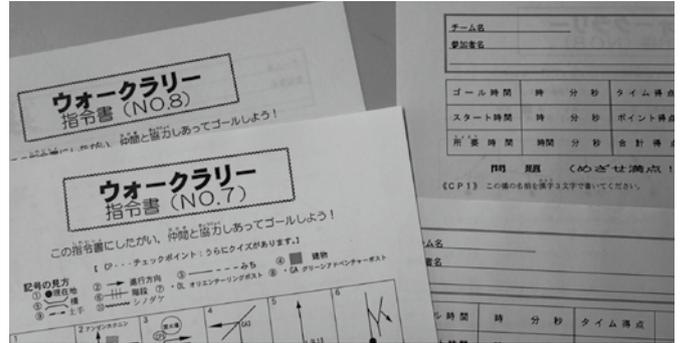
ろうそくの灯りを囲み、仲間との気持ちをまた一歩近づけるのがキャンドルファイヤーです。光の明と暗を効果的に演出することができる活動です。

- 適正人数:50人~200人(会場によって異なる)
- 対象:幼児以上
- 所要時間:1~2時間
- 費用:備品代/ろうそく(大)420円/本、ろうそく(小)30円/本、アルミホイル180円※備品は持ち込み可、講師料(直接指導の場合)6,600円(講師1人あたり)、講師1人あたりの適正人数100人
- おもな会場:体育館、講堂、アクティビティホール、剣道場

7. ウォークラリー



キーワード：コマ図、散策、協力



記号で簡略され、いくつか分割された「コマ図」をもとに進んでいく活動です。途中のチェックポイントでは課題が用意されています。体力と知力を使う、謎解きゲームのような面白さを味わえる活動です。

- 適正人数:1グループ5人程度、100人まで
- 対象:小学高学年以上
- 所要時間:2時間
- 費用:なし
- おもな会場:建物周辺の散策路、オリエンテーリングコース

8. ネイチャーゲーム



キーワード：発見、自然の不思議、感性発見



自然に親しみ、自然を理解し、素晴らしさを感じとる活動をパッケージ化したプログラムです。様々なゲームを通して、自然の不思議や仕組みを学び、自然と自分が一体であることに気づくことを目的としています。

- 適正人数:1グループ10~15人程度、50人まで
- 対象:幼児以上
- 所要時間:3時間程度(昼の場合)、2時間(夜の場合)
- 費用:講師料8,000円(昼の場合)、6,600円(夜の場合)(講師1人あたり)
- おもな会場:建物周辺の散策路、オリエンテーリングコース
- 雨天時:屋内での実施も可能

9. グリーンアドベンチャー



キーワード：樹木、自然観察、歩く



コースを歩きながら、樹木に親しむ活動です。単に植物の名前を覚えるだけでなく、目で見る、聞いて調べる、嗅いで調べる、味で調べる、触れて調べるなどの五感を使って、植物を具体的に観察しながらコースを巡ります。

- 適正人数:1グループ5人程度、100人程度まで
- 対象:小学校高学年以上
- 所要時間:1~2時間
- 費用:なし
- おもな会場:グリーンアドベンチャーコース

10. 星空観察



キーワード：宇宙、天体、暗闇



四季折々に見られる星座や惑星を見つけに行きます。星の持っている本当の輝き、身近にある神秘に出会いましょう。

- 適正人数:100人
- 対象:小学生以上
- 所要時間:2時間
- 費用:講師料(直接指導の場合)6,000円(講師1人あたり)
- おもな会場:多目的フィールド、つどいの広場、講堂、テニスコート周辺
- 雨天時:屋内でスライドなどを用いて実施

11. あかぎ植物観察



キーワード：生態、植物、野鳥、昆虫



身近な草木や動物、野鳥などをじっくり観る時間です。植物や生き物が持つおもしろさや不思議さに触れましょう。

- 適正人数:1グループ10~15人程度、50人まで
- 対象:小学生以上
- 所要時間:2時間
- 費用:講師料6,000円(講師1人あたり)
- おもな会場:建物周辺の散策路、オリエンテーリングコース
- 雨天時:屋内でスライドなどを用いて実施

12. あかぎアドベンチャープログラム(AAP)



キーワード：チームワーク、課題解決、関係づくり



設定された課題をグループで解決していく活動を通じ、人との関わりで大切なものに気づき、お互いの信頼関係を高める活動です。グループにわかれて活動を行います。各グループに1名のファシリテーターがつき、その集団にあったサポートを行います。

- 適正人数:1グループ10~15人、最大5グループまで実施可能。
- おもな会場:AAPコース、屋根付き広場、体育館
- 対象:小学校高学年以上 ●雨天時:屋内で実施
- 1日コース**/●所要時間:5~6時間
- 費用:講師料16,000円(講師1人あたり)×グループ数
20,000円(H31予定)
- 半日コース**/お互いを理解する、気づきをうながす程度の活動となります。●所要時間:3時間
- 費用:講師料8,000円(講師1人あたり)×グループ数
10,000円(H31予定)

13. レクリエーション



キーワード：交流、仲間、体ほぐし



体を動かしたり、コミュニケーションをすることで、はじめて会う人同士がうちとけたり、グループの親睦を深める活動です。

- 適正人数:200人くらいまで
- 対象:どなたでも
- 所要時間:2~3時間
- 費用:講師料(直接指導の場合)6,600円/2時間、8,000円/3時間(講師1人あたり)、講師1人あたりの適正人数100人
- おもな会場:多目的フィールド、体育館、講堂、アクティビティホール
- 雨天時:屋内で実施

14.館内ラリー



キーワード：交流、仲間、施設を知る



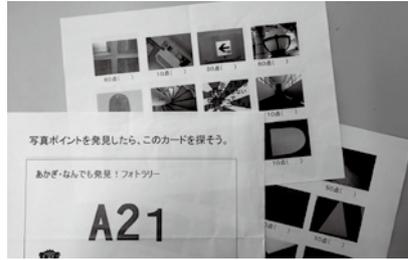
マップをたよりに館内をまわりながら、課題にチャレンジするポイントラリーです。

- 適正人数:5~8人のグループで活動、150人くらいまで
- 対象:小学生以上
- 所要時間:2時間程度
- 費用:なし
- おもな会場:館内全体

15.館内フォトラリー



キーワード：交流、仲間、施設を知る



館内を撮影した写真を見て、その写真がマップ上のどこから撮ったものかを推察しながら歩き、グループで得点を競います。

- 適正人数:1グループ5人程度で150人くらいまで
- 対象:小学生以上
- 所要時間:1~2時間
- 費用:なし
- おもな会場:館内全体

16.ナイトウォーク



キーワード：暗闇、静寂、自然との触れ合い、発見、感性



夜の森を歩くプログラム。暗闇と光、静寂と物音、自然と自分など、五感を通して様々なことを感じ、感性を磨きます。

- 適正人数:とくになし(グループで歩く場合は2~5人くらい)
- 対象:小学生以上
- 所要時間:15分~90分(コースや内容によって変わります)
- 費用:なし
- おもな会場:交流の家の敷地内(5つのモデルコースがあります。)

17.木の実ハンティング



キーワード：木の実、自然観察、環境教育



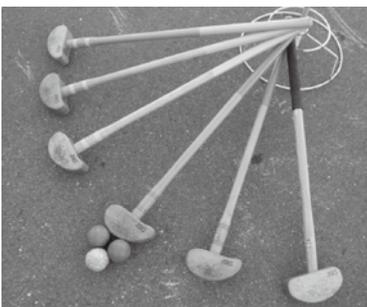
「木の実」や「たね」を探す活動を通じて、自然や環境に対する興味や関心を高めます。「森のこびん」や「森林守り隊」の補助プログラムとしても利用できます。

- 適正人数:1グループ5人程度で100人くらいまで
- 対象:幼児以上
- 所要時間:1~2時間
- 費用:なし
- おもな会場:交流の家の敷地内

18.グラウンドゴルフ(ニュースポーツ)



キーワード：生涯スポーツ、楽しさ、交流



ゴルフのようにボールをクラブで打ち、ホールポストにホールインするまでの打数を競います。

- 適正人数:1グループ2~4人、40人程度まで
- 対象:どなたでも
- 所要時間:1~2時間
- 費用:なし
- おもな会場:多目的フィールド

19.クッブ(ニュースポーツ)



キーワード：生涯スポーツ、楽しさ、木



平坦な自然のフィールドであれば老若男女誰もが楽しめる、バイキングが生み出したスポーツです。相手チームの木(クッブ)を倒して争います。

- 適正人数:1グループ5~6人でゲームをします。12グループ、72人まで
- 対象:どなたでも
- 所要時間:1~2時間
- 費用:なし
- おもな会場:多目的フィールド、屋根付き広場、柔道場、アクティビティホール
- 雨天時:アクティビティホール、柔道場

20.キンボール (ニュースポーツ)



キーワード：生涯スポーツ、楽しさ、交流



大きなゴムボール(キンボール)を使って、「ヒット」「レシーブ」で争います。コート全体に広がり、他チームの球をレシーブできるかどうかで争うニュースポーツです。

- 適正人数:12人~50人
- 対象:どなたでも
- 所要時間:1~2時間
- 費用:なし
- おもな会場:体育館、剣道場、講堂

21.ディスクゴルフ (ニュースポーツ)



キーワード：生涯スポーツ、楽しさ、交流



フラインクディスク(一般的に「frisbee」と呼ばれているもの)を投げ、ゴルフのように専用のバスケットに何投で投げ入れることができるかを競うニュースポーツです。

- 適正人数:2~4人程度
40人まで
- 対象:どなたでも

- 所要時間:1~2時間
- 費用:なし
- おもな会場:多目的フィールド

22.ドラム缶ピザ&ポトフ



キーワード：食事、手作り、チームワーク



ドラム缶^{かま}の窯を使って、手作りのピザを作ります。自分たちで生地から作ったピザはとてもおいしいです。

- 適正人数:50人まで
- 対象:どなたでも
- 所要時間:4時間
- 費用:食材費8人セット
4,440円/

- 4人セット2,220円、講師料8,000円(講師1人あたり)
- 薪代 ポトフ用1束420円、ドラム缶ピザ用1束1,050円
- おもな会場:屋根付き広場

23.野外炊事



キーワード：食事、焚き火、チームワーク



焚き火を作り、自分たちの手で食事を作ります。野外でおいしい食事を楽しみましょう。

- 適正人数:1グループ8人程度で実施、200人以内
- 対象:どなたでも
- 所要時間:3時間~4時間(バーベキューや朝食セットは早くできます)
- 費用:薪代1束420円(かまど1つにつき1束が目安)
- おもな会場:屋根付き広場(200人)、しらすぎ炊事場(60人)
- 雨天時:屋根付き広場・しらすぎ炊事場共に可

カレーライス ●費用:食材費8人セット4,440円/4人セット2,220円

バーベキュー ●費用:食材費8人セット6,720円/4人セット3,360円

焼きそば&ゆかりごはん ●費用:食材費8人セット5,440円/4人セット2,720円

豚汁&ごはん ●費用:食材費8人セット3,360円/4人セット1,680円

朝食セット(和食・洋食) ●費用:食材費8人セット3,520円/4人セット1,760円

自主メニュー ●自主的なメニューも可能です。必要量をリストにして注文してください。

※食中毒防止の理由により、食材の持ち込みはできません。

※炊いたごはんを使う場合1食80円追加です。

※それぞれの内容については、P18(食事にかかる料金)をご覧ください。

教科書に関連付けた体験活動プログラム(例)

- ①火をおこして調理をしよう(火おこし)
 - ・火おこしを中心に据え、協力を考えた野外炊事(家庭科3時間、特活1時間)
 - ②地域の伝統食をつくってみよう(おっきりこみ)
 - ・小麦を使った地域の伝統食を調理して味わう(家庭科3時間、特活1時間)
 - ③災害時でもご飯が炊ける方法を知ろう(防災食)
 - ・ビニール袋など身近にある物を使って簡単に炊事ができることを体験する。(家庭科2時間、特活1時間)
- 費用:講師料8,000円(講師1人あたり)、食材費等は要相談

24.うどん打ち



キーワード：郷土料理、食育



群馬は“粉もの”王国です。からっ風と長い日照時間が生んだ郷土の食を楽しく体験しましょう。

- 適正人数:1グループ
4~5人、50人まで
- 対象:小学生以上
- 所要時間:4時間

- 費用:講師料 :8,000円(講師1人あたり)、食材費1人620円(海老かきあげ・野菜天ぷら)
- おもな会場:音楽室、屋根付き広場

25.凧づくり



キーワード：手づくり、個性、昔あそび



和紙と竹骨を使って凧を作ります。凧に自分の好きな模様やイラストを描くので、オリジナルデザインの凧が出来上がります。天気がよければ作った凧をあげることもできます。

- 適正人数:50人以内
- 対象:どなたでも
- 所要時間:3時間

- 費用:講師料8,000円(講師1人あたり)、材料費1人700円
- おもな会場:研修室

※材料については、講師と打ち合わせしてください。

26.土笛・オカリナ



キーワード：創作、個性



粘土を使い、土に親しみとともに造形することの楽しさや素朴な音色が楽しめます。土笛製作の経験がある方は、オカリナを作ることができます。

- 適正人数:20人まで
- 対象:小学校高学年以上
- 所要時間:3時間
- 費用:講師料8,000円

(講師1人あたり)、材料費1人1,000円(粘土、梱包等)、送料/時価 ※乾燥、焼成等のため、完成まで約30日かかります。

- おもな会場:音楽室、研修室

※材料については、講師と打ち合わせしてください。

27.陶芸



キーワード：造形、個性、表現



粘土での器の造形を通して、手作りの陶芸の喜びを体験します。既製品と異なり、1つ1つに厚みや形の違いがある

ので、自分らしさが表れると共に味わいがあります。

- 適正人数:100人まで
- 対象:中学生以上
- 所要時間:3時間
- 費用:講師料8,000円(講師1人あたり)、材料費1人2,000円(粘土、梱包等)、送料時価

※乾燥、焼成等のため、完成まで約30日かかります

- おもな会場:音楽室、研修室

※材料については、講師と打ち合わせしてください。

28.七宝焼



キーワード：個性、色彩、創作



七宝焼の名には、金、銀、サンゴ、メノウなどの宝に並ぶほどの美しいやきものだからという意味があります。世界に1つだけの七宝焼を作ってみましょう。作品は、キーホルダーやストラップにします。

- 適正人数:40人まで
- 対象:小学校高学年以上

●所要時間:3時間 ●費用:講師料8,000円(講師1人あたり)、材料費1人1,000円(ストラップ、キーホルダー等)

- おもな会場:研修室

※材料については、講師と打ち合わせしてください。

29.てん刻



キーワード：表現、創作、個性



中国の石印材に好きな文字や絵を刻り、印をつくります。その印を色紙に押しつけて仕上げます。てん刻の技法と創る楽しさを体感します。

- 適正人数:30人まで
- 対象:小学校高学年以上
- 所要時間:3時間
- 費用:講師料8,000円

(講師1人あたり)、材料費1人800円(印材、色紙等)

- おもな会場:研修室

※材料については、講師と打ち合わせしてください。

30. 切り絵 (白黒・カラー)



キーワード：創作、芸術



下絵をもとにアートナイフで和紙を切り抜き、台紙(色紙)に貼ってきれいに仕上げます。絵画とは違う、版画のような独特の味わいが楽しめます。【白黒・カラーについて】白黒は和紙を切り抜いたもの、カラーは切り抜いた和紙に色和紙を貼ったものです。

- 適正人数:60人まで
- 対象:白黒/小学5年生以上、カラー/中学生以上
- 所要時間:3時間
- 費用:講師料8,000円(講師1人あたり)、材料費(白黒の場合1人300円、カラーの場合1人500円)
- おもな会場:研修室

※材料については、講師と打ち合わせしてください。

31. 新聞紙であそび



キーワード：手づくり、個性



古新聞紙とはさみだけでたくさんのお遊びができます。さらにボンドや絵の具を使うとオリジナルキャラクターのマスクも作れます。

- 適正人数:100人以内
- 対象:小学生以上
- 所要時間:3時間

- 費用:講師料8,000円(講師1人あたり)、材料費1人300円
- おもな会場:研修室

※材料については、講師と打ち合わせしてください。

32. 厚紙ブーメラン



キーワード：手作り、作ってあそぶ



厚紙を使ってよく飛ぶブーメランを作ります。指で弾く小さなものから5メートル以上飛ぶ本格的なものまであり、練習すると手でキャッチすることができます。

- 適正人数:50人以内
- 対象:小学生以上

- 所要時間:3時間
- 費用:講師料8,000円(講師1人あたり)、材料費1人400円
- おもな会場:研修室

※材料については、講師と打ち合わせしてください。

33. ドリームキャッチャー



キーワード：創作、民族、異文化



枝や羽などを使って、ネイティブアメリカンのお守り、ドリームキャッチャーを作ります。楽しく異文化に触れるきっかけにしましょう。

- 適正人数:20人まで
- 対象:小学校高学年以上
- 所要時間:3時間

- 費用:講師料8,000円(講師1人あたり)、材料費1人1,000円
- おもな会場:研修室

※材料については、講師と打ち合わせしてください。

34. アロマキャンドル



キーワード：創作、個性、手づくり



天然の植物から抽出された精油をキャンドルパウダーに混ぜ、香りづけします。色も香りもオリジナルな作品に仕上がります。

- 適正人数:30人まで
- 対象:小学3年生以上
- 所要時間:2~3時間

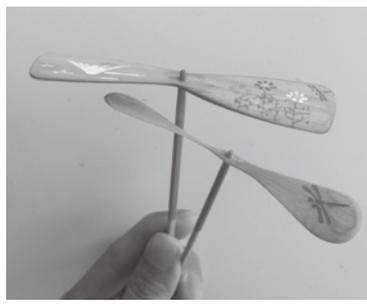
- 費用:講師料8,000円(講師1人あたり)、材料費1人800円~1,500円
- おもな会場:研修室

※材料については、講師と打ち合わせしてください。

35. スーパー竹とんぼ



キーワード：創作、竹、昔あそび



普通の竹とんぼとは異なる作り方をします。竹をあぶってひねり角度をつけ、特製の器具でバランスを調整することで、びっくりするほどよく飛ぶ竹とんぼを作ります。

- 適正人数:100人まで(講師1人あたり50人)

- 対象:小学生以上
- 所要時間:3時間
- 費用:講師料8,000円(講師1人あたり)、材料費1人110円
- おもな会場:研修室、音楽室
- 団体が瞬間接着剤を用意(売店のもの、1本320円で30人程度をおすすめします。)

※材料は、食堂で購入となります。

36.くるくるタネ



キーワード：自然の不思議、作って遊ぶ



自然界に存在する「カエデのタネ」を模したクラフト【くるくるタネ】を作ります。作ったくるくるタネで遊びながら、植物の生き方に触れます。

- 適正人数:100人まで
- 対象:小学生以上
- 所要時間:2時間
- 費用:材料費1人410円

●おもな会場:研修室、音楽室

※材料は、食堂で購入となります。

37.かなな箸づくり



キーワード：作って使う、個性、木育



大工道具でおなじみの鉋(かなな)を使い、角材から檜(ひのき)箸を加工します。手のサイズにあった自分だけの箸が作れます。

- 適正人数:50人まで
- 対象:小学生以上

●所要時間:2～3時間

●費用:講師料8,000円、材料費1人150円

●おもな会場:研修室、音楽室

※材料は、食堂で購入となります。

38.ネイチャークラフト



キーワード：個性、森、自然物の形



森に落ちている自然物を拾い、くっつけたり、貼ったりするだけで、素敵な作品ができます。オリジナルティが光る活動です。

- 適正人数:100人まで
- 対象:幼児以上
- 所要時間:2時間程度

●費用:講師料8,000円、材料費応相談

●おもな会場:研修室、音楽室

39.勾玉(まがたま)



キーワード：創作、個性、歴史



ヤスリで石を削り、古代人のアクセサリ、勾玉を作ります。磨きながら、古代人に思いをさせよう!

- 適正人数:100人まで
- 対象:小学校高学年以上
- 所要時間:3時間
- 費用:材料費1人350円
- おもな会場:屋根付広場

※材料は、食堂で購入となります。

40.ミニサークルスタンド



キーワード：個性、デザイン



キットを用いてペン立てを作ります。オリジナルのデザインを施したスタンドグラス風のペン立てです。

- 適正人数:50人まで
- 対象:小学3年生以上
- 所要時間:2～3時間
- 費用:材料費1人320円
- おもな会場:研修室

※材料は、食堂で購入となります。

41.プラホルダー



キーワード：創作、デザイン



キットを用いて、独自のキーホルダーを作ります。大きかったシートがあっという間にきゅっと縮みまます。縮んだ板を平らにのばしたら完成!

- 適正人数:50人まで
- 対象:小学校低学年～高学年
- 所要時間:1～2時間

●費用:プラホルダーキット:250円

●おもな会場:研修室

※材料は、食堂で購入となります。

42. 森のこびん～赤城の自然を小瓶の中にぎゅーっと詰め込んで～



キーワード：木の実、自然の色、感性



森の中で集めた木の実を使って、小瓶の中に自分だけの小さな“あかぎの森”を作ります。
入れる木の実によってまったく違う雰囲気の商品になります。

- 適正人数:100人
- 対象:幼児以上
- 所要時間:1～2時間

●費用:材料費1人210円

●おもな会場:研修室、音楽室、周辺の散策路など

※材料は、食堂で購入となります。(こびんのみ)

43. 押し花



キーワード：創作、草花



自然物で押し花を作るキットを使って作ります。出来上がった押し花は色紙に貼り付けて完成です。

- 適正人数:30人まで
- 対象:どなたでも
- 所要時間:1～2時間
- 費用:材料費1人110円
- おもな会場:研修室
- 花の時期:4月～9月

※押し花用色紙は食堂で購入できます。

※花は団体で用意してください。

44. あかぎ森林守り隊



キーワード：松枯れ、森の手入れ、環境、里山



(小中学校・青少年団体向け)

森林の心地よい雰囲気や、実際に触れ合う体験を通して、環境学習を行います。感じたことをまとめたり、発表したりする時間を設けることで学習効果を高めます。

テーマ①「森づくり体験をしよう」

森の役割を理解したうえで、森づくりのための手入れ(植樹や下刈りなど)を体験します。(植樹可能な時期は3月～5月上旬、10月～11月のみです)

テーマ②「森のパワーを探そう」(前橋市内の小学校のみ)

森林のもつ役割(パワー)を実際に森の中で探し、まとめたり、発表したりします。

●適正人数:1グループあたり40人(4グループまで)

●対象:小学校高学年以上

●所要時間:3時間

●費用:講師料8,000円(講師1人あたり)

材料費:応相談(苗や道具)

●雨天時:屋内でスライドを使った環境学習や映像資料鑑賞

(企業・一般団体向け)

植樹スペースを確保し、継続的に手入れ整備を行い、地域の森林再生・環境保全に貢献します。(支援・指導は交流の家と提携している団体が行います)

●適正人数:要相談 ●所要時間:要相談

●対象:要相談 ●費用:要相談

※自然について学ぶプログラム(ネイチャーゲーム、かなな箸づくりなど)と組み合わせることで、一連の流れのある体験学習ができます。

45. 県立ぐんま昆虫の森



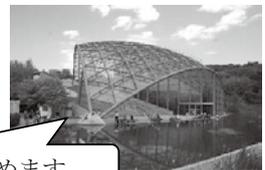
群馬県立
ぐんま昆虫の森
GUNMA INSECT WORLD

45haの里山が再現された環境で、虫取り網(無料貸出)で昆虫を捕まえて観察することのできる体験型施設です。

■中学生まで入園無料(一般410円、大高校生200円)

※団体割引、入園料免除制度あり。

春夏秋冬、雨の日でも楽しめます。



体験プログラム紹介 ※事前予約制です。

・ミニクラフトコーナー

昆虫をテーマにした工作体験ができます。まゆクラフトも用意。

・クイズラリー、スタンプラリー

館内やフィールドをめぐるクイズラリーや昆虫スタンプを集めるスタンプラリーができます。



交流の家
から車で
約25分

群馬県立ぐんま昆虫の森 〒376-0132 群馬県桐生市新里町鶴ヶ谷 460-1

お問い合わせ TEL:0277-74-6441 FAX:0277-74-6466



サンデンフォレストでは 「自然体験活動」と「社会科見学」の 両方が楽しめます！

1. 自動販売機の工場見学(社会科)



- 自販機工場見学、自販機ミュージアム
【社会科】
地域の人々の生産や販売 (例)はたらく人とわたしたちの暮らし(3年)
わが国の工業生産 (例)わたしたちの生活と工業生産(5年)

3. ホタル観察(理科)



- ホタルのすむ環境について学ぼう
ホタルの生態や、生息環境について理解を深めます。
【理科】
生物と環境 ホタルの生態と生態系(6年)

2. 自然体験活動(生活科・理科・社会・総合 他)



- 森林の学習や、森林整備
わが国の国土の自然などの様子 (例)わたしたちの生活と環境(5年)
- 自然体験プログラム
季節の変化に気づき、暮らしの工夫を考えよう
木の実など自然のものを使って遊び道具をつくらう
(例) あそびにいこうよ(森のブランコ、落ち葉プール など)
いきものだいすき(サワガニ、オオムラサキ など)
作ってあそぼう(門松、クリスマスリース など)
※木の実を拾って持ち帰ることも可能です。(1年、2年)

サンデンフォレスト(赤城事業所)は、群馬県赤城山の南麓にあるサンデングループの事業所の一つです。2002年に自然と産業が矛盾なく共存できることをコンセプトに開発されました。開業当初から県内の小学生をはじめとして、工場見学や、自然体験のフィールドとして活用されています。



基本の利用料は無料です。

※プログラム費用(教材、指導など)は有料です。



空き状況などの詳細はウェブページで
<http://www.sandenforest.com/>

交流の家から
バスで20分

問合せ先

〒371-0201 前橋市粕川町中之沢7 サンデンフォレスト内
サンデンファシリティ(株) ECOS(イーコス)事業部
TEL:027-285-3225/FAX:027-285-6681
メール: sandenforest@gmail.com

前橋市赤城少年自然の家

キャッチコピー「来たときよりも美しく」
4つのワード「規律」「協同」「友愛」「奉仕」

赤城ならではの感動体験！

*カッター体験 (5月～10月)



- 対象：小学4年生以上
- 時間：1時間半～3時間
- 人数：42名乗り（6艇あり）
- 費用：指導1人につき9,000円

*ツリーイング (通年)



- 対象：小学生以上
- 時間：1時間～1時間半
- 人数：1度に12名程度
- 費用：1人2,500円

*ピザ釜でピザ作り体験 (5月～11月)



- 対象：小学生以上
- 時間：3時間程度
- 費用：ピザセット（4人分）2,400円
ピザ釜使用料（薪代込）1人200円

*スノーシューハイキング (1月～3月)



- 対象：小学生以上
- 時間：ハイキング3時間程度
- 費用：スノーシューレンタル1日1セット1,000円
ガイド1人につき9,000円

- *本館は年間通じて利用できます。
（但し、12月29日～1月3日を除く）
- *キャンプ場は7月～8月。
- *体育館は5月～10月。
- *活動中のお弁当もご用意できます。

お問い合わせ

前橋市赤城少年自然の家

指定管理者 日本水泳振興会

TEL/FAX：027-287-8227

E-mail：akagi@gunma-nsp.com



とんとん広場 体験プログラムのご紹介



ここがオススメ

- ・ミニ豚に会えます
- ・食育体験ができます
- ・お食事、お買い物ができます



●手づくりウィンナー教室



小さな子供から大人まで年齢を問わずに楽しめるウィンナー教室は大人気。とんとん広場、自慢の福豚を使って作るウィンナーは味も格別です。

新鮮なお肉とドイツのスパイス、天然の羊腸を使っての本格的な体験は、ウィンナー職人になった気分にさせてくれます。ボイルして仕上がったウィンナーはみんなで試食。残ったウィンナーはお持ち帰りできますよ。



<少人数向け>

- 人数：9人まで
- 対象：どなたでも
- 所要時間：1時間程度
- 開催時間：平日 11:00～/14:00～
土日祝 10:30～/15:00～
- 料金：2名様分 3,000円(税別)
1名様追加ごと 1,200円(税別)



<団体向け>

- 人数：10人～50人
- 対象：どなたでも
- 所要時間：1時間程度
- 開催時間：ご相談にて
- 料金：1名様 1,000円(税別)

<出張>

※体験出張もいたします。

●畑の収穫体験



さつまいもやじゃが芋をはじめ、夏野菜や白菜など、四季折々の野菜の収穫体験が出来ます。とんとん広場の畑には、トイレや休憩所が併設されているので、安心して体験できます。

- 適正人数：～50人程度
- 対象：小学生以上
- 所要時間：1時間程度
- 費用：要相談

●豚枝肉の解体見学



枝肉と呼ばれる骨付きの豚肉を職人が解体するところを見学します。見学しながら、豚のこと、豚肉のことを学びます。とんとん広場だから出来るスペシャルコースです。

- 適正人数：～50人程度
- 対象：小学生以上
- 所要時間：1時間程度
- 費用：要相談

●とんとん広場とは？

私たちは赤城の中腹に位置した豚をテーマにした施設です。

はじめは養豚場でした。しかし、それほど美味しい豚肉を作っても、生産者が消費者の方に触れる事は稀です。美味しい豚肉を自分達で届けたいとの思いで、とんとん広場を作りました。

レストラン、ハム工房、ミニ豚広場、ウィンナー教室、豚の堆肥を使用した野菜畑など、全てが豚づくしです。

ミニ豚広場では、どなたでも自由にミニ豚をご覧いただくことが出来ます。売店には、枝肉と呼ばれる骨付きの大きな豚肉がぶら下がっています。そして、ハムソーセージやレストランでのお食事。一連の流れで、豚のいのちを頂くことを感じてもらいたいと思っています。

またハム工房では、外通路より中がのぞけるようになっています。どうぞお気軽に遊びに来て下さいね。



ご利用方法

- ◆事前予約制です
 - ◆利用できる日：プログラムにより異なる
 - ◆利用時間：プログラムにより異なる
 - ◆申込～当日までの流れ：①予約②当日実施
- ＜問合せ・申込み先＞
林牧場福豚の里 とんとん広場
TEL.027-283-2983
FAX.027-283-2980
〒371-0247 前橋市三夜沢町534
<http://www.fukubuta.co.jp>

カネコ種苗ぐんまフラワーパークアクティビティ

中学生まで
入園無料

年中無休 要予約
0120-1187-38

国立赤城青少年交流の家より
バスで約10分
入園料の減免制度あります

鉢替え体験

税込 110円～

花を大きく育てるには鉢を替える事をします。小学生にはぴったりの体験です。30分くらいの短い時間で鉢替え体験をし、花鉢はお土産としてお持ち帰れます。花は4月から7月はマリーゴールド、10月から12月はピオラが代表的な花になります。 ※花は仕入れにより変更となります



遊び体験

無料

5つのテーマ温室で雨の日も楽しめる

たくさん遊んで、世界中の珍しい植物を見られる体験ができるのはぐんまフラワーパークならではの。雨の日も冬も安心の温室体験もできます。



施設概要

面積：184,000㎡（東京ドーム約4個分）
標高：300m～350m
晴天：群馬県関東地方第1位、
全国4位



5～6月

ヒスイカズラ：世界絶滅危惧種



5月

ハンカチノキ：中国絶滅危惧種



広大な園内はバリアフリーで安心して遊べます。

- ♿ トイレ
- ♿ 障害者用トイレ
- ☎ 電話
- ☎ 障害者用電話
- ℹ インフォメーション
- 🚌 バス乗り場
- 🏠 コインロッカー
- 💧 水のみ場



6月

咲き誇るスタンダードローズの丘

体験教室

税込 600円

短い時間で様々なものが作れる体験教室。押し花ストラップ、アロマ石けん、押し花はがきづくりが最大80名（小学生なら100名）までお楽しみ頂けます。20名様以上の場合2週間程の事前予約が必要となります。40名様以下2～30分、40名様以上3～40分かかります。



押し花ストラップ



押し花はがき・しおりのセット



アロマ石けんづくり

おみやげ

税込 310円～

ショッピングプラザには群馬産のおみやげを取り揃えています。全国ゆるキャラグランプリで日本一になった人気キャラクターのぐんまちゃんグッズをはじめ、群馬ならではの土産はこちらで。

ゆるキャラグランプリ全国第1位
(2014)のぐんまちゃんグッズ



社会福祉法人 巢立ちの杜

レオナルド・ダ・ヴィンチ牧場

ふれあい・引き馬体験しませんか！

① 幼児～大人まで、団体でのご利用が出来ます。

② 国立赤城青少年交流の家から車で15分。

③ バーベキュー・流しそうめん器具の貸し出しが出来ます。

日常生活では体験する機会が少ない、ポニー・馬であり、小動物では得ることが出来ない自分より大きな動物に実際に触れ・乗ってみる体験をしてもらい、乗せてくれてありがたいの気持ちと共に、動物を慈しむ心を育ててもらえる。



*ふれあい体験内容

- ・ 餌を食べる姿をみる。
- ・ 人参を食べさせる。
- ・ 一緒に写真を撮る。
- ・ 手綱を引いて散歩させる。
- ・ ブラシ掛けをしてみる。
- ・ 牧場作業を体験する。(要相談)

●適正人員：1グループ25人

●対象：3歳以上

●所要時間：30分～1時間

●費用：1人 500円～

*引き馬体験内容

- ・ 1頭に3人(職員1名・従業員2名)が付き添うため安全です。
- ・ 初めての方は、付き添いの方の意見を伺い、対応します。
- ・ 乗馬ヘルメット無料貸し出し

●適正人員：1グループ25人

●対象：ポニー 3歳以上(体重70kg未満)
：サラブレッド 小学生以上

●所要時間：1時間(20人～30人)

●費用：1人 1,000円～

*乗馬体験内容

- ・ 乗馬の基本操作
止まる・進む・曲がる
を体験し、最後に速歩(はやあし)にチャレンジ!
- ・ 内容はお客様に合わせて調整いたします。

●適正人員：1グループ4人

●対象：ポニー 3歳以上(体重70kg未満)
：サラブレッド 小学生以上

●所要時間：1人 15分

●費用：1人 2,000円～

*ご希望の場所まで出張いたします。費用はご相談ください。

ご利用方法

事前予約制です。

利用できる日：通年(毎週木曜日を除く)

利用時間：9:30～16:00

申込～当日の流れ

①予約②プログラムの相談・下見③利用申込④当日実施

《問合せ・申込先》

社会福祉法人 巢立ちの杜 レオナルド・ダ・ヴィンチ牧場

TEL 027-288-2901 fax 027-289-9090

〒371-0105 前橋市富士見町石井1880-11

ご要望に合わせたプログラム・料金を提案させていただきます。

社会福祉法人 巢立ちの杜 レオナルド・ダ・ヴィンチ牧場とは？

知的障害者の方達が、馬を中心に展開される実際の仕事を体験的に学び、動物や人と触れ合うことにより生きる喜びを感じ、また働くことにより、家庭や地域で共に暮らせるように、社会的・経済的に自立できるよう支援し、一般就労に近い形態を提供することを目的としています。売り上げは全て、知的障害者の賃金として支払っています。

国立赤城青少年交流の家以外でもアドベンチャープログラムが体験できます。

千年の森アドベンチャープログラム

千年の森 J-wings とは？

標高 750m。群馬県昭和村の高原の清々しい森林の中、築 100 年の古民家のクラブハウスを中心に人工芝サッカーグラウンドが 2 面あります。近年注目されている、研修プログラムを通じて、効果的な組織、クラス作りやチームをまとめる手法（チームビルディング）、リーダーシップ、自己成長などを育成する「千年の森アドベンチャープログラム施設」です。また、合宿やゼミ学習などに最適な研修棟も完備！子どもからシニアまでスポーツを楽しめ、お客様の様々な用途でご利用いただける「スポーツ総合施設」です。企業研修や各種催しなど様々な要望に応えることが可能です。

●人数

5 名以上

●対象

小学生以上

●所要時間

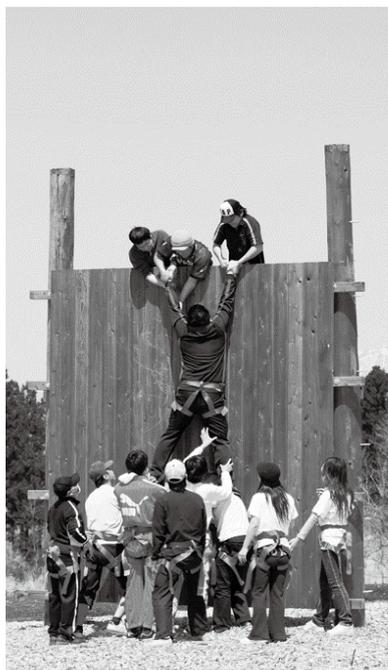
3 時間～ 6 時間／日

●料金

施設利用料 + 指導料

1 日 3,500 円／人

(人数によりプログラム要相談)



千年の森アドベンチャーって??

1971 年にアメリカで生まれたプロジェクトアドベンチャーをモデルに作られたものです。「個人の可能性を最大限に発揮するチームビルディング」を目的とし、チーム・組織コミュニティの一員として活躍する事が出来る人材の育成を目指すプログラムです。この研修ではそれぞれの人間が各自持っている価値観にふれながら、課題に取り組み、振り返りを行い、お互いの信頼性の構築や集団で行動していく為に何が大切か、参加者が自らの体験を通じて気づき、学んでいきます。

千年の森 J-wings

TEL : 0278-21-2377

FAX : 0278-21-2378

〒379-1205

群馬県利根郡昭和村大字川額 3716-595

<http://www.j-wings-sc.com>

千年の森



■年中無休

■お電話かHPメールフォームよりお問い合わせください。

■宿泊プランのプログラムも行っておりますので、お気軽にお問い合わせください。



NPO 法人 まえばし農学舎

伝えたいことがある。本物にふれる特別な体験。

思いを共有して集まった仲間たち、鱒の養殖家、
酪農家、野菜農家、養鶏家、ハム職人、
チーズ職人、大学の教員、自然体験指導者、
それぞれの専門家集団が、
わたしたち「NPO法人まえばし農学舎」です。



ご利用について

- *事前予約制です
- *汚れてもいい服装でお越しください
- *持ち物：タオル、ビニール袋、雨具

所要時間は目安です。
人数・年齢によって異なります。

農業体験

化学肥料を一切使わない農園で採りたての野菜を味わってみませんか？
旬の野菜を自分の手で収穫したり、野菜の苗を植えたり・季節に応じた
体験を提供しています。

・野菜の収穫体験

1人 1,500円～ 新鮮な野菜のお土産付き

対象：どなたでも

人数：50～150人まで（人数によって場所を指定させていただきます。）

所要時間：3時間程度

場所：良農園（群馬県前橋市田口町141）

渡邊ファーム（群馬県前橋市粕川町深津984-3）

※バスなどの手配はありませんので、現地集合、現地解散をお願いします。



農業体験の他にも「鱒のつかみ取り～さばき体験」や「ウインナー作り」、
「チーズ作り」、「採りたてたまごでマヨネーズ作り」なども提供可能です。
大人数対応ではないプログラムもありますので、詳細はお問い合わせください。

学校で農業体験したいけどノウハウがない。

そんな時も、ぜひ「まえばし農学舎」にご相談ください。野菜農家の職人がみなさんの先生になります。

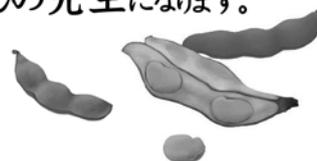


お問い合わせ NPO法人まえばし農学舎事務局

〒371-0247群馬県前橋市三夜沢町534 とんどん広場内

TEL:027-283-2983/FAX:027-283-2980 担当：黛 若葉まゆづみ (090-4092-4512)

E-mail: info@maebashi-ngs.com / URL: http://www.maebashi-ngs.com



撮影委託・イベントカメラマン派遣



体験学習！・企業研修！・各種イベント！

- ◆プロのカメラマンが、各種イベントを(写真・動画) しっかり撮影・記録・整頓・提出いたします。
- ◆撮影(写真・動画)はデータで提出いたしますので、クライアント様のHPやパンフレット・フライヤーに自由に利用できます。
- ◆データでご提出なので、写真の複数プリントが自由でカンタン！
- ◆4240万画素の高解像で撮影！ 一生に一度の大切なイベントを キレイに撮影いたします。

◆出張撮影・カメラマン派遣の基本料金表

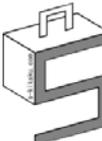
項目	派遣基本料金	撮影時間	内容
写真撮影	20,000円	2,000円/(時間)	イベントの記録・各スナップ撮影1時間 / 約50枚～100枚撮影(JPG画像データ)
動画撮影	30,000円	2,000円/(時間)	イベントの記録・動画撮影 約30分程度の動画編集してDVDで提出
(写真+動画)撮影	40,000円	2,000円/(時間)	(動画)約30分程度の動画編集してDVDで提出 (写真)1時間 / 約20枚～50枚撮影(JPG画像データ)

※消費税は別途かかります。 ※イベント参加人数が15名以下は基本料金10,000円にいたします。

※イベント参加人数が100名を超える場合は別途お見積りとなります。 ご予算・イベントの内容で簡易撮影希望の場合お気軽にご相談ください。

お問い合わせ




有限会社 <http://s-planplus.com/>
エス企画 HP × Movie



〒371-0846 前橋市元総社町1-3-8 ポレスター
 TEL: 0120-605-262 携帯090-2569-3024



ソニーイメージングサポート プロカメラマン
佐藤 浩多

小学生 中学生 高校生対象

プチ留学体験♪

日本にしながら英語漬けの3日間

夏休み・冬休み
開催！

イングリッシュキャンプ

外国人講師と一緒に英語と異文化に触れる豊富なレッスン、アクティビティ。海外に行かなくても、身近な形で国際感覚が養われるプログラムです。講師だけでなく他校・他県の仲間を作ることができます。

イングリッシュキャンプって？

1)小規模「参加型」クラス

15名程度の小規模参加型クラスで授業を行います。少人数クラスの中で、外国人講師がきめ細やかに指導をすると共に、一人ひとりが発言する機会を増やし、英会話力を高めます。

2)外国人講師による指導

このプログラムを担当する講師は、英語を英語で教える資格を持つ外国人教師です。

3)徹底的な「英語」のシャワー

レッスン・アクティビティに加えて、食事中も外国人講師と一緒に過ごし、楽しみながら英会話を行います。

4)英語で楽しく異文化に触れる

外国人講師の出身国の話や英語の歌などを通して、楽しみながら日本以外の国のことを知り、世界に対して広く興味関心を持つことができます。

5)同世代との交流

栃木県・群馬県・新潟県・長野県・富山県からの参加者と切磋琢磨しながらレッスンをを行います。英語だけではなく、同世代の仲間を作ることができます。



株式会社アイエスエイ

グローバルな学習体験を通して、すべての子どもの未来を拓きます

- 1970年設立 ● 観光庁長官登録旅行業256号
- 海外・国内研修プログラム参加総数 延べ400,000人以上
- 全国導入校数 約600校
- 一般社団法人 日本旅行業協会 (JATA) 正会員
- 留学・語学研修等協議会 (CIEL) 正会員
- 旅行業公正取引協議会 会員 ● 一般社団法人 海外留学協議会 (JAOS) 会員
- 一般社団法人 留学サービス審査機構 (J-CROSS) 認証事業者

無料カウンセリング実施中

小学生から社会人の方まで
1週間から留学可能！！

留学先:アメリカ、カナダ、オーストラリア、
ニュージーランド、アイルランド、マルタ

お問い合わせ

株式会社アイエスエイ
高崎支店

〒370-0841

群馬県高崎市栄町16-11 高崎イーストタワー10F

TEL : 027-325-0574 FAX : 027-325-0575
(平日9:00~18:00)メール: tk@isa.co.jp HP: <https://www.isa.co.jp/>

無料カウンセリング・資料請求はこちら

カウンセリング予約

資料請求



NPO法人 あかぎの森のようちえん プログラム紹介

幼児向けプログラムが私たちの得意分野です。

お泊り保育を劇的に変えてみせます。



幼児に
おすすめ!



1. 森のようちえん/ほいくえん

「森のようちえん」とは、自然環境の中で子どもたちの保育を行う教育手法で、現在は日本各地で、保護者や幼稚園・保育園などの活動に取り入れられています。

私たちは「自然の案内人」として、企画・運営を支援しています。火おこしや木登り、野外炊事など各園の希望に合わせて、活動を提供しています。

自然の中で遊ばせたいけれど、どこへ行ったらいいかわからない。自然遊びのアイデアがほしい。そんなご希望があればお気軽にご相談ください。園庭や子どもたちの実態に合わせて活動のご提案をさせていただきます。

- 適正人数：おおむね30名程度
- 対象：年少～年長クラス
- 所要時間：応相談
- 費用：1人あたり500～1,000円程度

小学生に
おすすめ!

1. 「ケヤキの箸づくり ～自然体験・地域学習～」

ケヤキと言われて、その姿をイメージできますか？

見聞きすることはあるけれど、意識をしないと通り過ぎてしまうことが多い街の樹木。葉っぱや樹皮などの特徴を知ること、学校や近くの公園、駅前の大通りなど、木のある町の風景が心に残るようになります。

国産の木材を使用していますので、森林の適正管理を促進することにも寄与します。ケヤキの樹木を使った**地域学習**をご体験ください。

- 適正人数：70名まで
- 所要時間：約3時間
- 対象：小学生以上
- 費用：指導費(8,000円) + 材料費(400円/1膳)



NPO法人あかぎの森のようちえん

【活動の目的・方向性】

「NPO法人あかぎの森のようちえん」は、自然体験活動を通して、社会の課題を解決するNPO法人です。

時代の変化とともに身近な自然が少なくなり、遊べる自然環境すら子どもたちの周りから消えつつあります。私たちは、知識の上での自然ではなく、本物に直接触れ感じる自然体験をする「機会」と「場所」を提供し、子どもたちの豊かな育ちを支援する活動を行っています。

【お問い合わせ】

NPO法人 あかぎの森のようちえん

〒371-0805 群馬県前橋市南町 4-37-1 アルファビル南町

Tel: 090-9006-8711 (代表: ぬで島)

Fax: 027-202-0293

E-mail: info@akagi-moriyou.com

Web: akagi-moriyou.com 【あかぎの森】で検索!



FB ページ



LINE@



Instagram



Web ページ

Gakken主催 小学校から高校までの一気通貫イングリッシュキャンプ グローバル・イングリッシュキャンプのご案内

小学生

外国人とのコミュニケーションの楽しさに触れ、



中学生

外国人との交流を通じ、多様性を理解し、



高校生

「正解のない世界」で活躍出来るグローバルマインドを作ります。



小中高生の発達段階に合わせた、目的の異なる3つのイングリッシュキャンプ！

① 小学生を主とした、イングリッシュキャンプ。

外国人との交流を通じ、コミュニケーションの楽しさや異文化理解を促します。

② 中学生を主とした、多様性を知るイングリッシュキャンプ。

様々な国籍の外国人と交流することで、英語を話す必然性、多様性の理解を促します。

③ 高校生を主としたグローバルキャンプ。

「英語」を使い、海外大生とチームで協働し、「世の中に新しい価値を生み出す力」を育成いたします。



企画概要 ※決まったプログラムはなく、目的に応じてカスタマイズします。

日程：学校が定める日にちで2日間～5日間程度

対象：小学生～高校生（一緒のキャンプではありません。）

場所：国立赤城青少年交流の家

※中学、高校生向けには海外研修も実施しています。

人数：15名～40名程度



企画：株式会社学研プラス（担当：浜田）

問い合わせ先：03-6431-1293

ma.hamada@gakken.co.jp

内容やご予算等、お気軽にお問い合わせください！

Gakken

関越交通(株)

貸切・送迎バスのご案内

お気軽に
お問い合わせ
ください

前橋駅・高崎駅から国立赤城青少年交流の家までの送迎
赤城山周辺の登山・ハイキング送迎
尾瀬学校・尾瀬鳩待峠までの送迎 等

大型 全長 12m



中型 全長 9m



旅客定員 正座席28席
28名 TV DVD カラオケ 冷蔵庫 ポット 回転サロン

小型 全長 7m



旅客定員 正座席25席
25名 TV DVD カラオケ 冷蔵庫 ポット 回転サロン

旅客定員 正座席28席
28名 冷蔵庫 ポット



旅客定員 正座席49席+補助席8席 大型トランク
57名 TV DVD カラオケ 冷蔵庫 ポット 回転サロン

旅客定員 正座席45席+補助席8席 大型トランク
53名 TV DVD カラオケ 冷蔵庫 ポット 回転サロン

群馬県知事登録旅行業 第2種382号
JATA協力会員 ANTA正会員

関越交通株式会社

〒377-0002 群馬県渋川市中村字中島608番地1

TEL 0279-20-1900 (観光部直通)

FAX 0279-20-1902

<http://www.kan-etsu.net/>

facebook twitter



周辺施設と教科の関連

※教科との関連については、教科の内容と施設での活動を十分検討する必要があります。

自然史博物館

(交流の家からバスで1時間30分)

お問い合わせ TEL:0274-60-1220 FAX:0274-60-1250

概要

『自然史』をテーマとし、生命の歴史や群馬県の自然を紹介しています。群馬県立自然史博物館では、地球の生き立ちを自然と生命の歩みとともに、分かりやすく展示しています。また、緑豊かな群馬の自然を館内に再現したエリアもあり、群馬の特徴的な動植物等を展示しています。

施設での活動

- ・生命の歴史や群馬県の自然に関する展示見学。

教科との関連 (例)

生活科 1・2年生

公共物や公共施設を利用する活動

理科 4年生

- ・人や他の動物について、骨や筋肉のつくりと働きに着目して、それらを関係付けて調べる活動
- ・身近な動物や植物について、探したり育てたりする中で、動物の活動や植物の成長と季節の変化に着目して、それらを関係付けて調べる活動

理科 6年生

- ・生物と環境について、動物や植物の生活を観察したり資料を活用したりする中で、生物と環境との関わりに着目して、それらを多面的に調べる活動

総合的な学習の時間

探究課題：環境に関すること
例：「群馬の自然について考えよう」



サンデンフォレスト

(交流の家からバスで約20分)

お問い合わせ TEL:027-285-3225 FAX:027-285-6681

概要

サンデンフォレスト・赤城事業所は、群馬県赤城山の南麓にあるサンデングループの事業所の一つです。2002年に自然と産業が矛盾なく共存できることをコンセプトに開発されました。開業当初から県内の小学生をはじめとして、工場見学や自然体験のフィールドとして活用されています。

施設での活動

- ・自動販売機工場・自動販売機ミュージアム見学
- ・森林環境教育・自然体験プログラム

教科との関連 (例)

生活科 1・2年生

- ・身近な自然を観察したり、季節や地域の行事に関わったりするなどの活動
- ・身近な自然を利用したり、身近にある物を使ったりするなどして遊ぶ活動
- ・動物を飼ったり植物を育てたりする活動

社会 3年生

- ・地域に見られる生産や販売の仕事について、学習の問題を追究・解決する活動

社会 5年生

- ・我が国の工業生産について、学習の問題を追究・解決する活動
- ・我が国の国土の自然環境と国民生活との関連について、学習の問題を追究・解決する活動

総合的な学習の時間

探究課題：環境に関すること 例：「生き物を守ろう」



ぐんま昆虫の森

(交流の家からバスで約25分)

お問い合わせ TEL:0277-74-6441 FAX:0277-74-6466

概要

45ヘクタールの敷地に雑木林や棚田、畑、小川などの里山を再現。そこで暮らす昆虫を探し、手に取り、その生態をじっくり観察できます。昆虫観察館では里山の生きものや世界の昆虫をいつでも見ることができ、温室では、チョウを間近で観察できます。そのほか、昆虫クラフトやふれあいコーナーなど各種プログラムも楽しめます。



施設での活動

- ・昆虫を自分で探し、観察する。
- ・昆虫に関する展示を見学する。
- ・学習コーナーで昆虫について調べる。

教科との関連 (例)

生活科 1・2年生

- ・公共物や公共施設を利用する活動
- ・身近な自然を観察したり、季節や地域の行事に関わったりするなどの活動

理科 3年生

- ・身の回りの生物について、探したり育てたりする中で、それらの様子や周辺の環境、成長の過程や体のつくりに着目して、それらを比較しながら調べる活動
- ・動物を飼う活動

理科 6年生

- ・生物と環境について、動物や植物の生活を観察したり資料を活用したりする中で、生物と環境との関わりに着目して、それらを多面的に調べる活動

カネコ種苗 ぐんまフラワーパーク

(交流の家からバスで約10分)

お問い合わせ TEL:0120-1187-38

概要

一年を通して様々な花が楽しめます。子供達は迷路やアスレチックなどの遊び場でも楽しめます。その他にも押し花体験など体験活動もできます。さらに、5つのテーマ温室で雨の日も楽しめます。

施設での活動

- ・季節ごとの花などの植物を見学する。
- ・花などの植物の生態について知る。

教科との関連 (例)

生活科 1・2年生

- ・公共物や公共施設を利用する活動
- ・身近な自然を観察したり、季節や地域の行事に関わったりするなどの活動
- ・植物を育てる活動

理科 4年生

- ・身近な動物や植物について、探したり育てたりする中で、動物の活動や植物の成長と季節の変化に着目して、それらに関係付けて調べる活動



6 安全基準

国立赤城青少年交流の家では、安心安全な自然体験活動を提供するために、下記の基準で活動の中止をお願いすることがあります。

事故ゼロでおかえりいただくための大切な考え方ですので、どうぞご理解いただくとともに、プログラムの企画時にも無理のない活動計画を立ててください。



交流の家施設内での活動

1 屋外活動

雷注意報(落雷)の発令時、10m以上の強風が吹いているとき、局地的豪雨が予測されているとき、濃霧のときは、外に出ることをやめていただくよう勧告することがあります。

落雷、倒木、行方不明などのおそれがあり、事故の可能性が高いと判断するためです。

2 オリエンテーリング、グリーンアドベンチャー

原則として上記「1 屋外活動」同様の判断をさせていただきます。

- 台風や強風後の倒木などにより、コースの安全性が確保できないと判断した場合は、ご利用いただけません。
- オリエンテーリングコースは、地域住民の協力により私有地にも立ち入っています。マナーを守ってご利用ください。
- オリエンテーリング東コースは、登山ルートを活用した上級者コースです。野外活動経験が少ない、もしくは団体が安全管理に関する体勢(例えばパトロール等)が取れていないと思われる場合は、西コースのみの利用をおすすめします。

3 キャンプファイヤー

原則として上記「1 屋外活動」同様の判断をさせていただきます。

- 特に風速5m以上の強風や落雷注意報については、予測された時点で屋内活動への変更を提案いたします。
- 必要以上に灯油を使用したり、花火を行うなど、自然環境や動植物に悪影響を及ぼし、参加者にも危険性が高いと判断した場合は、活動そのものを中止していただく場合があります。
- 活動場所までの移動や、衣服についてもご注意ください。詳細はP68～69をご確認ください。

4 ナイトウォーク

原則として、「1 屋外活動」同様の判断をさせていただきます。

- 特に強風や落雷注意報については、予測された時点で屋内活動への変更を提案いたします。
- 参加者を驚かしたり、暗闇で恐怖感をあおるような活動(きもだめし)は、禁止しています。
- 夜の活動については、特に安全に配慮がされている場合を除き、懐中電灯等をご使用ください。

施設外での活動

1 登山

雷注意報(落雷)の発令時、10m以上の強風が吹いているとき、台風の接近、局地的豪雨、濃霧等、及びそれが予測されているときは、中止を勧告しています。

- 登山にふさわしくない装備、行程に無理がある、安全管理する指導體制が整っていないときは、中止を提案させていただきます。
- 春季および秋・冬季は登山道に雪があることがあります。最新の情報を得て活動してください。

2 その他の施設外活動

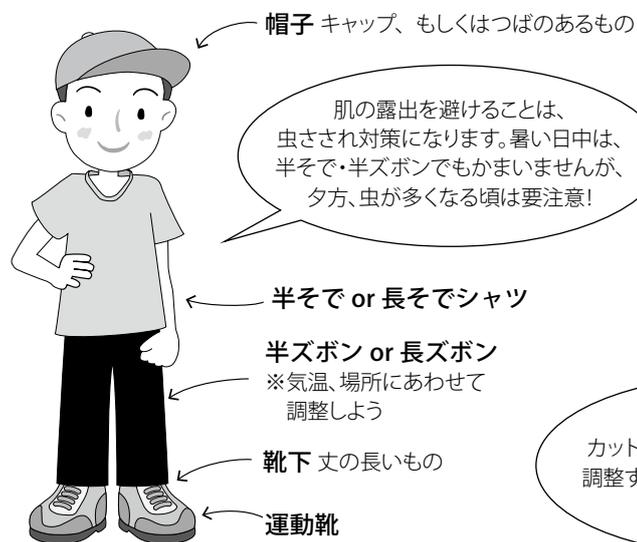
- 「1 屋外活動」と同様に対応いたします。
- それぞれの活動において危険が予測される場合には、中止や活動の変更を提案していただくことがあります。

7 服装・持ち物について

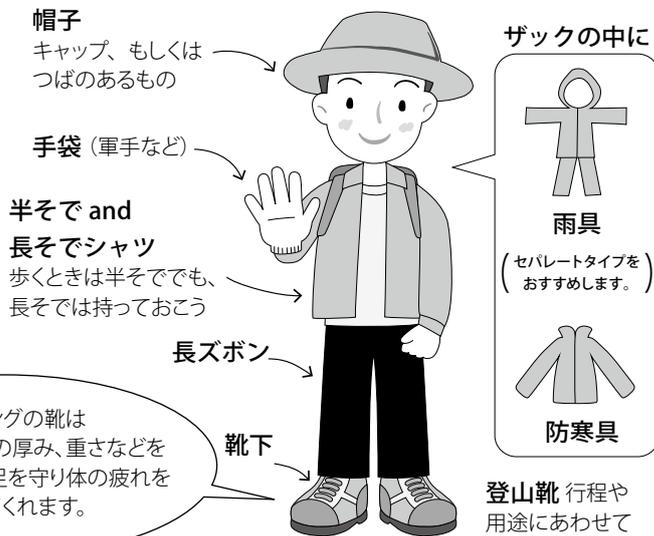
服装や持ち物の準備は、その活動をより楽しむため、そして事故を防ぐために必要不可欠です。季節だけでなく、地域の気候や活動、もしもの時などいろいろな用途を考えてしっかりと準備

しましょう。プログラムの指導を依頼する場合は、必ず事前に指導者と確認してください。

●通常スタイル



●ハイキングスタイル



●カッパについて

カッパは雨天に限らず、防寒着としても活用できる、野外活動の必需品です。

できればセパレートタイプを

上着とズボンの上下にわかれたセパレートタイプが一番活動に適しています。動きやすさに加え、ズボンがあるので、足元の濡れを防ぎます。

●防寒着

交流の家は標高500mの場所にあります。前橋市街地より2~3℃気温が低く、朝晩は冷え込みます。

また、風が強い時期もあり、その場合、体感温度はさらに下がります。季節に関わらず、気温を過信せず、防寒着をお持ち下さい。

外側に着る服は、冷たい空気を入れず、中の暖かい空気を逃さないものが良く、特に赤城は防風性の高いものが重宝します。

●夏季の服装について

夏は熱中症予防のために涼しい服装がおすすめですが、短パンやサンダルの場合、虫さされの心配があります。特に足首まわりをブヨに刺されるケースが多くみられます。

転倒防止や虫さされ予防のために、くつ下を履き、靴着用がおすすめです。

●軍手について

「軍手」といっても、素材や編み方で様々な種類があります。やけどや怪我を防ぐために軍手を使いますが、軍手の選び方次第では、逆効果になることがあります。素材の特性を理解しておくことが身を守ることに繋がります。

○ 綿100%の軍手

熱の伝わり方が遅く、急に燃えたり溶けだすことがないので、化学繊維を含むものよりは危険は少ないと言えます。野外炊事などは必ず綿100%のものを選びましょう。

△ 化学繊維(アクリル、ポリエステル、ナイロン)の軍手

熱を通しやすく、熱いものに触れた場合、すぐに軍手が溶けだし、やけどをする危険性が大きいと言えます。

× ゴムびきの軍手(イボ付軍手など)

繊維だけの軍手よりは燃えにくいですが、火に近づけると、表面のゴムが溶け出して激しく燃え出し、非常に危険な状態になります。野外炊事等には適していません。

◎ 革手袋

熱湯がかかっても、まずやけどにはなりません。熱が手袋の内部に伝わる時間が繊維性の軍手より長くなります。革手袋は火を扱うときには、最も安全だと言えます。火を使う活動をされる引率の指導者の方などは、携行をおすすめします。

**軍手を過信したり、軽視したりすると、
いろんな事故につながります。**

～出典:日本キャンプ協会CAMPシート～

7 服装・持ち物について

■服装・持ち物一覧表

	タイトル	服装	持ち物
1	あかぎやま登山	帽子、軍手、防寒着（山頂は寒い）、カッパ（できればセパレートタイプ）、脱ぎ着できる動きやすい服装、運動靴	個人：ザック（両手があくもの）、飲み物、行動食、ヘッドランプ、時計、タオル、ゴミ袋 個人やグループ：地図、熊鈴 団体：救急用品、ガムテープ（テーピングテープ）、携帯電話（場所によっては使用不可）※必要に応じ、シート、ナイフ、非常食等 ※装備内容は、コース・経験度によって異なります。
2	オリエンテーリング	帽子、動きやすい服装、運動靴	個人：飲み物、カッパ（少雨決行）、グループ：筆記用具
3	アドベンチャーラリー	同上	同上
4	キャンプファイヤー	長袖長ズボン（虫刺され、怪我防止）、防寒着	団体：新聞紙、マッチ、救急用品、懐中電灯（移動に使用。グループごとにあるとよいでしょう）
5	たき火	軍手、長袖長ズボン（虫刺され、怪我防止）、防寒着	団体：新聞紙、マッチ、救急用品、懐中電灯（移動に使用。グループごとにあるとよいでしょう）
6	キャンドルファイヤー		団体：マッチ、救急用品
7	ウォークラリー	帽子、動きやすい服装、運動靴	個人：飲み物、カッパ（少雨決行）
8	ネイチャーゲーム	帽子、動きやすい服装、運動靴	個人：飲み物、カッパ（少雨決行）
9	グリーンアドベンチャー	帽子、動きやすい服装、運動靴	個人：飲み物、カッパ（少雨決行）、グループ：筆記用具
10	星空観察	季節に応じた服装、運動靴	団体：懐中電灯 ※シート（寝ころがって眺めることができます）
11	あかぎ植物観察	帽子、運動靴、動きやすい服装（夏でも長袖長ズボン）	カッパ（少雨決行）
12	あかぎアドベンチャープログラム(AAP)	帽子、動きやすい服装、運動靴、上履き（スリッパ、サンダル不可）	飲み物、カッパ（少雨決行）
13	レクリエーション	動きやすい服装、運動靴	個人：上履き（スリッパは不可）
14	館内ラリー	動きやすい服装	グループ：筆記具
15	館内フォトラリー	動きやすい服装	飲み物
16	ナイトウォーク	帽子、動きやすい服装、運動靴	なし
17	木の実ハンティング	帽子、動きやすい服装、運動靴	小さい袋、カッパ（少雨決行）、飲み物
18	グラウンドゴルフ（ニュースポーツ）	帽子、動きやすい服装、運動靴	飲み物
19	クップ（ニュースポーツ）	帽子、動きやすい服装、運動靴	なし
20	キンボール（ニュースポーツ）	動きやすい服装、体育館シューズ	なし
21	ディスクゴルフ（ニュースポーツ）	帽子、動きやすい服装、運動靴	飲み物
22	ドラム缶ビザ&ポトフづくり	軍手（綿100%のもの）、帽子、長袖長ズボン（火傷のリスクを防ぎます）、運動靴、カッパ（会場まで距離があります）	個人：飲み物 団体：洗剤・クレンザー（環境にやさしいもの）、スポンジ・金たわし、新聞紙、マッチ、ふきん・雑巾、救急用品、懐中電灯（夕食作りの場合移動時に必要）
23	野外炊事	同上	同上
24	うどん打ち	エプロン、三角巾（バンダナ）	団体：ふきん・台拭き
25	凧づくり		個人：筆記具
26	土笛・オカリナ		個人：古タオル
27	陶芸		個人：古タオル
28	七宝焼		個人：筆記具
29	てん刻		個人：筆記具
30	切り絵（白黒・カラー）		個人：筆記具、消しゴム
31	新聞紙であそぶ		個人：筆記具
32	厚紙ブーメラン		個人：筆記具
33	ドリームキャッチャー		なし
34	アロマキャンドル		個人：エプロン、軍手、湯煎用空き缶（トマト缶など。フタは取る。） 団体：新聞紙
35	スーパー竹とんぼ		団体：瞬間接着剤（1本で30名程度）
36	くるくるタネ		なし
37	かなな箸づくり		小さい袋、筆記具
38	ネイチャークラフト		団体：作品を持って帰る入れ物（ダンボールなど）、小さい袋
39	勾玉		蛍光ペン（必要に応じて）
40	ミニサークルスタンド		個人：筆記具
41	プラホルダー		なし
42	森のこびん	帽子、動きやすい服装、運動靴	小さい袋、筆記具
43	押し花		個人：筆記具、消しゴム
44	あかぎ森林守り隊	帽子、長袖長ズボン、運動靴	個人：飲み物、軍手、タオル（首に巻ける長さのもの）、カッパ（少雨決行）

8 プログラム指導のしかた(野外炊事編)

野外炊事について

薪で火をたいて、料理を行うことは、今の便利すぎる生活を見直す良い機会となります。火をおこす技術を身につけることは、たくましさや養育の意味でも大切なことです。ここでは、交流の家の用具を使って火おこしを行うポイントを紹介します。

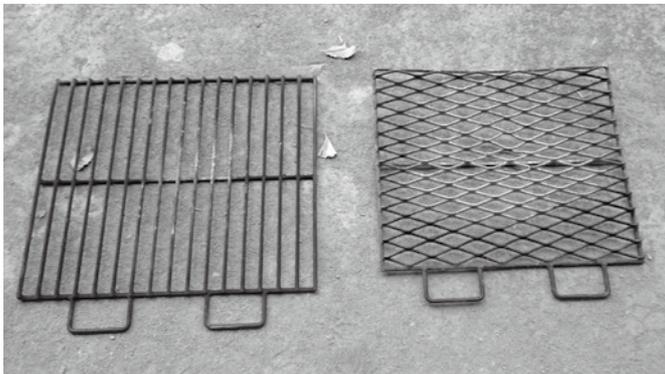
①交流の家では、専用の移動かまどを使います。(鍋2個用)



②鍋 1 個用のかまどもあります。



③ 2 種類の網があります。格子状になっているものは下の段に、縦目になっているものは最上部に置きます。



④薪を組みます。まず、薪の束から太めの薪を選んで 4 段程度、井桁に組みます。



⑤焚きつけに新聞紙を使います。1 枚あれば十分です。固くなる部分と、ひらひらした部分を作ります(新聞紙が多いと、灰が舞い、炊いたお米やカレーに入ることがあります。紙を使いすぎないようにしましょう)



⑥新聞紙と井桁に立てかけるように、細い薪を立てかけていきます。



⑦これで準備OKです。

⑧点火します。ただ火を燃やしているだけだと、薪がもたないないので、鍋の準備ができてから点火しましょう。



ワンポイント アドバイス!

- 新聞紙に火がついただけで安心してしまい、新聞紙が燃え尽きて消えてしまうことがあります。新聞紙についた火が薪に燃え移るようにすることが大切です。燃えている火の上に、薪をのせていきましょう。
- 6年生で学ぶ「ものの燃え方」を実践する良い機会です。燃えるものには何が必要かなどしくみを考えながら試行錯誤して火をつけるのも良い学習の機会となるでしょう。

9 プログラム指導のしかた(キャンプファイヤー編)

キャンプファイヤーの例

毎年多くの団体のみなさんが実施する定番プログラムですが、そもそもキャンプファイヤーとはどんな活動なのでしょう?楽しみ方は「大人数で盛り上がる」だけではありません。様々なキャンプファイヤーを知って、それぞれの集団にあったスタイルを見つけましょう。

キャンプファイヤーの種類

●セレモニアルファイヤー(儀式的火)

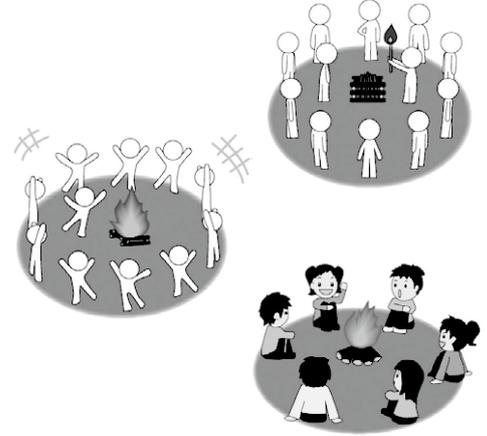
最初の点火や最後の分火(火を分けること)、キャンプ長の言葉や参加者の誓いなど、厳粛な雰囲気の中で行われるファイヤーです。

●ボンファイヤー(親睦の火)

参加者の親睦を深める目的で行われるファイヤーです。歌やゲーム、グループのスタンプ(出しもの)など、楽しい雰囲気で行われます。

●グループファイヤー(団らんの火)

少人数のグループで、小さな火を囲んで過ごすファイヤーです。グループワークを目的とした場合には特に有効で、大人数のファイヤーでは味わえないコミュニケーションや活動のふりかえりを行うことが可能です。



キャンプファイヤープログラムの組み方

キャンプファイヤーのプログラムを組むにあたってまず考えるべきことは、「キャンプファイヤーの目的は何か」ということです。「こうしなければならない」という決まったやり方はありません。目的に応じて自由にプログラムを組み立てましょう。

(プログラム例)

●第1部 点火

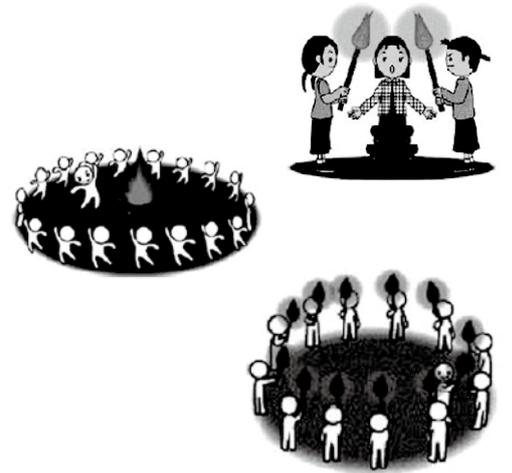
キャンプファイヤーに火をともし儀式で、厳粛な雰囲気で行います(約20分)

●第2部 交歓

参加者が主人公となるスタンプ(出しもの)や、歌・ゲームなどを中心に明るく楽しい雰囲気で行います。(約40分)

●第3部 分火

中央の火から、参加者に火を分ける儀式で、厳粛な雰囲気で行います。(約20分)



キャンプファイヤーの流れ

キャンプファイヤーの流れには大きな波があります。1部と3部は儀式が中心となることから、静かな雰囲気で行う、2部は親睦を目的としているので、にぎやかな雰囲気で行います。全体を通して、「静」と「動」の対比があるほど、感動も深いものになるでしょう。

2部の中でも、動きのあるもの・動きの少ないもの、耳をすますもの・大きな声を出すものなど、「静」と「動」をうまく組み合わせさせていきましょう。

キャンプファイヤーの役割分担

●営火長(ファイヤーチーフ)

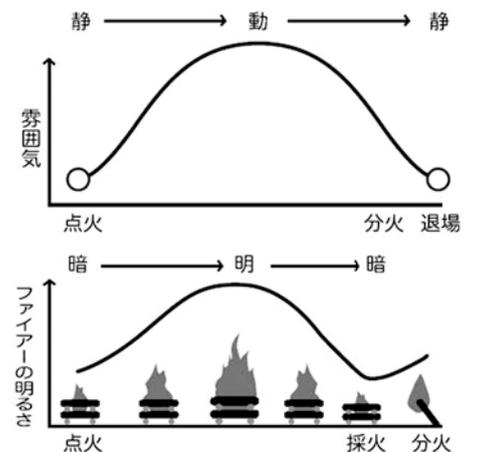
キャンプファイヤーの長です。集団全体の統括者や年長の指導者に引き受けてもらいます。セレモニーの始めや終わりスピーチをします。

●司会者(エールマスター)

ファイヤーの進行係です。1人で行う場合と、司会とは別にゲームの進行係をおく場合もあります。

●営火係(ファイヤーキーパー)

トーチの準備、プログラムに合わせた火の大きさの調節、ファイヤー中の安全管理など、裏方ですが、とても重要な役割です。



適正な時間・人数

【プログラムの時間】

参加者の年齢によって集中できる時間は異なります。幼児や小学校低学年では1時間以内に収めるようにしましょう。また、高校生や大学生を対象とした場合でも1時間程度にとどめましょう。就寝に向かう時間帯であり、翌日も活動は残っています。

【人数】

参加者の人数が50人程度であれば、ファイヤーを囲んで、正面の人の顔が確認できるほどの大きさの一重の円で実施することができます。しかし、100人のキャンプファイヤーでは一重の円になるのは難しく、全員が1つのことに集中することが難しくなります。マイクや拡声器などの音響も必要になります。夜の森に住む生物などに配慮することも必要です。狭い・暗い空間に人が密集すると事故につながりますので、大人数のファイヤーは危険度が高くなります。

トーチ作り

1. ポロ布を棒の片方の端にまきつける。
★ゆるまないように、しっかりと。全ての端を中に折り込んでおくと美しくできる。
2. ポロ布の下側を針金で巻き、固定する。
★灯油がたれないように、きつめに。
3. ポロ布の上側に向かってくるくると巻いていき、上まで行ったら、下に巻き戻していく。
★布がはたけないように、一巻きずつ、きつめに。
4. 針金の端をねじって止め、切る。
★針金の端が飛び出さないように止めておく。
5. バケツなどに入れた灯油に布の部分浸す。
★たれてこないように余分な灯油を切っておきましょう。

薪組み

長時間もやし続けることができ、かつ明るく、安全ならばどのような組み方でも構いませんが、基本的なミックス型(井桁型+ティピー型)を紹介します。

ステップ1 ~仮組み

丸太を仮に組んでみてバランスをみる。上段が徐々に狭くなり、どちらかに傾き過ぎないように置いてみる。

ステップ2 ~芯の設置

古新聞で芯をつくる。燃えやすいようにシワシワにして薪を立てかけられるような形状にする。

湿気を避けるため薪を地面に敷き、その中央に芯を置く。

点火用のトーチ棒を差し込むスペースを確保するために、あらかじめ置いてみる。プログラムに合わせてトーチ棒の場所・本数は工夫しよう。

ステップ3 ~薪をつめる(ティピーを組む)

トーチ棒のスペースを確保しながら、まず木っ端をつめる。なるべく垂直に近い状態で一方に偏らないように数人で協力するとよい。

次にもう少し大きな木っ端、さらに太薪をつめていく。

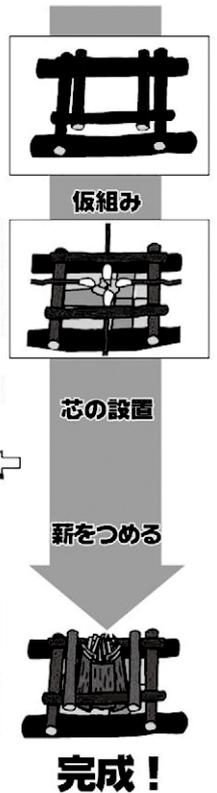
途中に何回か薪をしぼる。

ステップ4 ~仕上げ

木の皮の残る薪で外装する。丸太にも木の皮が残っているため、外観を合わせる。最後にトーチ棒を抜く。

「しぼる」とは、みんなで一緒に、組んである薪を中心に向かって押し、すき間を埋める作業のこと。しぼればしぼるだけ燃え上がるのに時間がかかる。プログラムの進行に合わせて。

最後につけた薪が崩れないようにそっとトーチ棒を抜き、作業のためにはずしておいた丸太を組んで完成!



針金がゆるかったり

布がはたけていたり

灯油をつけすぎたり

すると…

布の部分が焼け落ちる

灯油がたれてきて、身体に引火する

…など、大変危険です。十分に注意しましょう!

トーチができたら振って確認しましょう

ワンポイント! 子どもの身長より高いような薪組みは明らかに大きすぎです。灯油もできるだけ使わないようにし、夜の自然環境に配慮したキャンプファイヤーを心がけましょう。火のぬくもりを実感できるようなキャンプファイヤーにしましょう。

※太すぎず、長すぎない棒を使いましょう。

これがファイヤーキーパーだ!

ファイヤー中の役割

☆プログラムに合わせた炎の調節

☆安全管理

キャンパーが炎に近づきすぎないように気をくばります。

ファイヤーキーパーの服装・準備物

髪の毛を守るために、つばのあるぼうし又はバンダナ

長そで・長ズボン(綿製のもの)



軍手の上に革手袋

動きやすいくつ(サンダル不可)
タオル(汗ふきや、首を守る)

ヘッドランプ



点火用ライター



ファイヤー前後の役割

ファイヤー前

- ◇薪組み、トーチの準備
- ◇ファイヤー場付近の照明の調節
- ◇入退場進路・照明の確認
- ◇場内の木くず、ごみ等の清掃

ファイヤー後

- ◇消火、後片付けなど

～出典: 日本キャンプ協会CAMPシート～

火をおこして調理をしよう

1 新学習指導要領との関連

○学習指導要領 家庭 第2 各学年の内容〔第5学年及び第6学年〕とのかかわり

B 衣食住の生活

(1) 食事の役割

ア 食事の役割が分かり、日常の食事の大切さと食事の仕方について理解すること。

イ 楽しく食べるために日常の食事の仕方を考え、工夫すること。

(2) 調理の基礎

ア (ア) 調理に必要な材料の分量や手順が分かり、調理計画について理解すること。

(イ) 調理に必要な材料の分量や用具や食器の安全で衛生的な取扱い及び加熱用調理器具の安全な取扱いについて理解し、適切に使用できること。

(ウ) 材料に応じた洗いや、調理に適した切り方、味のつけ方、盛り付け、配膳及び後片付けを理解し、適切にできること。

(エ) 材料に適したゆで方、炒め方を理解し、適切にできること。

(オ) 伝統的な日常食である米飯及びみそ汁の調理の仕方を理解し、適切にできること。

(3) 栄養を考えた食事

ア (ア) 体に必要な栄養素の種類と主な働きについて理解すること。

(イ) 食品の栄養的な特徴が分かり、料理や食品を組み合わせるとる必要があることを理解する。

(1) 集団宿泊活動として学習することのよさ

家庭のキッチンや学校の家庭科室では、ガスコンロやIH、電子レンジなど、ガスや電気機器を使うので、加熱の目安がつきやすい。野外炊飯では、薪を使って火を起こし、火加減を調節しながら調理を進める体験ができる。また、野外における安全・衛生について学ぶこともできる。

調理を計画的に進めていくためには、班の友だちとの協力が不可欠であり、仲間と相談し、声をかけ合いながら楽しく作業を進められるのも野外炊飯のよさである。学校での調理実習、自然学校での野外炊飯で培った知識や技能、みんなでおいしく食べた経験で得た喜びや自信を活かして、家庭でも実践できることが期待できる。

(2) 国立赤城青少年交流の家での展開例【家庭科 135分（時数3）、特別活動 45分（時数1）】

①本時の目標

- ・火おこしを中心に据え、協力を考えた野外炊飯
- ・グループで協力して火をおこすとともに火の大切さについて知る。
- ・火のおこし方をグループで考える。
- ・自分で調理することによって、自立性を身につける。

学習の流れ	活動内容	◎指導上の留意点	時間
学習課題をつかむ	<p style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">自分たちの力で火をおこして調理をしよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○学校で立てた計画を確認する。 ・役割分担を確認し、友だちと協力して調理する。 	◎服装、手洗い、消毒など衛生面・安全面（切り傷・火傷）に配慮する。	10分
調理する	<p>○調理計画に沿って、調理を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・調理するための用具やかまど、材料の準備 <div style="display: flex; justify-content: space-around;">    </div> <p>【火起こし】全員</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <ul style="list-style-type: none"> ①グループで協力して火をおこす方法を考える。 ②上を抑えるのが一人程度、下の板を抑えるのが一人程度、ひもを引っ張るのが2人 合計6人～8人 </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between; margin-top: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> <p>【ご飯】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・鍋で米を洗う。 ・吸水（30分）する。 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> <p>【かまど】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・薪、新聞紙、ライター等を準備する。 ・薪を組んで、種火を作り火を起こす。 ・炎の大きさを調節する。 </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between; margin-top: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> <p>【みそ汁】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・だしの準備をする。 ・実を切る。（実にあった切り方） </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> <p>【みそ汁】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・鍋に水を入れ、だしをとる。 ・鍋を火にかけ、食材を煮る。 ※火が通りにくい食材から入れる。 ・みそを入れる。 ・ネギなどの薬味は最後に入れる。 </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between; margin-top: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> <p>【ご飯】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・火加減、鍋を置く位置に気をつけて炊く。 ・鍋からこぼれる水分、蒸気がなくなったら蓋を開けて様子を見る。 ・炊きあがったら、かまどから下ろし、蒸らす。 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> <p>【ご飯】【みそ汁】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・丁寧に盛りつけ、テーブルに配膳する。 </div> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px; width: 100%;"> <p>【かまど】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・灰が残らないようかまどの掃除をする。 ※燃え残っている炭があるので火傷に注意する。 </div>	<p>◎60分で火起こしを行う。</p> <p>選択肢</p> <ol style="list-style-type: none"> ①火打ち石 ②火起こしキット ③虫眼鏡と新聞紙 <p>各グループで相談しながら火起こしを行う。</p> <p>◎仕上がりから逆算し、ほぼ同時に仕上げるための手順を確認する。</p> <p>◎炎の調整は難しいので鍋を置く位置や鉄板の焼く場所によって調整することを伝える。</p> <p>◎調理に使わないものは調理の途中でも洗ったり、片付けたりしながら効率よく作業を進めるよう声を掛ける。</p>	180分
食事をする	○感謝の気持ちを込めて作ったご飯やみそ汁をみんなで食べる。（味付け、米の炊け具合、だしの加減、火の通り方など確認をする。）		45分
片付け	○友だちと協力して器や鍋を丁寧に洗い、汚れを取り除く。 ○数を確認し、もとの場所に片付ける。	◎洗剤・たわしを使い、汚れやこげを丁寧に落とす。	30分
ふりかえり	○ふりかえりシートに感想を書き、班で発表する。共通点や全体で共有したい意見は全体で発表する。 ※キャンプ中かまどの火を絶やさないことも応用編として行うこともできる。例 キャンプファイアーに使う。	◎個人や班のめあてが達成できたか、友だちの感想も参考にしながらふりかえらせる。	15分

地域の伝統食をつくってみよう

1 単元名 小学5年「食べて元気に」

○学習指導要領 家庭 学習内容項目とのかかわり

B 衣食住の生活

(1) 食事の役割

ア 食事の役割が分かり、日常の食事の大切さと食事の仕方について理解すること。

(2) 調理の基礎

ア (ア) 調理に必要な材料の分量や手順が分かり、調理計画について理解すること。

(イ) 調理に必要な材料の分量や用具や食器の安全で衛生的な取扱い及び加熱用調理器具の安全な取扱いについて理解し、適切に使用できること。

(ウ) 材料に応じた洗い方、調理に適した切り方、味のつけ方、盛り付け、配膳及び後片付けを理解し、適切にできること。

(エ) 材料に適したゆで方、炒め方を理解し、適切にできること。

(オ) 伝統的な日常食である米飯及びみそ汁の調理の仕方を理解し、適切にできること。

(3) 栄養を考えた食事

ア (ア) 体に必要な栄養素の種類と主な働きについて理解すること。

(イ) 食品の栄養的な特徴が分かり、料理や食品を組み合わせるとる必要があることを理解する。

2 学習過程と単元計画

学習過程	活動内容	時数	活動の場
生活の課題発見	(1) 毎日の食事を見つめよう (2) なぜ食べるのか考えよう ①五大栄養素のはたらき ②3つの食品のグループとそのはたらき	3	学校
解決方法の検討と計画 実践活動1	(3) すいとん (おっきりこみ) をつくろう ①地域の伝統食としてのすいとん (おっきりこみ) について知り、特徴を調べる。 ②小麦粉をつかった料理や汁の作り方を調べる。 ③宿泊体験学習で、すいとん (おっきりこみ) を作る計画を立てる。	4	学校
課題解決に向けた 実践活動2 実践活動の 評価改善	④小麦粉の特徴や水の分量を考えて、すいとん (おっきりこみ) をつくり、実に合わせた切り方や加熱の方法を考えて汁を調理する。 ⑤各班で味見をして感想を伝え合ったり、ねらいが達成できたか振り返ったりする。	3 1	施設
家庭・地域での 実践	(4) 家族に食事をつくってみよう *我が家のすいとん (おっきりこみ・みそ汁) 調べをして、だし、醤油、みそ、実の組み合わせなどをまとめ、つくる。 ①我が家のすいとん (おっきりこみ・みそ汁) 発表会を行う。	(1) 1	家庭 学校

3 国立赤城青少年交流の家での展開例【家庭科 135分（時数3）、特別活動 45分（時数1）】

調理計画をもとに、伝統食である、すいとん（おっきりこみ）を野外炊事で作り、実践を評価し合い、改善策を検討し、考えたことを表現することができる。

学習の流れ	活動内容	◎指導上の留意点	時間
学習課題をつかむ	<p>○学校で立てた調理計画を各グループで確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> 伝統食である、すいとん（おっきりこみ）を、野外炊事でおいしく作ろう </div>	◎衛生面、安全面に配慮する。	10分
調理する	<p>○調理計画に沿って調理をする</p> <ul style="list-style-type: none"> ・必要な道具の準備 <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> <p>【すいとん（おっきりこみ）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小麦粉に少しずつ水を加えながら練り、生地をつくる。 ・生地をねかせておく。 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> <p>【かまど】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・薪を割る。 ・薪を組む。 ・種火を作り、火を起こす。 ・薪の量で、火の大きさを調整する。 ・空気が入っていく置き方を工夫する。 <p>*各班の燃えかけの薪を、一か所に集め、食事中に燃やし尽くすようにする。</p> </div> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>【汁】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・だしを準備する。 ・実に合わせて切り方を変える。 </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between; margin-top: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> <p>【すいとん】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・こまかくちぎり、煮立った鍋に入れる。 <p>【おっきりこみ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・打ち粉をしてのぼし、幅2cm程度に切り、鍋に入れる。 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> <p>【汁】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・だしをとる。 ・実を入れる。 *火が通りにくいものから鍋に入れる。 ・醤油（みそ）を加える。 ・ネギなどの薬味を入れ、火からおろす。 </div> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>【すいとん（おっきりこみ）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・盛り付ける。 </div>	<p>◎火起こしについては、火が付いたら材料の調理が終わるまで、大きくしないようにする。</p> <p>◎ねかせている間に、汁の準備をする。</p> <p>◎火の調整は、すぐにはできないので、鍋を置く場所を変えることで調整させる。</p> <p>◎危険な場合を除いて、活動を見守ることで、子供たちの思考力や判断力を高める。</p> <p>◎片づけられるものや洗えるものは、煮ている時間を利用して、分担して適宜行うようにする。</p>	90分
試食	<p>○試食し、火の通り具合などを確認する。</p> <p>○他のグループと一口ずつ交換し、感想を伝える。</p>	◎班が多い場合は、事前に交流する班を決める。	30分
片付け	○食器や鍋を洗ったり、かまどを掃除したりして、片付ける。	◎元通りにきれいに片付けさせる。	20分
ふりかえり	<p>○振り返りシートに、すいとん（おっきりこみ）を作った振り返りや、ほかのグループについての気付きを書く。</p> <p>○評価の高かったグループが特に気を付けたポイント等について共有し、改善方法を考える。</p>	◎計画通りに炊事できたか、小麦粉の練り方、火加減やだし、実の切り方は適切だったか振り返らせ、家庭での実践計画を立てる。	30分

災害時でもご飯が炊ける方法を知ろう

1 新学習指導要領との関連

○学習指導要領 社会科 [第5学年] 2 内 容

(5) 我が国の国土の自然と国民生活との関連について、学習の問題を追究・解決する活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。

ア 次のような知識及び技能を身に付けること。

(ア) 自然災害は国土の自然条件などと関連して発生していることや、自然災害から国土を保全し国民生活を守るために国や県などが様々な対策や事業を進めていることを理解すること。

(イ) 森林は、その育成や保護に従事している人々の様々な工夫と努力により国土の保全など重要な役割を果たしていることを理解すること。

(エ) 地図帳や各種の資料で調べ、まとめること。

イ 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。

(ア) 災害の種類や発生の位置や時期、防災対策などに着目して、国土の自然災害の状況を捉え、自然条件との関連を考え、表現すること。

(イ) 森林資源の分布や働きなどに着目して、国土の環境を捉え、森林資源が果たす役割を考え、表現すること。

2 学習過程と単元計画

学習過程	活動内容	時数	活動の場・教科等
課題把握	(1) 日本で起こった自然災害について考えよう (2) 自然災害を防ぐための取り組みを調べよう (3) 地域みんなで災害を防ごう ・防災炊事の方法などを調査する	3	学校 社会科
課題追究	(4) 防災炊事を行おう ①ビニル袋ご飯 ②ビニル袋オムレツ ③空き缶ご飯	2	交流の家 家庭科
実践活動の評価改善	(5) 防災炊事について振り返ろう ※「防災」の観点から、「電気が使えない」「使える水が限られている」といった状況下でも炊事ができることを理解する。	1	交流の家 社会科
家庭・地域での実践	(6) 自分ができる防災や避難の仕方をまとめよう ※単元終了後、家庭や地域に向けて発信することを期待する。	1 (1)	学校・家庭 社会科

3 国立赤城青少年交流の家での展開例【家庭科 2 時間 社会科 1 時間】

学習の流れ	活動内容	◎指導上の留意点	時間
学習課題の把握	1. めあてをつかむ。 ○災害時は、どんな不便なことがあるか考える。 ・電気が使えない。→電化製品が使えない。 ・水道が出ない。水が足りない。 →飲料水の不足。トイレ。洗濯。風呂。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;">災害で停電や飲料水が限られているときでもご飯が炊ける方法を知ろう。</div>		15分

<p>野外炊事</p>	<p>2. 防災炊事のやり方を知る。 ○「ビニル袋ご飯」「ビニル袋オムレツ」「空き缶ご飯」の3通りの炊事の手順と準備する物について知る。</p> <p>3. 調理する。 【ビニル袋ご飯の手順】 (1) ビニル袋に米を入れる。 (2) ビニル袋に、水を入れ 30 分吸水させる。 ※水の量は、ビニル袋を斜めにして米の高さの 2 倍弱。 ※ 30 分の吸水でヌカ臭さがかなりとれる。 (3) ビニル袋の空気を抜いて、ビニル袋の口近くでしっかりしぼる。 ※空気が膨張したり、米が水を吸ってふくれたりするため。 (4) なべ底にクレンザーをぬり、水を入れる。なべにビニル袋を入れて、火にかける。 (5) 20~30 分で炊きあがる。目安は、袋の中の水が全部なくなったかどうかで判断する。 (6) 完成。ビニル袋ごと皿にのせて、ビニル袋から直接食べる。塩をふるなどして味付けしてもいい。</p> <p>【ビニル袋オムレツ】 (1) ビニル袋ご飯の応用として、簡単に調理できる「ビニル袋オムレツ」の説明を聞く。 (2) ビニル袋に卵を割り入れ、ベーコンやにんじん、ピーマンなどの具を入れて、袋の上から手でもんで混ぜる。 (3) 空気を抜くようにしてしぼり、ビニル袋ご飯と同じなべに入れて 10 分程度煮て完成。</p> <p>【空き缶ご飯の手順】 (1) 空き缶のふたを缶切りで切り取る。 (2) 安全のため、切り口のとがっている部分を、ペンチや金槌でつぶす。 (3) 空き缶に米を入れ、水を缶の半分程度入れる。 ※大人の手でグーを縦にした高さくらい。 (4) 30 分ほど吸水させる。 ※吸水させることで、米をとがなくてもヌカ臭さがとれる。 (5) アルミホイルでふたをして、爪楊枝などで真ん中に小さな穴をあける。 (6) 空き缶を火にかける。 (7) 穴から湯気が出て、その後、吹きこぼれが始まる。 (8) 吹きこぼれがおさまったら、5 分ほど弱火にする。 (9) 火からおろして、逆さにして 5 分ほど蒸らす。 (10) 完成。そのまま器にして食べてもいい。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・事前に身支度や安全指導について指導しておく。 ・説明は簡潔に行い、詳細については調理手順が書いてある用紙を提示して班ごとに活動できるようにする。 ・班の中で、3 通りの調理を分担し、同時進行で活動できるようにする。 ・ビニル袋に入っているのが最悪の場合、なべに入れる水はきれいでもなくても炊けることを説明する。 ・食器を洗う手間を省くことで節水につながることを理解する。 ・ビニル袋で作れることで、水も汚さず、油も使わないで調理できることを説明する。 (調理したお湯は別利用ができる。) ・切り口で手を切らないように軍手を使用する。 ・ご飯を炊いている時に出る湯気で火傷しないように気を付ける。 ・空き缶を火からおろす際に火傷しないように耐火手袋を使用させる。 ・食べる時に空き缶が熱い場合、軍手をして空き缶を持つように指導する。 	<p>90 分</p>
<p>食事</p>	<p>4. 班ごとにできたものを食べる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・出来上がった班から順次食事をとする。 	<p>30 分</p>
<p>片付け</p>	<p>5. 食器や鍋を洗い、片づけをする。</p>		<p>30 分</p>
<p>ふりかえり</p>	<p>6. ふりかえりをする。 ○班ごとにお互いの感想を出し合うとともに、学校で話し合ったことなどと実際に体験して分かったことについて意見交流を行う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・学校の話し合いで出した内容を提示して考えを比較させる。 	<p>15 分</p>

≪「防災」の観点から≫

- ・防災炊事は「電気が使えない」、「使える水が限られている」などの状況下でも炊事が可能。
- ・ビニル袋など身近にある物を使って簡単に炊事ができることを体験させ、またビニル袋を使うことで、油などを使わなくても調理ができ、さらに煮炊きで使ったなべの水を再利用できる。
- ・空き缶やビニル袋は、そのまま器として使うことで、洗う水が不要となり、貴重な水を大切に使える。
- ・災害時は「電気が使えない」ことが想定され、そういった時に、家によくある「ツナ缶」などで一時的に明かりとして使える「ツナ缶ランタン」なども時間に余裕があれば紹介できる。

7 よくある質問

利用に関する Q&A

Q：飲み物や食べ物の持ち込みはできますか？

A：飲食物の持ち込みは、食中毒防止のためご遠慮いただいております。熱中症予防のための飲み物に限り、持ち込んでかまいません。ただし、アルコール類はご遠慮ください。ゴミは必ずお持ち帰りください。飲み物は、食堂・売店で販売しています。直接連絡してください。

Q：『つどい』は参加しないといけませんか？

A：原則、ご参加いただきます。一日のふりかえりや今後の予定など他団体の様子を知り、お互いに尊重し合い、活動をすすめられるように実施しています。ファミリーで宿泊する場合も同様です。ただし、野外炊事の実施予定など特別な場合は、相談してください。

Q：『食事・入浴』の時間は、どのように設定していますか？

A：予約受付後に、各団体の活動を考慮して事前に調整し、連絡いたします。

Q：障がい者対応状況を教えてください。

A：宿舎は、E棟2階が車イス対応です。

玄関から研修室、体育館、食堂、浴室棟、特別研修棟へ車イスで移動できます。階段昇降機が2ヶ所ございますので、団体内で協力し合って移動をお願いします。なお、下見の際は、必ず動線やトイレ等の確認をお願いいたします。ご希望事項は必ず「活動計画書1」(P79)に記入してください。詳細は事務室へ直接問い合わせてください。

Q：食物アレルギーにはどのように対応していますか？

A：毎月のメニューの他に、アレルギー表がありますので、HPをご覧ください。

対応が必要な場合は、食堂・売店(027-288-3333)に「食物アレルギー事前確認票」(P87)を提出し、相談してください。

Q：冬季、雪はどのくらい降りますか？

A：当所の積雪量はそれほど多くありませんが突然の積雪、路面等の凍結や残雪が年間数回あります。道路状況はHPでお知らせします。確認の上お越しください。

冬季は、冬用タイヤの装着やタイヤチェーンの携行が必要です。当所付近で雪のプログラムはできません。赤城山の山頂ではスノーシューなどの活動が可能です。

Q：カーナビで検索したのですが、見つかりませんでした。何か良い方法はありますか？

A：平成18年4月に名称を変更いたしました。機種によっては、現在の名称や住所では検索できないものもあるようです。次のデータを参考に再度検索をお願いします。

- 旧名称：国立赤城青年の家
- 旧住所：群馬県(勢多郡)富士見村赤城山27
- 旧電話番号：027-288-3131

Q：領収書の発行はしてもらえますか？

A：現金でお支払いいただいた場合は、食堂売店から領収書を発行いたします。

そのため、領収書発行者名は『ユーレストジャパン(株)赤城店』になります。

領収書を分割して発行することもできますので、精算時に売店職員にお申し出ください。

銀行振込及びコンビニ払込にてお支払の場合は、領収書は発行しておりません。

振込(払込)明細書がその代わりとなります。

プログラムに関する Q&A

Q：プログラムに必要な備品の事前予約はできますか？

A：予約はできませんが、活動計画書の提出の際にあらかじめお知らせくだされば幸いです。備品の内容や数は「(3) 貸出備品一覧」(P20～21)をご覧ください。(同じプログラムが複数団体で重なった場合は、こちらで割り振らせていただきます)

Q：プログラムの費用の支払いは、いつどこですればいいですか？

A：食費などの他経費と一緒に、最終日、食堂売店で支払ってください。

※事後の振込み(銀行振込・コンビニ払込)も可能です。

薪や教材などは、購入数をお知らせいただき、最終日の支払い時に清算いたします。

Q：自主活動の場合は、どのようなサポートをしてもらえるのですか？

A：以下のサポートを行います。

①事務室にて、担当者との最終打ち合わせ(打ち合わせシートにて内容確認とアドバイス)

②必要な場合には、活動開始時に職員からの施設説明・安全面・後片づけ等に関する指導・連絡

Q：必要な教材は、どこで購入すればいいですか？

A：教材の購入方法はプログラムによって異なります。詳しくは「5 各プログラムの紹介」(P36～49)を参照してください。

Q：直接指導のプログラムをキャンセルしたい場合は、どのようにすればいいですか？

A：わかり次第、できるだけ早く連絡してください。材料の用意や、講師の予定を拘束する関係上、直前の場合は材料費や講師料を負担していただく場合もございます。

Q：ものづくりプログラムの支払いは、どのようにすればいいですか？

A：担当の講師の先生と当日までに相談してください。

(振込か当日現金での支払いとなります)

プログラムに関して、わからないことがありましたら、プログラム相談の担当にご相談ください。

8 提出書類一覧

●2カ月前までに事務室に提出

①活動計画書1	79
活動計画書2	81

●1カ月前までに食堂に提出

②教材申込書	83
③食事申込書	85
④食物アレルギー事前確認票	87

●当日入所受付時に提出

⑤利用者名簿〈宿泊者用〉	89
⑥利用者名簿〈日帰り利用者用〉	91
⑦利用団体票(表)	93
⑧利用団体票(裏)	94

① 活動計画書1



記入日
年 月 日

国立赤城青少年交流の家
FAX:027-289-7226
利用日の2ヶ月前までに提出してください。

新規 変更(月 日)

※新規か変更か印をつけてください。
※変更の場合は変更点が分かるように記入してください。

(フリガナ) 団体名			TEL	-	-	<input type="checkbox"/> 自宅 <input type="checkbox"/> 勤務先				
(フリガナ) 代表者			FAX	-	-	<input type="checkbox"/> 自宅 <input type="checkbox"/> 勤務先				
			携帯TEL	-	-					
	〒 -									
(フリガナ) 研修担当者			TEL	-	-	<input type="checkbox"/> 自宅 <input type="checkbox"/> 勤務先				
			FAX	-	-	<input type="checkbox"/> 自宅 <input type="checkbox"/> 勤務先				
			携帯TEL	-	-					
			E-Mail	携帯メール不可						
書類送付先 (研修担当者住所)	〒 -		※団体住所と同じ場合は省略							
利用期間	入所:	年 月 日 () (時 分)	泊		日					
	退所:	年 月 日 () (時 分)	※入退所は9時~16時まで							
利用形態	<input type="checkbox"/> 本館泊 <input type="checkbox"/> 谷のキャンプ場 (張) <input type="checkbox"/> あかぎプレイパーク (張) <input type="checkbox"/> 日帰り									
交通手段	<input type="checkbox"/> 貸切バス (台) <input type="checkbox"/> 自家用車 (台) <input type="checkbox"/> その他 (台)									
宿泊利用人数	社会人		大学生等	高校生	中学生	小学生	未就学児	添乗員・カメラマン等	合計	うち引率
	30才以上 29才以下							30才以上 29才以下		
	男性									
女性										
日帰利用人数	社会人		大学生等	高校生	中学生	小学生	未就学児	添乗員・カメラマン等	合計	うち引率
	30才以上 29才以下							30才以上 29才以下		
	男性									
女性										
ねらい	*この研修を通してのスローガンや参加者にこうなってほしいなど、研修をする上での目標があれば書いてください。									
利用目的	<input type="checkbox"/> 事前打ち合わせ <input type="checkbox"/> 修学旅行 <input type="checkbox"/> 部活動 <input type="checkbox"/> 新入生オリエンテーション <input type="checkbox"/> 集団宿泊的行事 <input type="checkbox"/> 青少年教育指導者・関係者研修 <input type="checkbox"/> 自然体験 <input type="checkbox"/> スポーツ <input type="checkbox"/> 学習活動 <input type="checkbox"/> その他()									
利用経験	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無		利用のきっかけ: <input type="checkbox"/> 知人 <input type="checkbox"/> Web <input type="checkbox"/> 他施設の紹介 <input type="checkbox"/> その他()							
参加者のアレルギーの有無			該当者なし <input type="checkbox"/>			該当者あり <input type="checkbox"/> ()				
エビメン持参の有無			該当者なし <input type="checkbox"/>			該当者あり <input type="checkbox"/>				
◎要望等ありましたらお書きください。 ※他団体との調整がありますので、要望には添えないこともあります。										

キリトリ

※上記の団体にかかわる個人情報については、今回の利用手続き、次年度以降の案内及び当所からの情報提供にのみ使用させていただきます。
情報は個人情報保護法の趣旨にのっとり厳重に管理し、法令等に定めがある場合を除き、代表者の同意を得ることなく第三者に開示することはありません。

①活動計画書2 (団体名:) (担当者氏名:) () □新規 □変更 (月 日)

月		日 ()												宿泊人数						
時間	活動内容	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	
晴天	洗面・清掃	朝のつどい	朝食	食堂 ・ 野外炊事 ・ 弁当	有・無	有・無	食堂 ・ 野外炊事 ・ 弁当	夕食	代表者会議	夕べのつどい	食堂 ・ 野外炊事 ・ 弁当	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	就寝準備	消灯	
有料講師																				
雨天																				
有料講師																				

月		日 ()												宿泊人数						
時間	活動内容	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	
晴天	洗面・清掃	朝のつどい	朝食	食堂 ・ 野外炊事 ・ 弁当	有・無	有・無	食堂 ・ 野外炊事 ・ 弁当	夕食	代表者会議	夕べのつどい	食堂 ・ 野外炊事 ・ 弁当	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	就寝準備	消灯	
有料講師																				
雨天																				
有料講師																				

月		日 ()												宿泊人数						
時間	活動内容	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	
晴天	洗面・清掃	朝のつどい	朝食	食堂 ・ 野外炊事 ・ 弁当	有・無	有・無	食堂 ・ 野外炊事 ・ 弁当	夕食	代表者会議	夕べのつどい	食堂 ・ 野外炊事 ・ 弁当	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	就寝準備	消灯	
有料講師																				
雨天																				
有料講師																				

国立赤城青少年交流の家

送信先 FAX 番号

027-289-7226

☆記入にあたっては、「施設利用ガイドブック」の関連ページや記入例 (P28) を参考にしてください。

☆退所する日は8:45～退所点検を受けていただきます。

☆食事 (食堂利用) と入浴時間は各団体の活動を考慮して調整します。

食堂 FAX: 027-288-7037
 利用の1ヶ月前までに提出してください。

新規 変更 (月 日)

②教材申込書

※新規か変更印をつけてください。
 ※変更の場合は変更点が分かるように記入してください。

団体名		記入日	年	月	日	No.
記入者		電話番号(連絡先)	-		-	

活動内容			月 日()		月 日()		月 日()	
	押し花用色紙	110円	雨プロ	人分	雨プロ	人分	雨プロ	人分
スーパー竹とんぼキット	110円	雨プロ	人分	雨プロ	人分	雨プロ	人分	
ミニサークルステンド	320円	雨プロ	人分	雨プロ	人分	雨プロ	人分	
勾玉(まがたま)	350円	雨プロ	人分	雨プロ	人分	雨プロ	人分	
くるくるタネ	410円	/	人分	/	人分	/	人分	
プラホルダーキット	250円	雨プロ	人分	雨プロ	人分	雨プロ	人分	
森のこびん	210円	雨プロ	人分	雨プロ	人分	雨プロ	人分	
かなな箸づくり	150円	雨プロ	人分	雨プロ	人分	雨プロ	人分	

- ※ 当所の教材を購入される場合に記入してください。
 - ※ 変更が生じた場合は「変更」の□に印を入れ、再度FAXにて提出してください。
 - ※ 雨天などで、予定した野外活動ができない時にのみ購入する場合は、『雨プロ』に○をつけてください。(予定の野外活動を実施した場合は購入しなくてよい)
 - ※ 有料講師を依頼するプログラムの材料費は、担当する有料講師に直接問い合わせてください。
- ◆コピーしてご利用ください。

<記入例>

団体名	前橋市立赤城交流小学校	記入日	20XX年 7 月 1 日	No.	1
記入者	前橋 花子	電話番号(連絡先)	027-000-0000		
		8月8日(月)	8月9日(火)	8月10日(水)	
押し花用色紙	110円	雨プロ 20人分	雨プロ 人分	雨プロ	人分
スーパー竹とんぼキット	110円	雨プロ 人分	雨プロ 人分	雨プロ	人分
ミニサークルステンド	320円	雨プロ 人分	雨プロ 人分	雨プロ	20人分
勾玉(まがたま)	350円	雨プロ 人分	雨プロ 20人分	雨プロ	人分
くるくるタネ	410円	/	人分	/	人分
プラホルダーキット	250円	雨プロ 人分	雨プロ 人分	雨プロ	人分
森のこびん	210円	雨プロ 人分	雨プロ 人分	雨プロ	人分
かなな箸づくり	150円	雨プロ 人分	雨プロ 人分	雨プロ	人分

キリトリ

③ 食事申込書



食堂 FAX:027-288-7037

利用の1ヶ月前までに提出してください。
※他のFAX送信票と番号が異なりますのでご注意ください。

新規 変更(月 日)

※新規か変更印をつけてください。
※変更の場合は変更点
分かるように記入してください。

団体名		記入日 年 月 日 NO.								
団体住所		〒 -								
記入者		連絡先電話番号			連絡先FAX番号					
※団体担当者様へ 参加者の食物アレルギー該当者・対応の有無をチェックして下さい。 該当者なし <input type="checkbox"/> 該当者あり・対応なし <input type="checkbox"/> 該当者あり・対応あり <input type="checkbox"/> (別途、食物アレルギー事前確認票を提出して下さい。)										
食事	月 日	月 日 ()			月 日 ()			月 日 ()		
		朝食	昼食	夕食	朝食	昼食	夕食	朝食	昼食	夕食
食堂	中学生以上	食	食	食	食	食	食	食	食	食
	小学生	食	食	食	食	食	食	食	食	食
	幼児 (3歳以上)	食	食	食	食	食	食	食	食	食
弁当	赤城 <small>魚・肉団子</small>	幕の内	食	食	食	食	食	食	食	食
		おむすび	食	食	食	食	食	食	食	食
	榛名 <small>コロッケ・唐揚げ</small>	幕の内	食	食	食	食	食	食	食	食
		おむすび	食	食	食	食	食	食	食	食
	妙義 <small>ハンバーグ・エビフライ</small>	幕の内	食	食	食	食	食	食	食	食
		おむすび	食	食	食	食	食	食	食	食
受取時間 (※1)	:	:	:	:	:	:	:	:	:	
受取場所 (※2)	食・玄・セ	食・玄・セ	食・玄・セ	食・玄・セ	食・玄・セ	食・玄・セ	食・玄・セ	食・玄・セ	食・玄・セ	
野外炊事	メニュー									
	8人セット	×	×	×	×	×	×	×	×	
	4人セット	×	×	×	×	×	×	×	×	
	自主メニュー									
特別注文品										
宿泊人数	男	女	計	男	女	計	男	女	計	
	(講師・引率者等を含む)									
シート借受組数	本館 ・ キャンプ場 (どちらかに○をつけてください)						シート計 組			

- ・右上の新規・変更の部分には✓を、表下段の本館・キャンプ場の部分にはどちらかに○をつけてください。
- ・(※1) 弁当の受取時間については、希望の時間を 記入してください。
- ・(※2) 弁当の受取場所は、<食堂売店・管理研修棟玄関前・センター棟>から選び、食堂売店は「食」、管理研修棟玄関前は「玄」、センター棟は「セ」に○をつけてください。

キリトリ

食堂 FAX:027-288-7037
 利用の1ヶ月前までに提出してください。

記入日 _____ 月 _____ 日

④ 食物アレルギー 事前確認票

利用日	20 年 月 日 ~ 日 まで
団体名	
団体担当者名	
担当者連絡先	TEL
	FAX

No.	該当者氏名	ふりがな	アレルギー	代替食希望	連絡事項
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
16					
17					
18					
19					
20					

※ ただし、重篤なアレルギー症状を起こす可能性のある方や、多数のアレルゲンがある方への対応は難しい場合がございます。
 詳しくは、当食堂に直接連絡し、相談してください。

国立赤城青少年交流の家 食堂 TEL 027-288-3333
 FAX 027-288-7037

キリトリ



⑤利用者名簿 <宿泊者用>

記入日 年 月 日

団体名				記入者氏名				
最大 利用人数	男性	名	合計	名	利用期間	年	月	日
	女性	名				~	年	月

■代表者（責任者）の方には○を、引率者の方には○を付けてください。

■各日の宿泊者が分かるようにチェックをしてください。
(例) 宿泊する人に○・宿泊しない人には× など。

	代表者等	利用者氏名	性別	1日目	2日目	3日目	4日目	5日目	備考 外国籍の方は国籍
				日	日	日	日	日	
1			男・女						
2			男・女						
3			男・女						
4			男・女						
5			男・女						
6			男・女						
7			男・女						
8			男・女						
9			男・女						
10			男・女						
11			男・女						
12			男・女						
13			男・女						
14			男・女						
15			男・女						
16			男・女						
17			男・女						
18			男・女						
19			男・女						
20			男・女						
21			男・女						
22			男・女						
23			男・女						
24			男・女						
25			男・女						
宿泊人数			男性						
			女性						

◆受付時に提出してください。

- ※この用紙をコピーして利用してください。また、HPより様式のダウンロードが可能です。
- ・26人目からは、行が非表示になっています。足りない場合は付け足し、余る場合は削除してください。
- ※氏名、性別が確認できる名簿で代用可能です。(学級名簿等)

キリトリ

⑥ 利用者名簿 <日帰り利用者用>

記入日 年 月 日

団体名					記入者氏名				
利用人数	男性	名	合計	名	利用日	年	月	日	
	女性	名							

■代表者（責任者）の方には○を、引率者の方には○を付けてください。■各日の状況が分かるようにチェックをしてください。
 （例）一日目来所する人に○・そうでない人には× など。

	代表者等	利用者氏名	性別	日	日	日	日	日	備考 外国籍の方は国籍
1			男・女						
2			男・女						
3			男・女						
4			男・女						
5			男・女						
6			男・女						
7			男・女						
8			男・女						
9			男・女						
10			男・女						
11			男・女						
12			男・女						
13			男・女						
14			男・女						
15			男・女						
16			男・女						
17			男・女						
18			男・女						
19			男・女						
20			男・女						
21			男・女						
22			男・女						
23			男・女						
24			男・女						
25			男・女						
日帰り利用人数			男性						
			女性						

◆受付時に提出してください。

※この用紙をコピーして利用してください。また、HPより様式のダウンロードが可能です。
 ・26人目からは、行が非表示になっています。足りない場合は付け足し、余る場合は削除してください。
 ※氏名、性別が確認できる名簿で代用可能です。（学級名簿等）

キリトリ

① 利用団体票 (表)

利用初日の受付時に提出してください。

太枠内のみ記入してください		記入日 平成 年 月 日
利用団体名	記入者氏名	
緊急の連絡先 (携帯)		

日別利用者数

【宿泊】

	期 日	男 性	女 性	計
1泊目	月 日			
2泊目	月 日			
3泊目	月 日			
4泊目	月 日			
5泊目	月 日			
合 計				

【日帰り】

	期 日	男 性	女 性	計
1日目	月 日			
2日目	月 日			
3日目	月 日			
4日目	月 日			
5日目	月 日			
6日目	月 日			
合 計				

利用期間中に
宿泊・日帰り
それぞれ
最大人員で
あった日の
内訳を記入
してください。

		宿 泊		日 帰 り	
		男 性	女 性	男 性	女 性
児童・生徒・学生等	未就学児				
	小学生				
	中学生				
	高校生				
	中等教育学校生				
	大学生、短期大学生、高等専門学校生				
	専修学校生、各種学校生				
社会人	特別支援学校生				
	その他の学生				
	29歳以下				
	30歳以上				

講師室利用	無 ・ 有	() 室	() 泊
-------	-------	-------	-------

※原則として1団体1室

リーダー浴室利用	無 ・ 有	() 室	() 時間
----------	-------	-------	--------

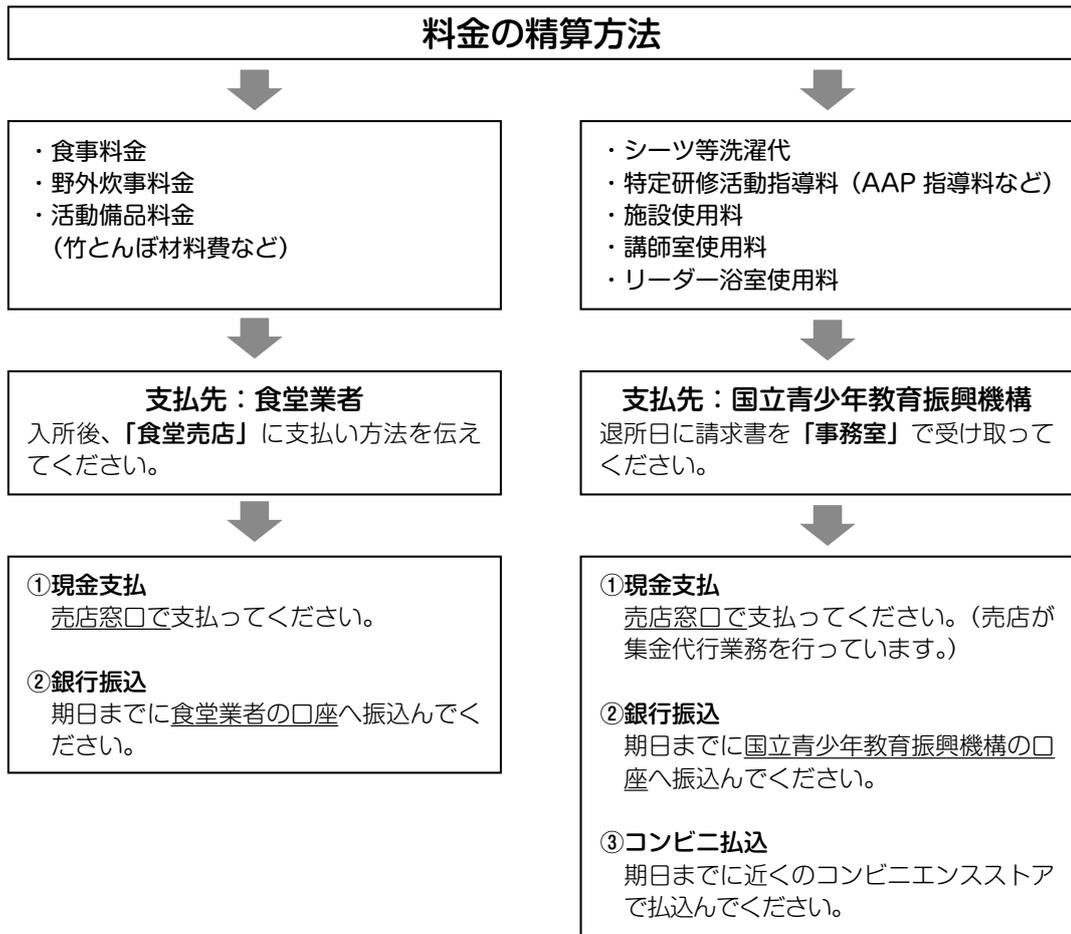
※担当事務室職員記入欄

利 用 区 分		
青少年	一 般	当所事業
施設使用料なし	施設使用料あり	/

特定研修活動 (プログラム名)	料 金	講師室使用料	シーツ利用組数	精算希望日 (最終日)	食堂売店サイン
	円	室 泊		/	
	円		組		
	円	リーダー浴室使用料			
	円	室 時間			
	円				
合計	円				

キリトリ

⑧ 利 用 団 体 票 (裏)



◆手数料

現金支払	手数料はかかりません
銀行振込	振込手数料を負担していただきます
コンビニ払込	1件100円の取扱手数料を負担していただきます

◆支払方法

シーツ等洗濯代			<input type="checkbox"/> 現金支払	<input type="checkbox"/> 銀行振込	<input type="checkbox"/> コンビニ払込
特定研修活動指導料 (有料講師代)	<input type="checkbox"/> なし	<input type="checkbox"/> あり	<input type="checkbox"/> 現金支払	<input type="checkbox"/> 銀行振込	<input type="checkbox"/> コンビニ払込
施設使用料	<input type="checkbox"/> なし	<input type="checkbox"/> あり	<input type="checkbox"/> 現金支払	<input type="checkbox"/> 銀行振込	<input type="checkbox"/> コンビニ払込
講師室使用料	<input type="checkbox"/> なし	<input type="checkbox"/> あり	<input type="checkbox"/> 現金支払	<input type="checkbox"/> 銀行振込	<input type="checkbox"/> コンビニ払込
リーダー浴室使用料	<input type="checkbox"/> なし	<input type="checkbox"/> あり	<input type="checkbox"/> 現金支払	<input type="checkbox"/> 銀行振込	<input type="checkbox"/> コンビニ払込

◆請求書の分割 (※請求書を分割し、振込や払込にしますと、請求書1枚ごとに手数料が発生します)

なし あり

	宛 名	宿泊人数	シーツ組数	備 考
請求書 1				
請求書 2				
請求書 3				
請求書 4				
請求書 5				

※請求書の発行時間は**退所日の8:45～16:00**です。

※退所日前日の**17:00**までに人数や支払方法の確定をお願いします。

